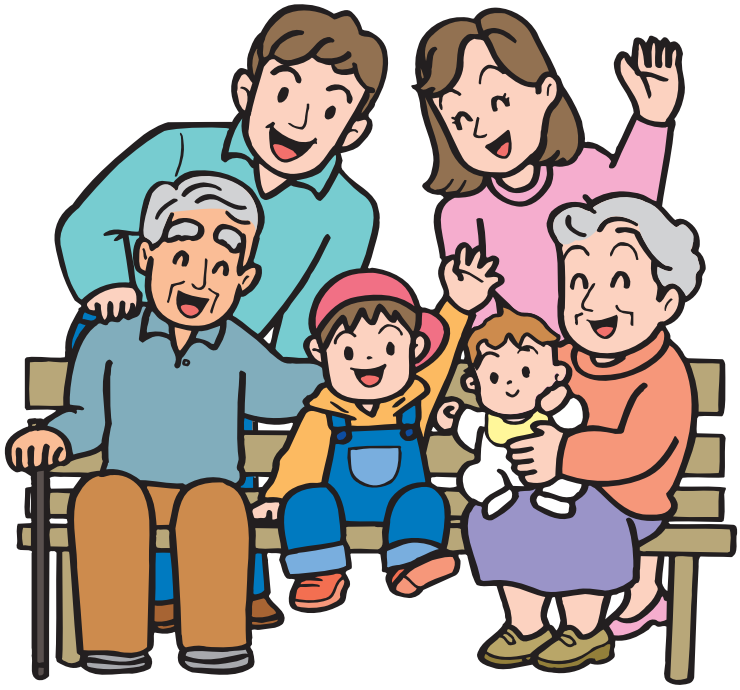
健康どぅ宝徳之島町２１

第３次徳之島町健康増進計画
第３次徳之島町地産地消･食育推進計画



令和５年３月

徳之島町

はじめに

徳之島町は、平成24年度に「第２次健康増進計画」を策定し、町民の皆様が健康で安心できる健やかなまちづくりをめざして取り組んできました。

この度、前計画策定から10年が経過し、急速な高齢化に加え、生活習慣の変化による生活習慣病の発症や早世（65 歳未満の死亡）など健康課題は多様化しています。

また、令和元年に発生した新型コロナウイルス感染症により、感染による健康への影響や感染対策による行動制限など、これまでの生活様式は大きく変化しました。コロナ禍における健康づくりでは、心身の健康を増進する取り組みとあわせて、食の役割が重要となります。

健康と食は密接な関係にあることから、島の野菜を活用した健康づくりの推進や郷土料理教室などで、健康づくりをと食育を一体的に推進してきました。

そこで、令和４年度に「健康増進計画」と「食育推進計画」が見直しとなる時期であることから、健康づくりと食育・地産地消のさらなる推進と実効性の強化を目的に、２つの計画を一体化し、「第３次健康増進計画・第３次地産地消・食育推進計画」を策定いたしました。

本計画では、各分野において重点的に取り組む内容を設定し、町民や関係団体と行政が連携しながら地域ぐるみで健康づくりを進めていきます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、ご審議いただきました健康増進計画策定委員会の皆様、地産地消・食育推進計画策定委員会及び作業部会の皆様、健康づくりアンケート調査にご協力いただいた町民の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和５年３月

徳之島町長　　高岡　秀規

目次

第１章　計画の概要

１　計画の趣旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２　計画の位置づけ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

３　計画の期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

第２章　徳之島町の現状

１　人口の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

２　出生率　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

３　死亡数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

２　標準化死亡比　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

３　がん検診受診率　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

４　特定健診受診率　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

５　平均寿命・健康寿命　・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

第３章　計画の理念・目標・SDGsの視点

１　基本理念　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

２　基本目標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

３　SDGs（持続可能な開発目標）の視点　・・・・・・・・・・・・15

第４章　健康増進計画

１　前計画の評価と課題　・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

２　分野別取り組み

①健診と健康管理・重症化予防　・・・・・・・・・・・・・・・25

②身体活動・運動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

③歯と口腔の健康　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

④休養・こころの健康　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

⑤たばこ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

⑥アルコール　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

⑦栄養・食生活　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

３　数値目標一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

第５章　地産地消・食育推進計画

１　前計画の評価と課題　・・・・・・・・・・・・・・・・・・42

２　徳之島町における食の現状と課題　・・・・・・・・・・・・・43

３　評価の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

４　分野別取り組み
①朝食・食育　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
②共食・食農教育　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
③地産地消・食文化の継承　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
５　数値目標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54

第６章　計画の推進体制
１　計画の推進体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
２　計画の進行管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56

資料編
１　アンケート調査結果概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
２　アンケート結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
３　アンケート用紙　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90
４　徳之島町健康づくり推進協議会設置規則　・・・・・・・・・・・・98
５　徳之島町地産地消及び食育の推進に関する条例　・・・・・・・・・101
６　策定委員会名簿　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106

第１章
計画の概要

第１章　計画の概要

１　計画の趣旨

徳之島町では、平成 13 年度に「健康のまち宣言」を行い、健康増進法に基づく健康増進計画を策定しました。平成 24 年度に「第１次健康どぅ宝徳之島町 21」の取り組みを評価し、「第２次健康どぅ宝徳之島町 21」（平成 25 年度～平成 34 年度）を策定し、町民が健やかで心豊かに生活できるまちづくりを目指して取り組みを推進してきました。

また、平成 24 年度には、食育基本法に基づく「徳之島町食育推進計画」を策定し、平成 30 年度には「第２次健康増進計画」をもとに、生涯にわたる健全な食生活の実践を推進してきました。

国では、平成 25 年度に「健康日本 21（第２次）」を策定し、「健康寿命の延伸・健康格差の縮小」「生活習慣病の発症予防・重症化予防」を目指した取り組みが展開されました。そして、令和元年には「健康寿命延伸プラン」として、健康無関心層も含めた予防・健康づくりと、地域・保険者間の格差の解消に向けた取り組みが推進されました。令和３年には、「食育推進基本計画」において、生涯を通じた心身の健康・持続可能な食を目指し、食育を国民運動として推進することとされました。

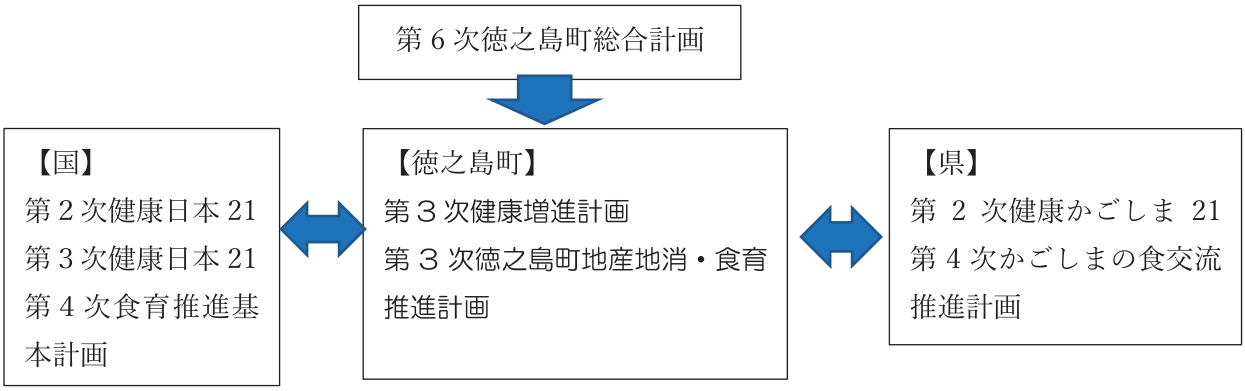
令和元年以降は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、日常生活の制限や、生活様式の見直しなど社会環境が大きく変化しました。コロナ禍における健康づくりとして、心身の健康を増進する取り組みと併せて食育の役割が重要となります。

このような社会情勢の変化や、国の健康増進計画と食育推進基本計画、県の「健康かごしま 21」との整合性を図り、「第３次徳之島町健康増進計画」「第３次徳之島町地産地消・食育推進計画」は、共通する分野を踏まえて前計画の評価を行い、町民・家族・地域・学校・行政等が連携して一体的に取り組む計画を策定します。

２　計画の位置づけ

本計画は、「健康増進法」第８条に基づく「市町村健康増進計画」、「食育基本法」第 18 条に基づく「市町村食育推進計画」として位置づけられており、国の「第２次健康日本 21」や「第４次食育推進基本計画」にも即した計画です。

なお、「第６次徳之島町総合計画」を上位計画として、その他の各種計画と連携を図りながら、町民の健康づくりと食育の推進を支援するための行動計画とします。



３　計画の期間

計画期間は、令和５年度から令和 14 年度とします。計画の中間年度にあたる、令和９年度に中間評価を行います。

ただし、社会情勢の変化や、国・県の動向を踏まえ計画期間中であっても必要に応じて見直しを行います。

<table>
<tr><th></th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr>
<tr><td>健康増進計画</td><td rowspan="2">評価・計画策定</td><td colspan="4">→</td><td rowspan="2">中間評価</td><td colspan="4">→</td><td rowspan="2">最終評価</td></tr>
<tr><td>食育推進計画</td><td colspan="4">→</td><td colspan="4">→</td></tr>
</table>

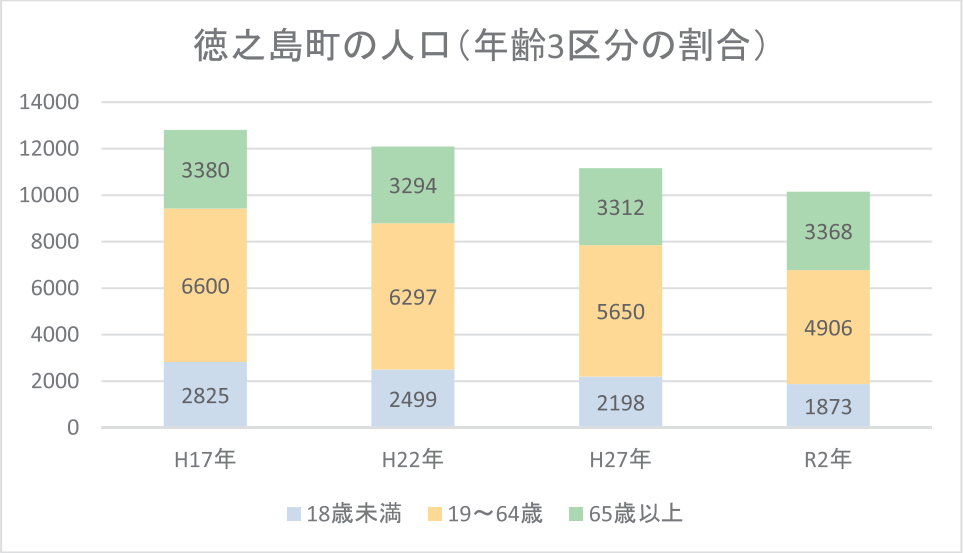
第２章
徳之島町の現状

第２章　徳之島町の現状

１　人口の推移

令和２年の国勢調査では、本町の総人口は 10,147 人で、年々減少しています。
年齢３区分の割合では、18 歳未満（年少人口）が 18.46%、19 歳～64 歳（生産年齢人口）が 48.35%、65 歳以上（老年人口）が 33.19%となっています。

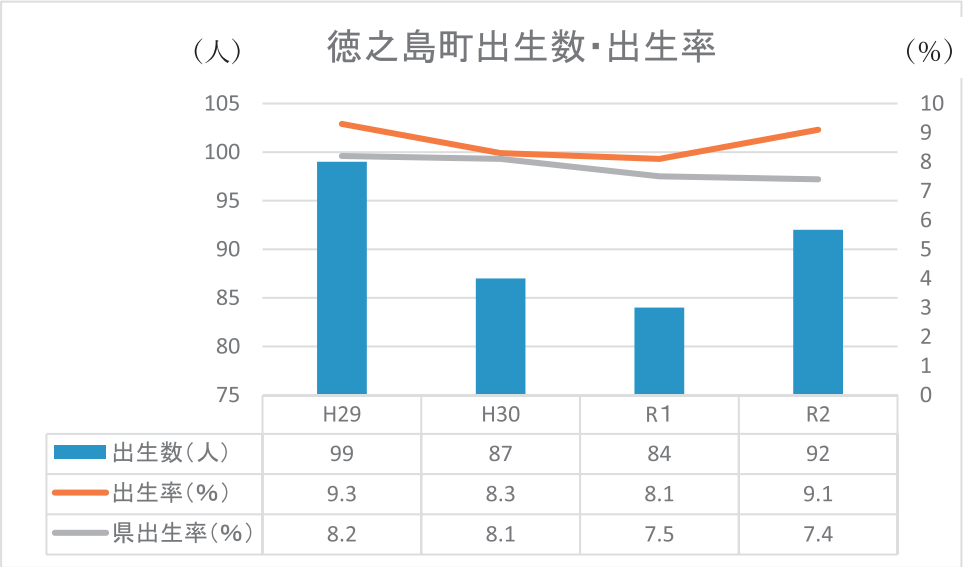
また、年少人口と生産年齢人口は年々減少しているが、老年人口の割合は増加しています。



【令和２年国勢調査】

２　出生率

徳之島町の出生数の推移をみると、平成 30 年と令和元年は低下していましたが、令和２年は増加しています。出生率では、県の割合より高く推移しています。

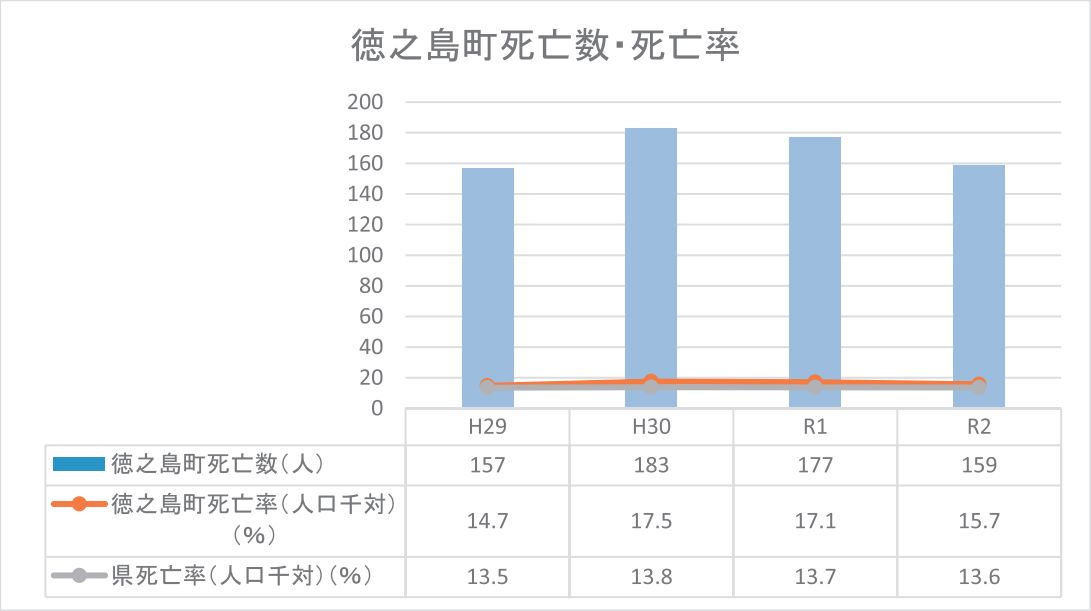


	H29	H30	R1	R2
出生数（人）	99	87	84	92
出生率（%）	9.3	8.3	8.1	9.1
県出生率（%）	8.2	8.1	7.5	7.4

【鹿児島県　第２表　人口動態総覧】

３　死亡数

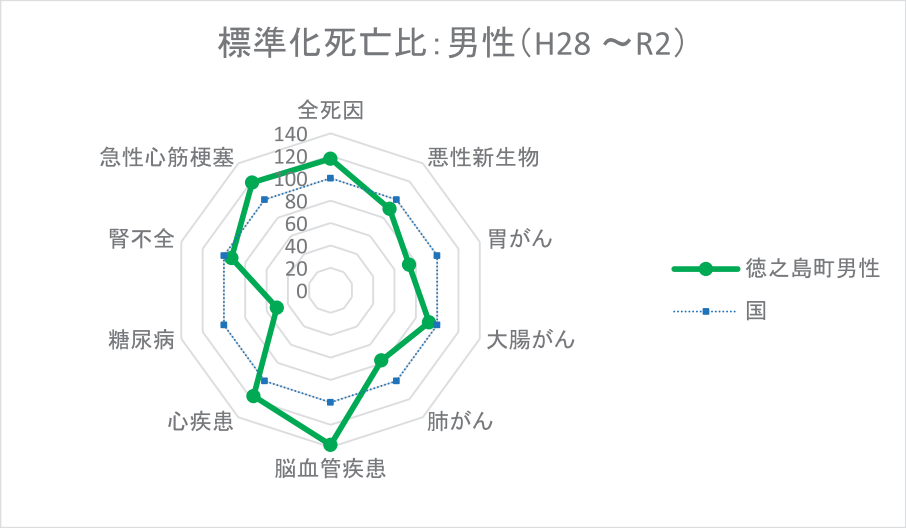
徳之島町の死亡数の推移をみると、平成 30 年が高く、令和元年から令和 2 年にかけて低下しています。県の死亡率は横ばいになっています。

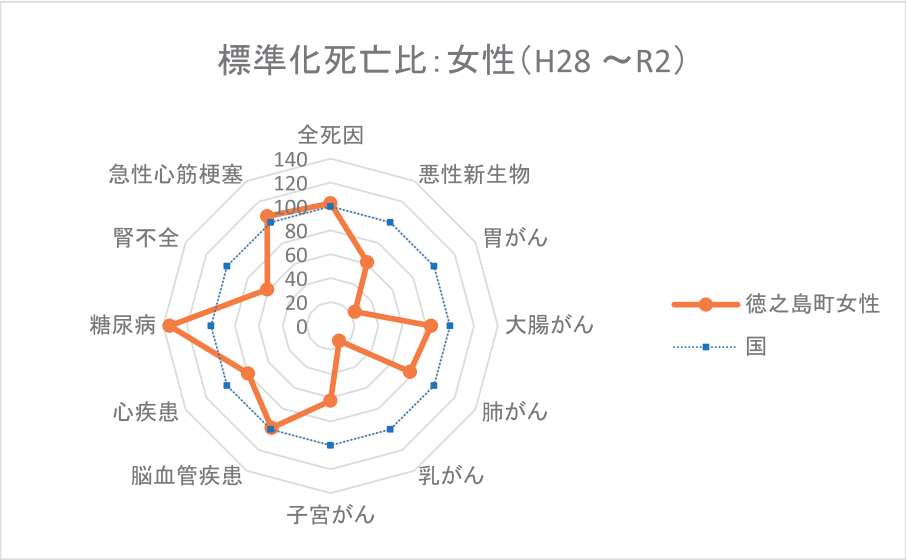


【鹿児島県　第２表　人口動態総覧】

４　標準化死亡比

標準化死亡比をみると、男性では「脳血管疾患」が特に高く、「急性心筋梗塞」「大腸がん」が国より高くなっています。女性では「急性心筋梗塞」が特に高く、「糖尿病」「肺がん」「脳血管疾患」が国より高くなっています。





【鹿児島県　令和３年度保健所別 SMR（平成 28 年～令和２年）】

標準化死亡比とは…

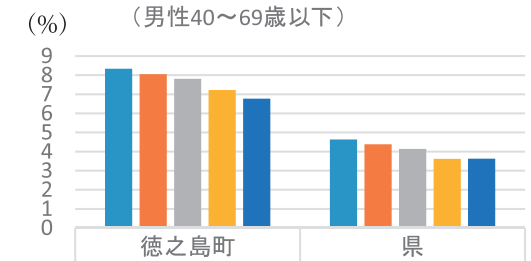
全国の年齢構成ごとの死亡率を対象地域の人口構成に当てはめて算出した期待死亡数と実際の死亡数を比較したもの。全国を 100 とし、100 を超えれば死亡率が高い、小さければ低いと判断される。

５　がん検診受診率

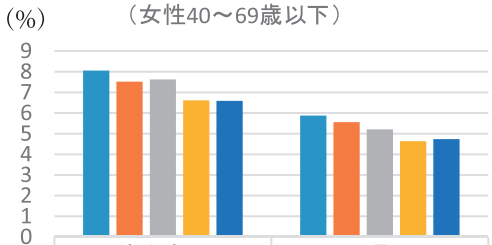
がん検診受診率の推移をみると、県の平均受診率よりは高いものの、平成 29 年以降低下しています。

令和 3 年度の大腸がん検診と肺がん検診、乳がん検診は前年度より増加しています。胃がん検診・大腸がん検診は、特定健診と同時実施をしています。

①胃がん検診受診率

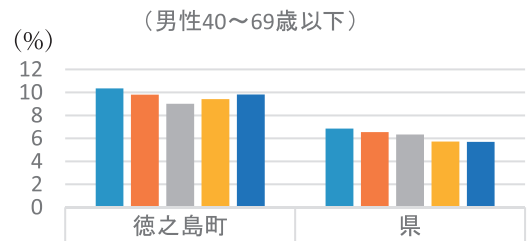


	徳之島町	県
H29	8.34	4.63
H30	8.05	4.38
R1	7.81	4.14
R2	7.22	3.62
R3	6.77	3.63

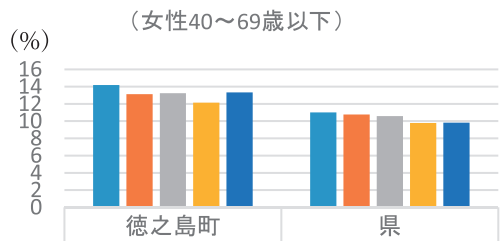


	徳之島町	県
H29	8.05	5.88
H30	7.52	5.56
R1	7.63	5.21
R2	6.61	4.64
R3	6.59	4.74

②大腸がん検診受診率

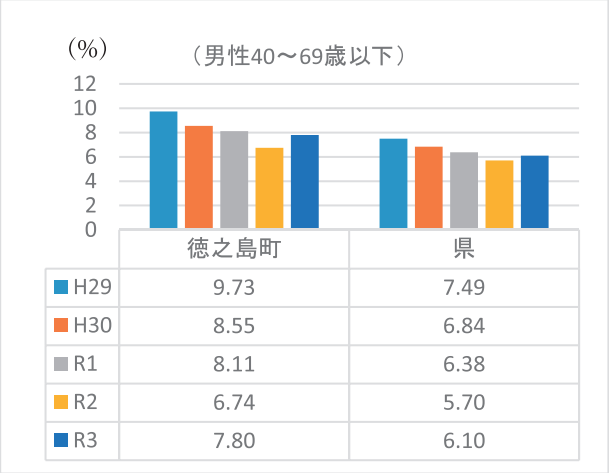


	徳之島町	県
H29	10.35	6.85
H30	9.80	6.54
R1	9.01	6.34
R2	9.41	5.72
R3	9.82	5.70

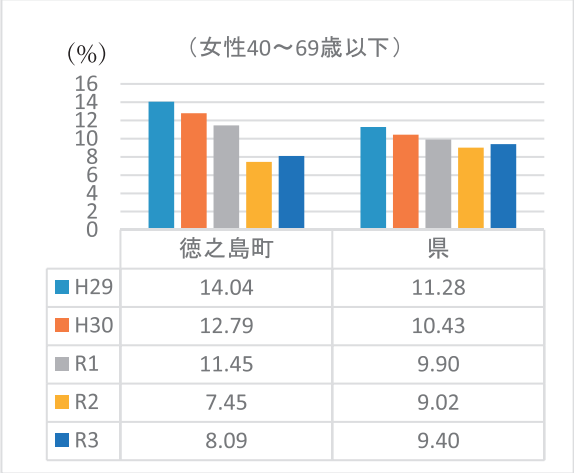


	徳之島町	県
H29	14.18	11.01
H30	13.13	10.77
R1	13.24	10.59
R2	12.14	9.78
R3	13.34	9.83

③肺がん検診受診率

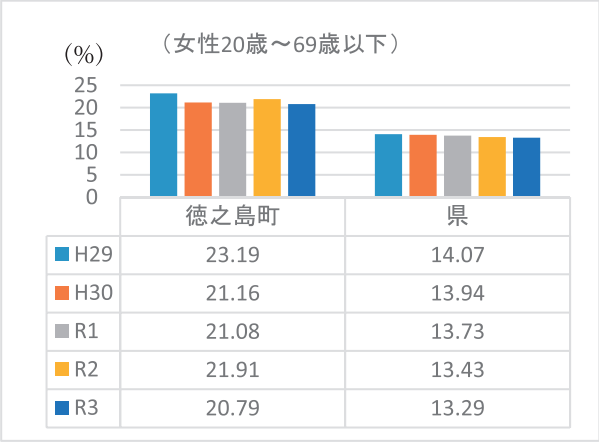


	徳之島町	県
H29	9.73	7.49
H30	8.55	6.84
R1	8.11	6.38
R2	6.74	5.70
R3	7.80	6.10



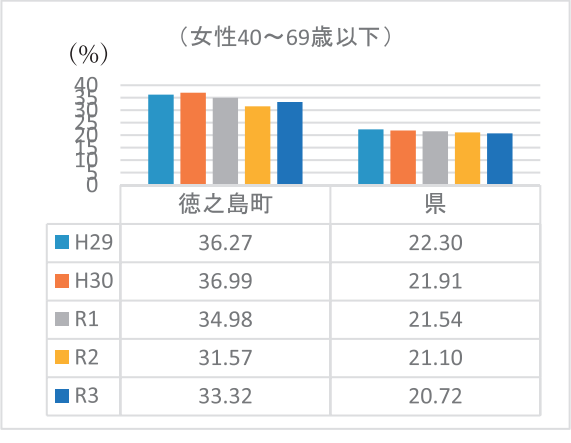
	徳之島町	県
H29	14.04	11.28
H30	12.79	10.43
R1	11.45	9.90
R2	7.45	9.02
R3	8.09	9.40

④子宮がん検診受診率



	徳之島町	県
H29	23.19	14.07
H30	21.16	13.94
R1	21.08	13.73
R2	21.91	13.43
R3	20.79	13.29

⑤乳がん検診受診率



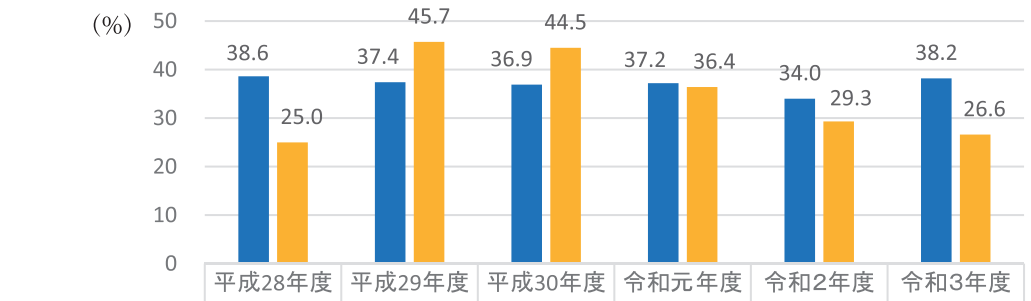
	徳之島町	県
H29	36.27	22.30
H30	36.99	21.91
R1	34.98	21.54
R2	31.57	21.10
R3	33.32	20.72

【鹿児島県　各種がん検診結果　集計報告書】

４　特定健診受診率等

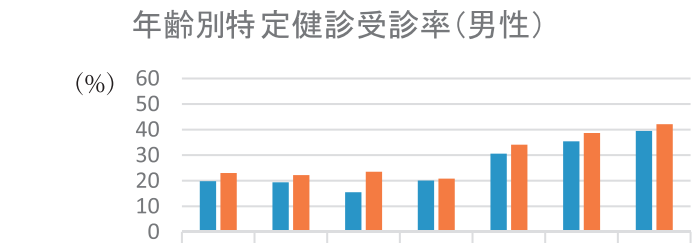
特定健診受診率は 36～38%台を推移しており、国が示す目標値である受診率 60%は達成できていません。なお、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により低下したことが考えられますが、令和 3 年度はほとんどの年齢において受診率は向上しています。

特定保健指導は、特定健診の結果、血圧・血糖・脂質の値が高く、内服治療等がまだ始まっていない方を早期に予防するための保健指導です。毎年、約 100 名～130 名前後が保健指導対象者となっており、保健師・管理栄養士が健康相談を行い生活習慣病発症予防のために特定保健指導に取り組んでいます。



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特定健診受診率	38.6	37.4	36.9	37.2	34.0	38.2
保健指導終了率	25.0	45.7	44.5	36.4	29.3	26.6

保健指導終了率は、初回面施から３か月後以降の評価まで終了した者の割合です。



	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
R2受診率（%）	19.8	19.4	15.5	20.1	30.6	35.4	39.5
R3受診率（%）	23.0	22.2	23.5	20.8	34.1	38.7	42.1

	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
R2受診率（%）	15.5	21.0	29.8	35.1	34.4	43.3	49.5
R3受診率（%）	31.3	23.9	25.4	39.2	37.4	47.2	53.8

特定健診とは…

生活習慣病の予防のために、対象者（40 歳～74 歳）の方にメタボリックシンドロームに着目した健診を行います。

特定保健指導とは…

生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が高く期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートをします。

【新医療費分析システム　健康スコアリング（健診）】

５　平均寿命・健康寿命

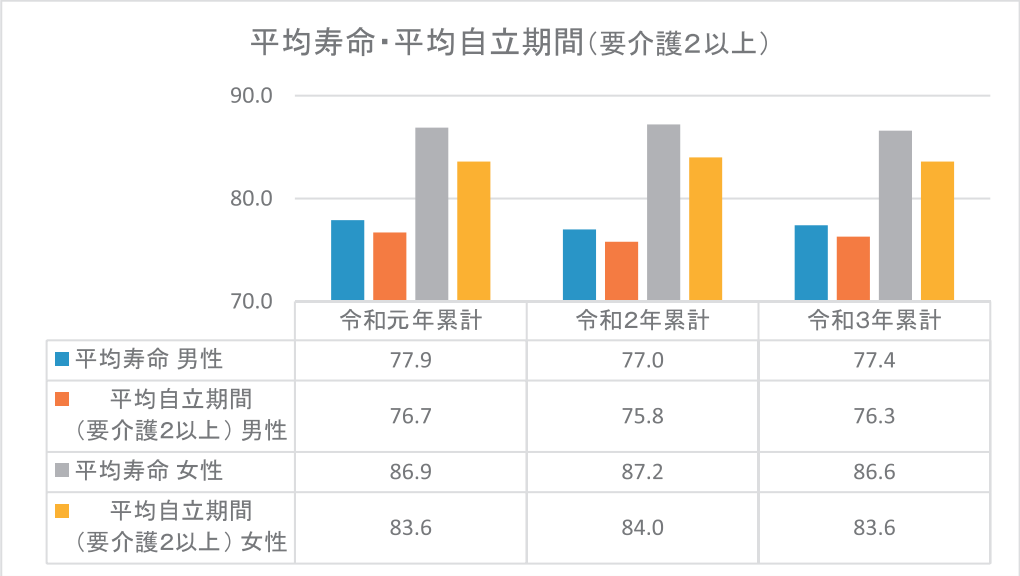
健康寿命は、寝たきりや認知症により介護が必要な状態ではない「生活が自立している期間の平均」のことをいいます。徳之島町の令和３年健康寿命は、男性 76.3 歳、女性 83.6 歳になっています。
令和元年に比べて健康寿命は男性が 0.4 歳低下しています。

国や都道府県は、国民生活基礎調査（厚生労働省）のデータから「日常生活に制限のない期間の平均」を算出して健康寿命としています。

（年）

	平均寿命①		健康寿命②（平均自立期間）		差（①－②）	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
R元年	77.9	86.9	76.7	83.6	1.2	3.3
R2年	77.0	87.2	75.8	84.0	1.2	3.2
R3年	77.4	86.6	76.3	83.6	1.1	3.0

データ元：国保データベース（KDB）システム「地域全体像の把握」



第３章
計画の理念・目標・SDGｓの視点

第３章　計画の理念・目標・SDGｓの視点

１　基本理念

【健康増進計画】

親子が健やかに暮らせるまちづくり
青壮年期がいきいきと生活できるまちづくり
高齢者が楽しみを持って豊かに暮らせるまちづくり

【食育推進計画】

地産地消を基本とし、食育を通じて心と体を健やかに暮らせるまちづくり

２　基本目標

【健康増進計画】

① 健康寿命の延伸、生活の質（QOL）の向上を目指します
② 生活習慣病の発症予防・重症化予防に重点をおいた健康づくりを推進します
③ 町民が主体的に健康づくりに取り組めるまちづくりを推進します

【食育推進計画】

① 食を選択する力を習得し、生涯にわたって健全な心身を培います
② 食農教育や一家団らんで食卓を囲み、感謝の心と豊かな心を育みます
③ 地産地消を基本とし、島の食文化を継承します

３　SDGs（持続可能な開発目標）の視点

本町では、SDGｓの理念を踏まえた「第６次徳之島町総合計画」において、2030 年のあるべき姿として持続可能で誰一人残さないまちづくりに向けて取り組んでいます。

本計画においても、SDGｓの 17 のゴールのうち、「２．飢餓をゼロに」「３．すべての人に健康と福祉を」「４．質の高い教育をみんなに」「12．つくる責任つかう責任」「17．パートナーシップで目標を達成しよう」の５つを念頭に、町民・地域・行政がともに協力し、全ての町民の健康づくりを進め、目標の達成を目指します。

（目標）

SDGｓの目標

	目標	内容
	２　飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
	３　すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
	４　質の高い教育をみんなに	すべての人々への包括的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
	12　つくる責任　つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する。
	17　パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

出典：外務省「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」

第４章
健康増進計画

1　前計画の評価と課題

各年代のアンケート調査結果等をもとに、評価を行いました。
全分野のうち、（A）目標達成 15 項目、（B）改善傾向 25 項目、（C）変わらない６項目、（D）悪化 21 項目となっています。

【評価一覧】

評価区分	該当項目数〈割合〉 前回	該当項目数〈割合〉 今回
A：目標値に達した	16 項目〈21.3%〉	15 項目
B：目標値に達していないが改善傾向にある	37 項目〈49.3%〉	25 項目
C：変わらない	７項目〈9.4%〉	６項目
D：悪化している	15 項目〈20.0%〉	21 項目
合計	59 項目〈100%〉	76 項目

評価空欄 9 項目
比較評価ができない項目
データ確認中の項目

前計画評価指標一覧

≪徳之島町国保における目標値　平成25年～令和3年≫

第2期徳之島町国民健康保険特定健康診査実施計画

【特定健診の実施率目標】

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
特定健康診査の実施率	目標値	50%	54%	56%	58%	60%	国の目標値60%			
	実績値	40.3	35.2	37.1	38.6	37.4	36.9	37.2	34.0	38.2
特定保健指導の実施率	目標値	52%	54%	56%	58%	60%	国の目標値60%			
	実績値	29.1	23.8	41.3	25.0	45.7	44.5	36.4	29.3	26.6

〈参考〉

【各年度の特定健康診査対象者数および受診者数】

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
対象者数	実績値	2772	2672	2604	2560	2538	2490	2396	2405	2275
受診者数	実績値	1117	940	965	989	950	920	891	818	869

【受診しやすい環境整備】

項目	評価	今後の意向
①個別通知による周知 受診券発行や被保険者証発送等に合わせて啓発用チラシを同封し郵送 （特定健診の受診券は対象者全員に郵送します。）	健診1か月前には届くよう郵送している	継続
②広報誌、広告、ポスター・横断幕の掲示、町内放送による周知	健診日程が決まり次第広報紙で周知し、健診前には放送で案内	継続
③地区組織の集会等における健診説明会 4月　高齢者クラブの総会 5月　地域女性連総会 6月　地区駐在員総会 他　食生活改善推進員総会、集落における行事等	コロナ前は総会等で説明をしていたがR2年以降は見合わせている	見直し
④ポピュレーションアプローチにおける周知 地域における健康教室・健康相談において健診受診の必要性を説明	対象者の集まる機会が少なくなり周知方法の見直しが必要	見直し
⑤未受診者への受診勧奨 健診未受診者に対して、電話、手紙または訪問等により体調確認しながら受診勧奨をおこないます	未受診者の受診状況を確認し受診勧奨を実施している	継続
⑥情報提供書による被保険者の健診結果の把握 医療機関通院中、人間ドック受診、職場健診受診等	被保険者から健診結果の提供により健診済みとみなしている	継続

今後の意向	継続	廃止	見直し
	そのまま継続する予定	廃止となる予定	事業を見直す予定

≪親子が健やかに暮らせるまちづくり≫

QOL・健康の指標

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（前回）	評価（前回）	実績（今回）	評価（今回）
1	将来の夢を持っていると考える児童生徒の割合が増える	小5 83.7% 中2 56.8% 高2 61.9%	増える	小5 80.7% 中2 51.8% 高2 60.9%	D D C	小5 65.0% 中2 47.3% 高2 46.2%	D D D
2	自分の体や性について悩みを相談できる児童・生徒の割合が増える	中2 10.1% 高2 7.1%	増える	中2 40.9% 高2 7.5%	A	中2 33% 高2 75%	D C
3	子育てを楽しいと思う母親の割合が増える	42.6%	増える	69.8%	A	75.8%	A
4	自身を持って育児を行える母親の割合が増える	7.4%	増える	11.8%	A	16.90%	A
5	自分は虐待していると思う母親の割合が減る	44.4%	増える	42.4%	B	38.70%	A

行動・学習の指導

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（前回）	評価（前回）	実績（今回）	評価（今回）
1	学校を楽しいと思える児童の割合が増える	小5 47.3% 中2 42.6% 高2 53.2%	増える 増える 増える	55.5% 56.6% 67.2%	A A A	小5 59.2% 中2 67.0% 高2 59.0%	A A A
2	月経の仕組みについて理解していると応える中高生の割合が増える	中2 23.0% 高2 41.3%	100% 100%	39.3% 57.4%	B	中2 56% 高2 41%	B D
3	ゆったりした気分で子供と過ごせる母親の割合が増える	35.2%	増える	32.3%	D	62.9%	A
4	朝食欠食者の児童・生徒の割合が減る	小5 5.4% 中2 10.8% 高2 12.7%	0% 0% 0%	2.5% 3.5% 12.5%	B B C	小5 5.8% 中2 8.8% 高2 10.3%	D D B
5	未成年者の飲酒経験者が0になる	高校男子 83.0% 高校女子 89.7%	0% 0%	51.6% 29.0%	B	中2 9.9% 高2 10.3%	B B
6	急性アルコール中毒について知っている人が増える	中学生 84.5% 高校生 89.7%	100% 100%	75.7% 100%	B	中2 89% 高2 94.8%	B B
7	未成年者にアルコールを勧める大人が減る （飲酒経験のある者のうち大人に勧められた人）		減る			中2 22% 高2 75%	
8	妊婦喫煙が0になる（4～5歳児の母）	26.7%	0%	24.20%	B	3.2%	B
9	子どもの前で喫煙する家庭が0になる	幼児期 22.3% 小学生 17.4%	0% 0%	2.7% 17.4%	B	幼児期7.3% 小5 26% 中2 15.7%	D D
10	未成年者の喫煙経験者が0になる	高校男子 35.8% 高校女子 13.7%	0% 0%	22.7% 3.2%	B	高2 0%	A

≪高齢者が楽しみを持って豊かに暮らせるまち≫

行動・学習の指導

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（前回）	評価（前回）	実績（今回）	評価（今回）
1	日頃から健康のために意識的に体を動かす人が増える（よくする・時々すると回答）	73.3%	80%	83.7%	A	79.1%	B
2	週に3～4回以上外出する人が増える（週5日・週2～4日と回答）	男性 71.7% 女性 63.7%	80% 80%			73.5%	B
3	地域の活動に参加している人が増える（参加している・誘われたら行くと回答）	49.4%	80%	44.8%	D	59.9%	A

≪青壮年者がいきいきと生活できるまち≫

QOL・健康の指標

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（H24）	評価（H24）	実績（R4）	評価（R4）
1	肥満傾向の人の割合が減る	20～60代男性36.1% 40～60代女性38.9%	18%以下 25%以下	45.1% 64.8%	D	45.2% 24.9%	C A

行動・学習の指標

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（H24）	評価（H24）	実績（R4）	評価（R4）
1	朝食欠食者の人の割合が減る （ほとんど食べないと回答）	20代男性39.6% 20代女性25.4% 30代男性32.2% 30代女性12.8%	15%以下 10%以下 10%以下 10%以下	40.0% 9.7% 11.8% 12.8%	C A B C	20代 28.2% 30代 21.0% 40代 17.0% 50代 10.4%	評価年代を見直す
2	運動習慣者の割合が増える	男性9.7% 女性8.8%	30% 30%	16.3% 11.0%	B	10.8%	D
3	適正体重を知っている人の割合が増える	65.9%	100%	68.8%	B	76.6%	B
4	量・質ともに、きちんと食事している人の割合が増える	49.8%	80%	69.1%	B	43.8%	D
5	自分にとって適正な食事内容、量を知っている人の割合が増える	49.7%	80%	66.5%	B	16.2%	D
6	食事のバランスについて考える人の割合が増える	52.6%	80%	68.3%	B	32.5%	D
7	減塩を心がけている人の割合が増える		増える	74.3%		27.7%	D
9	1年間に健康診断などを受けたことがある人の割合が増える	62.3%	90%	74.8%	B	77.3%	B
10	ストレスを感じている人が減少する（ストレスがある・時々あると回答）	66.9%	49%	75.6%	D	74.4%	B
11	ストレス解消法を持っている人の割合が増える（解消できている・まあまあできていると回答）	63.1%	80%	80.4%	A	59.3%	D
12	睡眠によって休養が十分とれていない人の割合を減らす（とれていない・とれていない時があると回答）	39.8%	20%	38.5%	C	24.2%	B
13	睡眠の確保のために睡眠剤やアルコールを使う人の割合が減る（毎日・たまに飲むと回答）	25.2%	15%以下	19.9%	B	29.2%	D
14	毎日2合以上飲酒する人が減る	男性9.7%	4%以下	17.6%	D	25.4%	D
15	週1回以上の休肝日を設けている人が増える（飲酒している人のうち、週1回、週2回休肝日と回答）	男性51.6% 女性65.7%	70% 85%	55.9% 46.4%	B D	男 67% 女 77.4%	B B
16	適量飲酒の知識を持っている人が増える（1合未満・1合と回答）	28%	100%	実績なし		67.8%	B
17	喫煙する人が減る	40歳未満 男性63.6% 女性20.5%	 30%以下 10%以下	 65.2% 15.7%	 D B	20～64歳 男27.6% 女7.1%	A A
18	喫煙が健康に与える影響を知っている人が増える（肺がんになりやすいと回答）	78.0%	100%	97.5%	B	91%	D
19	禁煙補助剤を知っている人が増える	55%	100%	75.4%	B	77.1%	B
20	たばこを「吸う」と回答した方で禁煙補助剤を知っている人	実績なし		実績なし		91.0%	

≪青壮年者がいきいきと生活できるまち≫

組織・資源・環境の指標

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（H24）	評価（H24）	実績（R4）	評価（R4）
1	特定健診受診率が上がる	平成21年32.8%	60%	38.9%	B	38.2%	C
2	健（検）診受診率が上がる	胃がん検診 20.2% 子宮がん検診21.3% 乳がん検診22.0% 大腸がん検診20.0% 肺がん検診 %	30%以上 30%以上 30%以上 40%以上 20%以上	18.7% 29.2% 26.3% 17.2% %	アンケート回答の数値のため実際の受診率とは異なる	男女別に目標値を見直す	

≪生涯を通じた歯科保健≫　乳幼児・学齢期

QOL・健康の指標

	項目	計画策定時	目標値	実績（前回）	評価（前回）	実績（今回）	評価（今回）
1	3歳児でむし歯がない者の割合		90%			88.3%	
2	12歳児（中学1年生）のむし歯がない者の割合						

行動・学習の指標

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（前回）	評価（前回）	実績（今回）	評価（今回）
1	むし歯・歯周病について、その予防方法を知っている児童生徒の割合が増える	小5　40.2% 中2　43.9% 高2　51.6%	80%以上 80%以上 80%以上	45.3% 44.7% 69.8%	B C B	小5　16.5% 中2　18.7% 高2　30.8%	D D D
2	むし歯・歯周病について、予防のために心がけている児童生徒の割合が増える	小5　57.6% 中2　50.7% 高2　50.8%	80%以上 80%以上 80%以上	87.1% 53.5% 63.5%	A B B	小5　37.9% 中2　16.5% 高2　23.1%	D D D
3	就寝前の歯みがきをする児童生徒の割合が増える	小5　41.3% 中2　60.8% 高2　60.0%	80%以上 80%以上 80%以上	52.9% 45.6% 57.4%	B D C	小5　68.9% 中2　74.7% 高2　61.5%	B B B
4	フッ化物歯磨剤を使用する児童生徒の割合が増える	小5　14.1% 中2　20.3% 高2　14.3%	50%以上 50%以上 50%以上	27.4% 26.8% 25.8%	A	小5　54.4% 中2　31.9% 高2　25.6%	A B B

≪生涯と通じた歯科保健≫　青壮年期

QOL・健康の指標

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（前回）	評価（前回）	実績（今回）	評価（今回）
1	25本以上自分の歯を持っている人が増える （一人平均現在歯数が25本以上を維持する）	50歳代　17.9% 60歳代　17.6%	20%以上 20%以上	25.3% 18.2%	A C	26.8本 23.9本	
2	進行した歯周炎の人が減る	40～49歳　55% 50～59歳　62%	30%以上 40%以下			40歳代56.5% 60歳代75%	A

行動・学習の指標

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（前回）	評価（前回）	実績（今回）	評価（今回）
1	歯の健康のため心がけている人が増える（ていねいに歯をみがくと回答）	53%	80%以上	59.6%	B	71.2%	B
2	早期治療（1ヶ月以内）に受ける人が増える	10.30%	30%以上	64.6%	A	33.3%	D
3	高齢者が口の中の手入れをしないと、肺炎を起こしやすいことを知っている人が増える	18.20%	30%以上	37.1%	A		
4	歯間清掃用具を使う人が増える	40歳代　21.5% 50歳代　20.8%	60%以上 60%以上	37.9% 33.3%	B	20～64歳 41.0%	A
5	定期的な歯科健診を受ける人が増える	50歳代　11.7% 60歳代　17.7%	40%以上 40%以上	16.1% 12.1%	B D		

≪生涯と通じた歯科保健≫　高齢期

QOL・健康の指標

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（前回）	評価（前回）	実績（今回）	評価（今回）
1	20本以上自分の歯を持っている人が増える	75～84歳 10.2%	20%以上	12.80%	B		

行動・学習の指標

	質問項目	計画策定時	目標値	実績（前回）	評価（前回）	実績（今回）	評価（今回）
1	歯の健康のため心がけている人が増える（ていねいに歯をみがくと回答）	44%	80%以上	76.8%	B	57.6%	D
2	定期的な歯科健診を受ける人が増える	7.80%	20%以上	23.60%	A	17.5%	D

前計画評価から考えられる課題　　アンケート結果は P57 資料編を参照

健康増進計画
①　健診・検診と健康管理・重症化予防 ・　がん検診の受診率は、県の平均と比べると高いが、平成 29 年以降低下傾向である。令和 3 年度の大腸がん検診と肺がん検診、乳がん検診は前年度より増加している。年代別では、40 歳～50 歳代の受診率が低い。 ・　特定健診の受診率は令和 3 年度 38%であり、国の目標値である 60%を達成できていない。 ・　アンケートの結果、女性の 20～30 歳代の低栄養の割合が 15～20%あり、65 歳以上は男女ともに約 60%が低栄養となっている。また、男性の 30 歳～64 歳では 40%が肥満であり、特に 60 歳～64 歳は 60%が肥満である。
②　身体活動・運動 ・　健康づくりのために運動をしている割合は、65 歳以上で健康のために日ごろから意識して体を動かしている割合が高い。特に、若い年代は運動習慣が定着していない。 ・　日常生活における 1 日あたりの歩行時間は、20～64 歳では 30 分未満が 35%を占めており、日常生活における歩数が少ない。
③　歯と口腔の健康 ・　3 歳児のむし歯がない割合は令和 3 年度 89.9%であり、県より高く推移しているが、4～5 歳児の２５%が、子どもが嫌がる・時間がない等の理由で毎日の仕上げみがきができていない。 ・　おやつでは、小学５年生の 10%がジュース・甘い物・スナック菓子を毎日摂っている。また、4～5 歳児の良く食べるおやつでは、スナック菓子が 46.8%・チョコレート 32.3%であったことから、おやつの量や内容について栄養・食生活と関連した啓発が必要である。 ・　20～64 歳、65 歳以上で、定期的に歯科医院を受診している割合は 20%であり、歯や口の状態で自覚症状（むし歯・歯ぐきの腫れ・出血）があっても受診していない割合が高い。
④　休養・こころの健康 ・　睡眠不足と感じている割合は、小中学生 42～45%、高校生 25%が睡眠不足と回答しており、何となく夜更かししている（小学生 34%）、スマホやタブレットを見ている（中高生 40%）を占めている。 ・　睡眠確保のために睡眠剤やアルコールが必要である方が、20～64 歳と 65 歳以上ともに 30%を占めている。
⑤　たばこ ・　喫煙する人の割合は減っているが、1 日あたりの本数が 20 本以上の方が 44%であった。 ・　未成年の喫煙者はいなかったが、妊娠中の喫煙が３.２%であった。 ・　子どもの近くや同じ部屋で喫煙する割合は増加している。

⑥　アルコール

- 中高生の 10%（13 人）が飲酒の経験があり、飲酒のきっかけとして興味や大人にすすめられて飲酒をしたとの回答があった。
- 週１回以上の休肝日がある人の割合は増加しているが、生活習慣病のリスクを高める量である「毎日２合以上飲酒をしている」割合が増加している。

⑦　栄養・食生活

- 20～64 歳では肉類をよく食べる割合が最も高く、65 歳以上では魚を食べる割合がやや高い。また、65 歳以上では、64 歳以下よりも漬物や甘い物を食べる割合が多い。
- 3 食規則正しく食べている割合は 40～60%を占めている。

２　分野別取り組み

①　健診と健康管理・重症化予防

生活習慣病や悪性新生物の疾病を予防するために、健康づくりに関する正しい知識を持ち、日頃の健康状態を把握する等の自己管理に取り組む必要があります。病気の早期発見・早期治療につなげるため、積極的に健診（検診）を受診するよう働きかけていきます。

町民が自分に合った健康づくりに取り組むことができるよう、健康無関心層も自然に健康づくりの行動がとれる環境づくりを目指します。

【重点目標】

・年に１回は健康診査、がん検診を受ける
・メタボリックシンドロームを予防する
・健診結果を健康管理に役立てる
・適正な体重を知り、健康づくりに取り組む

【現状値・目標値】

<table>
<tr><th colspan="2">項目・指標</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>データ元</th></tr>
<tr><td colspan="2">特定健診受診率の増加
（40～74 歳）</td><td>R3　38.2%</td><td>60%</td><td rowspan="2">KDBシステム</td></tr>
<tr><td colspan="2">特定保健指導終了率の増加</td><td>R3　26.6%</td><td>40%</td></tr>
<tr><td rowspan="5">がん検診受診率の向上</td><td>胃がん</td><td>R3 男　6.77%
R3 女　6.59%</td><td>男　10%
女　10%</td><td rowspan="5">鹿児島県各種がん検診集計報告書</td></tr>
<tr><td>大腸がん</td><td>R3 男　9.82%
R3 女　13.34%</td><td>男　12%
女　15%</td></tr>
<tr><td>肺がん</td><td>R3 男　7.80%
R3 女　8.09%</td><td>男　10%
女　10%</td></tr>
<tr><td>子宮がん</td><td>R3 女　20.79%</td><td>女　25%</td></tr>
<tr><td>乳がん</td><td>R3 女　33.32%</td><td>女　36%</td></tr>
</table>

※がん検診受診率算出年齢は、40 歳～69 歳、子宮がんは 20 歳～69 歳

※Ｒ４年度評価時の現状値はＲ３年度受診率（確定値）・目標値はＲ14 年度評価としてＲ13 年受診率を目標としました。

【現状・課題】

・特定健診受診率は、国の目標値（60%）を達成できていません。メタボリックシンドローム対策や、生活習慣病の発症予防のために健診を受診しやすい環境を整備し受診勧奨や啓発を行うことが必要です。

・がん検診受診率は、県平均より高いものの、特に胃がん・肺がんの受診率は 10%以下を推移しており、40 歳代～50 歳代の受診率向上が課題となっています。

【目標実現に向けた取組】
・年に一度は健診を受診できるよう、受診しやすい環境づくりを整備します。（健診の機会をふやす、待ち時間の解消等）
・健診やがん検診の必要性について啓発し、予防や早期発見、重症化予防を重点的に行います。（健診の必要性を身近な立場から声かけができるよう、女性連や駐在員、食生活改善推進員、高齢者クラブ等の地区組織と連携して健診の啓発を進めていきます。）
・集落や地域での総会等、集まりがある機会に、健診の案内や健康づくりに役立つ情報を発信していきます。

②身体活動・運動

すべてのライフステージにおいて、いきいきと生活できるように身体活動や運動に取り組みやすい環境づくりや普及啓発をすすめていきます。

【重点目標】

・日常生活の中で身体活動をプラスする

・家族や仲間と一緒に無理なく体を動かす

【数値目標】

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
運動習慣者の割合が増える（20～64 歳）	15.7%	20%	健康づくりアンケート
1 日 30 分以上活動する人の割合が増える（20～64 歳）	54.1%	60%	健康づくりアンケート
日頃から健康のために体を動かす人の割合が増える（65 歳以上）	79%	85%	健康づくりアンケート

【現状・課題】

・20 歳～64 歳の青壮年期は、65 歳以上と比べて運動習慣が定着していない割合が高い。また、日常生活における 1 日当たりの活動量が 30 分未満の活動量が低い者の割合は 36%である。

・65 歳以上の高齢者の外出頻度は、「週 1 回」「ほとんど外出しない」がそれぞれ 7.7%となっており、コロナ前と比べると外出が減った者の割合が増加している。

【目標実現に向けた取組】

・運動習慣が定着していない方や、活動量が少ない方は、将来の生活習慣病予防やフレイル予防を目的に日常生活の中で体を動かす機会が増えるよう身近にできる運動を紹介し啓発します。

・家族や仲間と一緒に運動をすることができるよう、運動に取り組みやすい環境づくりを行っていきます。

・職場で体を動かす機会を増やすなど、職場と連携した取り組みを行っていきます。（階段の推奨、ラジオ体操の実施、休憩時間にできる簡単な運動など）

・65 歳以上で外出の頻度が減った方のフレイル予防として、日常生活の活動量を増やすための工夫（庭などの草木の手入れ、ウォーキングポイント事業の活用）をすすします。

③歯と口腔の健康

生涯を通じて自分の歯でしっかり噛んでおいしく食べられることを目指し、ライフステージに応じたケアが実践できるような取組をすすめていきます。

【重点目標】

・毎食後の歯みがき習慣を身につける

・定期的な歯科検診を受け、歯と口腔の健康を保つ

【数値目標】

項目・指標	現状値	目標値	データ元
就寝前の歯みがきをする児童生徒の割合が増える	小５　68.9% 中２　74.7% 高２　61.5%	小５　75% 中２　80% 高２　70%	健康づくりアンケート
4～5 歳児の仕上げみがきをほとんど毎日している家庭が増える	73.4%	80%	健康づくりアンケート
3 歳児でむし歯がない者の割合が増える	R3 年 88.3%	90%	県歯科口腔保健計画
定期的に歯科医院を受診する人の割合が増える	17.5%	20%	健康づくりアンケート
一人平均現在歯数が 25 本以上を維持する （50 歳代、60 歳代）	R３年 50 歳代　26.8 本 60 歳代　23.9 本	50 歳代　25 本以上の維持 60 歳代　25 本以上	県歯科口腔保健計画
進行した歯周炎になっている人が減る （40 歳代、60 歳代）	R３年歯周炎がある人の割合 40 歳代　56.5% 60 歳代　75.0%	40 歳代　50% 60 歳代　70%	県歯科口腔保健計画

【現状・課題】

・４～5 歳児の仕上げみがきをほとんど毎日している家庭は 73.4%です。

・就寝前の歯みがきをする割合が小中高の 6～7 割となっており、3～4 割は就寝前歯みがきができていません。

・定期的な歯周病検診や歯科医院を受診する者の割合が 17.5%と低いです。

・60 歳の一人平均現在歯数が 23.9 本であり、25 本以上の目標に達していません。

【目標実現に向けた取組】

・乳幼児の保護者を対象に、むし歯予防や口腔機能の発達を促す食習慣について歯科保健指導等の充実を図ります。（健診や学校での講話を毎年実施している）

・歯周病検診や、口腔内の健康を維持するために歯科医院を受診することの必要性を周知し、定期的な歯科受診をすすめていきます。

・健診の機会に、歯周病と全身疾患との関係や喫煙が歯周病の危険因子であることについて周知し、正しい知識の普及啓発を図ります。

④休養・こころの健康

相談窓口や支援の充実、ゲートキーパー等、悩んでいる人や地域に寄り添う理解者を増やしていくための取組をすすめていきます。

【重点目標】

・家族や身近な人で悩んでいる人に気付き、声をかけ相談につなげる

・睡眠による休養を十分にとり、睡眠不足と感じる人を減らす

【数値目標】

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
ストレスを解消できている人の割合が増える （20～64 歳）	13.4%	20%	健康づくりアンケート
睡眠不足と感じている人の割合が減る （20～64 歳「睡眠がとれていない時がある」「とれていない」） （65 歳以上「あまり眠れていない」）	小5　42.7% 中2　45.1% 高2　25.6% 20～64 歳　24.2% 65 歳以上　9.2%	小5　37% 中2　40% 高2　20% 20～64 歳　20% 65 歳以上　5%	健康づくりアンケート

【現状・課題】

・小中学生の 4 割が睡眠不足と感じており、睡眠不足の理由として「何となく夜更かししている」「スマホやタブレットを見ている」との回答がありました。

・小中高の就寝時間では、夜 11 時以降の就寝が、小学 5 年生 5.9%、中学 2 年生 35.2%、高校 2 年生 69.2%となっている。高校生は就寝時間が遅いものの、「睡眠不足と感じていない」が 59%を占めています。

【目標実現に向けた取組】

・悩みを抱えている人は、本人から相談機関への相談は難しいことがある。そのため、周りの人が気づいて声をかけることや相談につなぐことができるよう、相談窓口を周知啓発していきます。

・十分な睡眠で休養できるよう生活リズムを整えることを啓発していきます。（小中高）

・自分に合ったストレス対処法を見つけストレスを解消できるよう、十分な休息をとることの大切さや、リフレッシュ方法等を周知・啓発していきます。

⑤たばこ

小・中学生、高校生へたばこの害に関する知識を普及していきます。また、受動喫煙の家庭を減らすために、たばこの影響や受動喫煙防止策を啓発します。

【重点目標】

・たばこの害について正しい知識をもつことができる
・受動喫煙の家庭を減らす
・未成年や妊婦の喫煙を家庭・地域で防止する

【数値目標】

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
成人の喫煙者の減少 （20～64 歳）	15.5　%	現状値より減る	健康づくりアンケート
妊婦の喫煙をなくす （4～5 歳児の保護者への調査で妊娠時の喫煙に関する質問）	3.2　%	0%	健康づくりアンケート
受動喫煙の家庭が減る （家族の喫煙者が家庭内で「いつも近くで吸っている」）	4～5 歳児の家庭　7.3% 小5の家庭　26% 中2の家庭　15.7%	0%	健康づくりアンケート

【現状・課題】

・成人の喫煙者の割合 15.5%のうち、喫煙本数が 20 本以上の方が 46%となっており、1 日の本数が 1 箱以上の方が約半数を占めています。
・妊娠中における喫煙の胎児への影響については、母子手帳交付時等に禁煙の説明をしているが、3.2%の方が喫煙をしています。
・家族内に喫煙者がいる家庭では「いつも近くで吸っている」との回答が小学 5 年で 26%あり、受動喫煙による健康への影響が考えられます。

【目標実現に向けた取組】

・学校、地域、職場と連携して、たばこの害や、慢性閉塞性肺疾患（COPD）に関する正しい知識を啓発していきます。
・家庭や地域で受動喫煙対策の取り組みをすすめるため、子どもを含むイベント会場や、公共の施設（駐車場）など、不特定多数の者が利用する場所での禁煙の取組を徹底していきます。（張り紙やイベント会場での放送など）

⑥アルコール

適正な飲酒の知識を身につけ、健康のためにアルコールと上手に付き合うことができるよう、働きかけをすすめていきます。

【重点目標】

・健康的な適正飲酒の量を知る
・習慣的な飲酒をしないよう休肝日をつくる
・未成年や妊産婦、お酒の飲めない人には飲ませない、すすめない

【数値目標】

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合が減る（2 合以上）	25.4%	23%	健康づくりアンケート
飲酒の適量を知っている人の増加（1 合以下）	67.8%	70%	健康づくりアンケート
未成年の飲酒をなくす	中２　9.9% 高２　10.3%	中２　0% 高２　0%	健康づくりアンケート

【現状・課題】

・2 合以上飲酒する人の割合が県と比較して多い。
・飲酒の適量を知っている人の割合は 67%であるが、適量を知らない方もいるため、正しい知識の啓発が必要です。
・未成年の飲酒経験の割合は、策定時や前回のアンケート時より減少しているが 9～10%の割合で飲酒経験者がみられ、未成年本人や家族を含めた啓発が必要です。

【目標実現に向けた取組】

・未成年の飲酒対策として、学校・地域・行政の連携により、健康講和を行い飲酒に関する正しい知識を啓発していきます。
・未成年には飲酒をさせないよう、家族や周りの大人が家庭内で飲酒問題などについて話す場をもつことをすすめていきます。ノンアルコールや微量のアルコール飲料は、アルコール分が少なくても、大人を対象とした飲料であることを周知します。
・広報誌、健診後の健康相談等で、飲酒と健康問題や、休肝日の必要性などについて説明し、適正飲酒に関する知識を啓発していきます。
・アルコール関連問題（飲酒運転、アルコール依存、暴力行為等）の発生を防止するために、アルコールの問題を抱えている人や家族が相談できる窓口を周知し、状況に応じて専門機関や関係機関へ情報をつなげます。

厚生労働省「健康日本 21（第二次）」において、「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」は、1 日当たりの純アルコール摂取量が「男性で 40g 以上、女性で 20ｇ以上」と定義されています。

飲酒量が増えると、がん、高血圧、脳出血、脂質異常症などのリスクが高くなります。生活習慣病のリスクを高めない量を心がけ、週に 1～2 回は休肝日をつくることが大切です。

（参考）【生活習慣病のリスクを高める飲酒量の目安】

		清酒（15%）	ビール（5%）	純アルコール量
生活習慣病のリスクを高める飲酒量（1 日あたり）	男性	2 合	500 ㎖×2本	40ｇ以上
	女性	1 合	500 ㎖×1本	20ｇ以上
純アルコール摂取量の上限の目安	男性	1 合	500 ㎖×1本	20ｇ
	女性	0.5 合	250 ㎖	10ｇ
多量飲酒		3 合	500 ㎖×3本	60ｇ以上

（参考）【主な酒類の換算の目安】

お酒の種類	ビール（500 ㎖）	清酒（1 合）	ウイスキー・ブランデー（ダブル 60 ㎖）	焼酎（35 度）（1 合）	ワイン（1 杯 120 ㎖）
アルコール度数	5%	15%	43%	35%	12%
純アルコール量	20ｇ	22ｇ	20ｇ	50ｇ	12ｇ

※1 合は 180 ㎖

【厚生労働省 HP　健康日本２１（アルコール）】

（参考）【1 日あたりの平均純アルコール摂取量の計算】

お酒の量（㎖）×〔アルコール度数（%）÷100〕×0.8＊＝純アルコール量（ｇ）
＊アルコールの比重

例）ビール 500 ㎖ 1 本、アルコール度数５%の場合
500 ㎖×〔5%÷100〕×0.8＝20ｇ

【厚生労働省 e-健康づくりネット（アルコール）】

⑦栄養・食生活

生活習慣病の予防、高齢者の低栄養予防など、食に関する知識の普及については、各種事業を通じ、管理栄養士による栄養指導のほか、食生活改善推進員の協力や活動により行っていきます。

【重点目標】

・毎日の食事に野菜をプラスする

・食事のバランスや適量・適塩など健康的な食生活に努める

【数値目標】

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
食事のバランスについて考える人の割合が増える	32.5%	40%	健康づくりアンケート
適切な量の食事をしている人の割合が増える （三食きちんと食事をしている人の割合）	43.8%	50%	健康づくりアンケート
適正体重を知っている人の割合が増える	76.6%	80%	健康づくりアンケート
適正体重を維持している人の割合が増える （20～64 歳男性の肥満の割合が減る） （20 歳代女性の低体重の割合が減る）	45.2% 20%	43% 17%	健康づくりアンケート
減塩に取り組む人の割合が増える	新規項目	今後、現状把握と取組を実施していきます	
学校等給食の塩分量を減らす	新規項目		

【現状・課題】

・20 歳代女性の低体重（BMI18.5 未満）の割合が 20%であり、低体重の割合は若い女性に多い。

・20 歳～64 歳男性の肥満（BMI25 以上）の割合が 45.2%あり、とくに 40 歳以上において肥満の割合が増加している。

・標準化死亡比で、男性の脳血管疾患と、男女ともに急性心筋梗塞の割合が高いことから、血管を守るために減塩の取組を行っていくことが必要です。健診結果報告会における個別相談では、減塩に気をつけているつもりでも、塩分チェック表で確認すると塩分を摂り過ぎているケースもあります。

【目標実現に向けた取組】
・食についての正しい知識を啓発する。（主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスの良い食事を、レシピの紹介や、健康教室で啓発する。）
・適切な量の食事をするとで適正体重を維持していきます。
・食事の組み合わせや、食事内容を考えることができるよう、栄養成分表示の見方を啓発する。
・食生活改善推進員と連携して、島の食材を使ったレシピの提供や料理教室を行い、食を通じた健康づくりを地域で普及啓発していきます。また、旬の食材は栄養価が高いことから、地場産の食材で美味しく食べて健康になれる取組を検討していきます。
・特定健診結果を渡す時などに、「塩分チェック表」を活用して、自分の食事が適塩か自分で確認することができるようにします。また、塩分摂取量の目安を知り、血管を守るために減塩の習慣を維持できるよう、減塩商品の活用や、調理の工夫などを啓発していきます。
・食事に含まれる塩分媒体を作成し、健診結果報告会会場での展示や、地域での健康講和等で周知啓発していきます。

（参考）
　塩分摂取量の目安として、厚生労働省の「日本人の食事摂取基準（2020 年度版）」では、推奨される１日の塩分量は男性で 7.5ｇ未満、女性で 6.5ｇ未満となっています。ただし、高血圧や慢性腎臓病（CKD）の重症化を予防するための塩分量は、男女共に、１日６ｇ未満と設定されています。

３　数値目標一覧

①健診と健康管理・重症化予防

項目・指標		R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
特定健診受診率の増加 （40～74 歳）		R3　38.2%	60%	KDB システム
特定保健指導終了率の増加		R3　26.6%	40%	
がん検診受診率の向上	胃がん	R3 男　6.77% R3 女　6.59%	男　10% 女　10%	鹿児島県各種がん検診集計報告書
	大腸がん	R3 男　9.82% R3 女　13.34%	男　12% 女　15%	
	肺がん	R3 男　7.80% R3 女　8.09%	男　10% 女　10%	
	子宮がん	R3 女　20.79%	女　25%	
	乳がん	R3 女　33.32%	女　36%	

②身体活動・運動

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
運動習慣者の割合が増える （20～64 歳）	15.7%	20%	健康づくりアンケート
1 日 30 分以上活動する人の割合が増える （20～64 歳）	54.1%	60%	健康づくりアンケート
日頃から健康のために体を動かす人の割合が増える （65 歳以上）	79%	85%	健康づくりアンケート

③歯と口腔の健康

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
就寝前の歯みがきをする児童生徒の割合が増える	小5　68.9% 中2　74.7% 高2　61.5%	小5　75% 中2　80% 高2　70%	健康づくりアンケート
4～5 歳児の仕上げみがきをほとんど毎日している家庭が増える	73.4%	80%	健康づくりアンケート
3 歳児でむし歯がない者の割合が増える	R3 年 88.3%	90%	県歯科口腔保健計画
定期的に歯科医院を受診する人の割合が増える	17.5%	20%	健康づくりアンケート
一人平均現在歯数が 25 本以上を維持する （50 歳代、60 歳代）	R3年 50 歳代　26.8 本 60 歳代　23.9 本	50 歳代　25 本以上の維持 60 歳代　25 本以上	県歯科口腔保健計画
進行した歯周炎になっている人が減る （40 歳代、60 歳代）	R3年歯周炎がある人の割合 40 歳代　56.5% 60 歳代　75.0%	40 歳代　50% 60 歳代　70%	県歯科口腔保健計画

④休養・こころの健康

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
ストレスを解消できている人の割合が増える （20～64 歳）	13.4%	20%	健康づくりアンケート
睡眠不足と感じている人の割合が減る （20～64 歳「睡眠がとれていない時がある」「とれていない」） （65 歳以上「あまり眠れていない」）	小5　42.7% 中2　45.1% 高2　25.6% 20～64 歳　24.2% 65 歳以上　9.2%	小5　37% 中2　40% 高2　20% 20～64 歳　20% 65 歳以上　5%	健康づくりアンケート

⑤たばこ

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
成人の喫煙者の減少 （20～64 歳）	15.5　%	現状値より減る	健康づくりアンケート
妊婦の喫煙をなくす （4～5 歳児の保護者への調査で妊娠時の喫煙に関する質問）	3.2　%	0%	健康づくりアンケート
受動喫煙の家庭が減る （家族の喫煙者が家庭内で「いつも近くで吸っている」）	4～5 歳児の家庭　7.3% 小５の家庭　26% 中２の家庭　15.7%	0%	健康づくりアンケート

⑥アルコール

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合が減る（2 合以上）	25.4%	23%	健康づくりアンケート
飲酒の適量を知っている人の増加（1 合以下）	67.8%	70%	健康づくりアンケート
未成年の飲酒をなくす	中２　9.9% 高２　10.3%	中２　0% 高２　0%	健康づくりアンケート

⑦栄養・食生活

項目・指標	R4年度現状値	R14 年度目標値	データ元
食事のバランスについて考える人の割合が増える	32.5%	40%	健康づくりアンケート
適切な量の食事をしている人の割合が増える（三食きちんと食事をしている人の割合）	43.8%	50%	健康づくりアンケート
適正体重を知っている人の割合が増える	76.6%	80%	健康づくりアンケート
適正体重を維持している人の割合が増える （20～64 歳男性の肥満の割合が減る） （20 歳代女性の低体重の割合が減る）	45.2% 20%	43% 17%	健康づくりアンケート
減塩に取り組む人の割合が増える	新規項目		
学校等給食の塩分量を減らす	新規項目		

第５章
地産地消・食育推進計画

第５章　地産地消・食育推進計画

１　前計画の評価と課題

各年代のアンケート調査結果等をもとに、評価を行いました。

全分野のうち、（A）目標達成が１項目、（B）改善傾向が１項目、（C）悪化が３項目、（D）新規で追加した項目が、４項目となっています。

【地産地消・食育推進計画】

分野	項目数	（A） 達成	（B） 改善傾向	（C） 悪化	（D） 新規
１朝食・食育	３			１	２
２共食・食農教育	２	１		１	
３地産地消・食文化の継承	４		１	１	２

※　第１次、第２次計画策定時のアンケート対象者は、６０歳以上が６割～８割を占めていましたが、今回、国や県の食育推進計画を基に若い世代への食育推進を重点に置き、２０歳～６４歳の幅広い年代への調査も行いました。

　計画策定時や前回とは、アンケート対象者の年代別の割合が異なり、一概に比較することはできないですが、若い世代や事業所へのアンケート調査を行うことにより、新しい課題も出てきました。

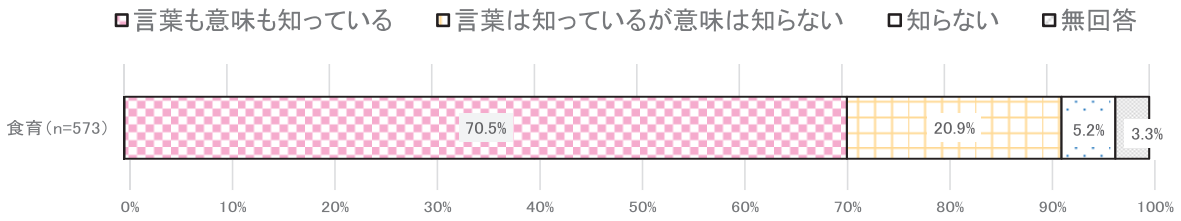
２　徳之島町における食の現状と課題

（１）「食育」という言葉や意味を知っている町民の割合

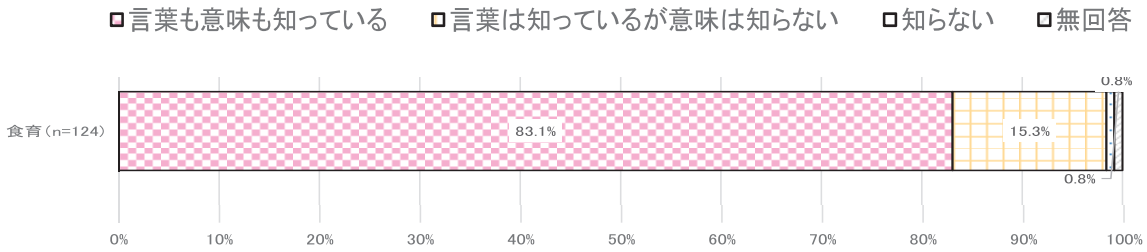
食育推進計画で基本となる「食育」という言葉や意味を知っている町民の割合では、「言葉も意味も知っている」が70.5%と最も多く、次に「言葉は知っているが、意味は知らない」が20.9%、「知らない」が5.2%となっています。

また、保育園や幼稚園等では食育の活動を行っていることもあり、未就学児の保護者では「言葉や意味を知っている」と答えた割合が 83.1%と高い結果になりました。

＜20 歳～64 歳＞



＜未就学児の保護者＞



「食育」とは

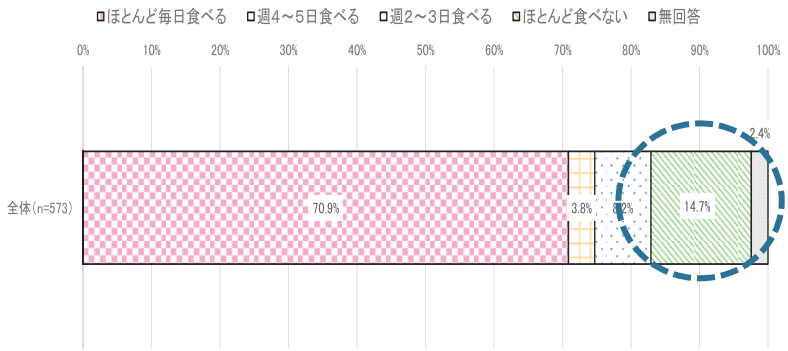
生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの。様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

（2）朝食を欠食する町民の割合

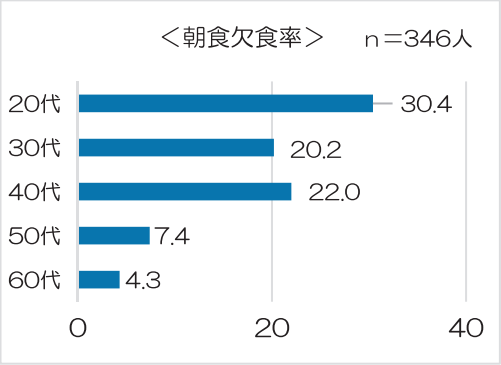
朝食を欠食する町民の割合は、全体では 14.7%となり、事業所でのアンケートから年代別で比較をすると、20 代から 40 代の若い世代が 20%～30%と高く、年齢が上がるにつれて、朝食欠食率は減少傾向にあります。

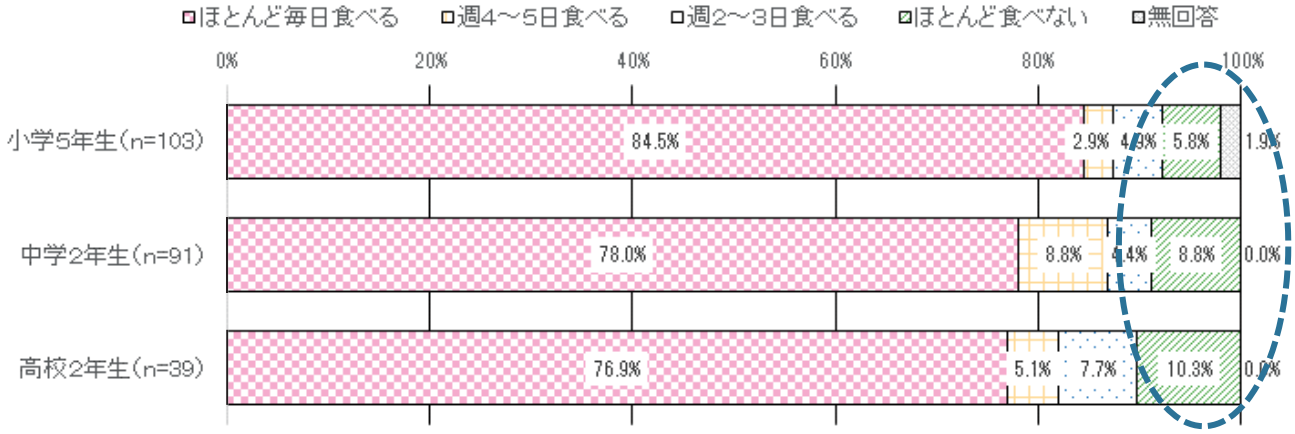
また、小学生、中学生、高校生の朝食欠食率は学年が上がるにつれて高くなる傾向にあります。

＜20 歳～64 歳＞



＜事業所＞





朝食を食べない理由として、小学生から６４歳までのどの年代も「食欲がないから」が最も多く、次に「食べる時間や習慣がない」という回答が多くみられました。

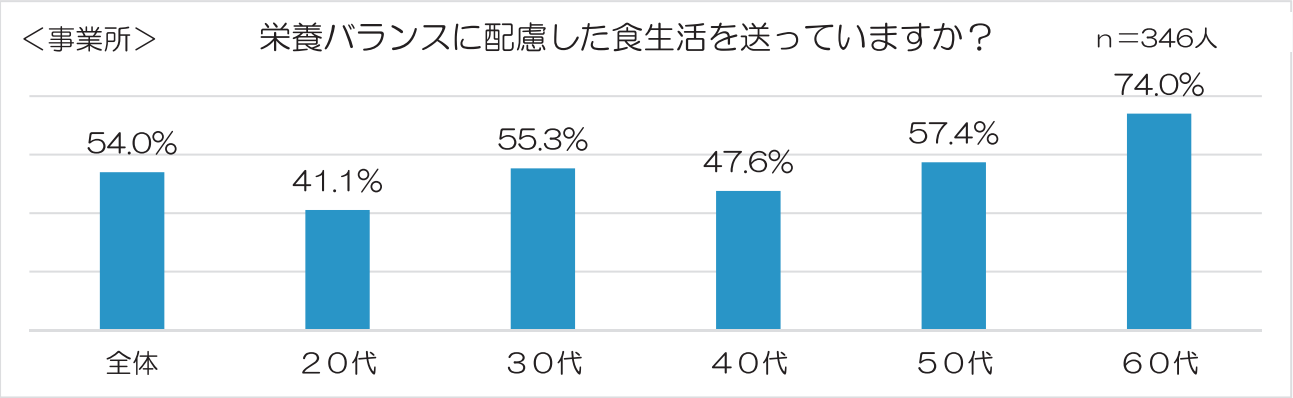
また、小学生、中学生、高校生の食事内容として、学年が上がるにつれて手軽に食べられるパンを食べている子ども達が多いという結果になりました。

１日を元気に過ごすためには、朝食を摂る習慣を身につけることが重要になるため、朝食の重要性の啓発が必要になります。

（3）意識して栄養バランスに配慮した食生活を送っている町民の割合

年代別で、栄養バランスに配慮した食生活を送っている町民の割合は、年齢が上がるにつれて、増加傾向にあります。

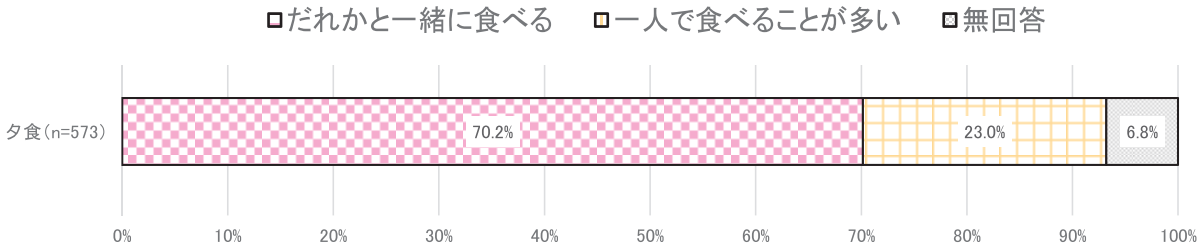
毎日の食が健康に密接に関係するため、正しい知識を一人ひとりが身につけられるよう、積極的な情報提供が必要になります。

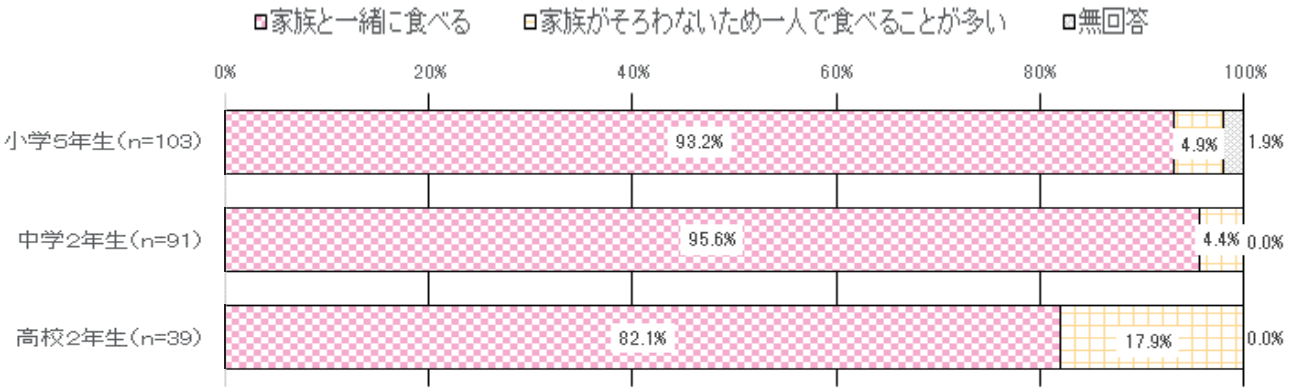


（4）夕食を家族と一緒に食べている町民の割合

20 歳から 64 歳までのアンケートでは、「だれかと一緒に食べる」が 70.2%と最も多く、次に「一人で食べることが多い」が 23.0%という結果になり、小学生から高校生までの共食の割合は、80%～95%と高い結果となりました。

＜20 歳～64 歳＞

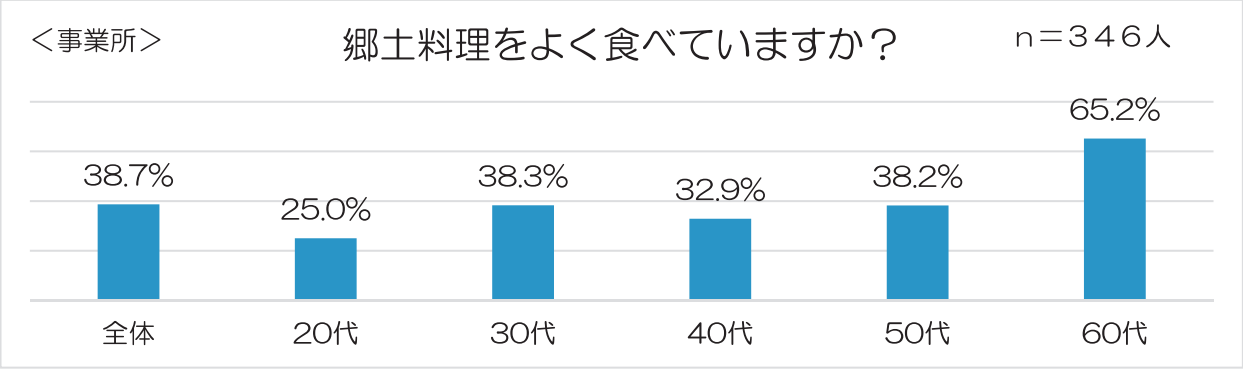




（5）郷土料理を食べている町民の割合

令和４年度の事業所アンケートは、郷土料理をよく食べている町民の割合が38.7%と低い傾向にあり、年代別で比較すると特に若い年代が低い結果となりました。

郷土料理を継承するために、若い世代や子ども達への郷土料理教室の開催やレシピの紹介等の情報発信が必要になります。



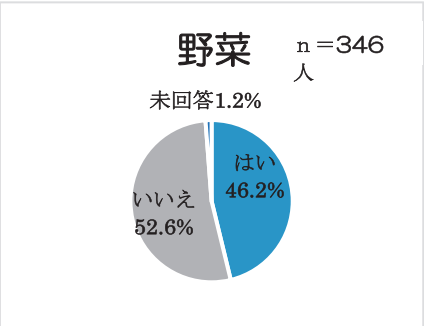
（6）意識して島内の農林水産物を購入している町民の割合

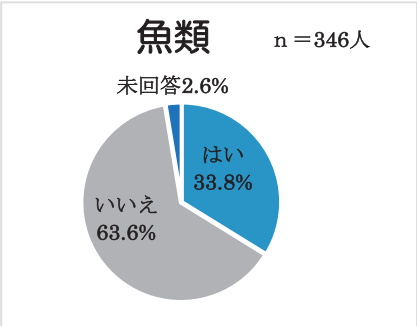
20 歳から 64 歳までのアンケートでは、徳之島の食材をよく買いますか。の問いに「いいえ」と答えた方が 47.6%と最も高く、次に「はい」と答えた方が、44.3%となりました。

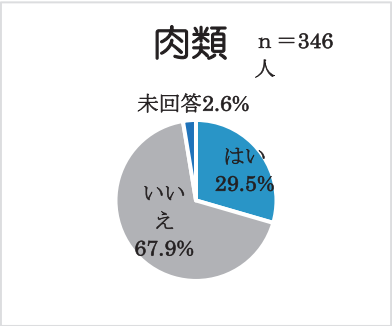
事業所アンケートでは、意識して島内産の農林水産物を購入している割合のなかで、魚類や肉類より野菜類を多くの町民が購入している結果となりました。

島内産の PR が少ないという意見もあったため、店頭にポップや食材のレシピなどの啓発が必要になります。

＜事業所＞







（購入されている主な食材名）

分類	主な食材名
野菜	じゃがいも、ほうれん草、パパイヤ、にがうり（ゴーヤー）、冬瓜
果物	バナナ（島バナナ）、ピタヤ（ドラゴンフルーツ）、みかん（たんかん）、マンゴー
魚	刺身
肉	豚肉
加工品	豆腐、かまぼこ、黒糖

３　評価の概要

項目	計　画 策定時	目標値	実績 (前回)	評価 (前回)	実績 (今回)	評価 (今回)
(1) 食育という言葉や意味も知っている町民の割合（注１）	――	――	――	――	70.5%	――
(2) 朝食を欠食する町民の割合 a.小学生 b.中学生 c.20 代以上(成人の割合)（第２次） c.若い世代(20 代～30 代)（第３次）(注２)	 0.7% 2.9% 7,1% ――	 0.0% 0.0% 5.0% ――	 0.0% 3.7% 2.6% ――	 A C A ――	 5.8% 8.8% 14.7% 24.0%	 C C C ――
(3) 意識して栄養バランスに配慮した食生活を送っている割合	――	――	――	――	32.5%	――
(4) 共食の割合（成人の割合）	――	――	73.3%	――	70.2%	C
(5) 教育ファームの取り組みを行っている学校の数	８校	８校	８校	A	８校	A
(6) 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承している割合(注２) 郷土料理を食べている町民の割合(第３次)	―― ――	―― ――	20.4% ――	―― ――	9.0% 38.7%	C ――
(7) 意識して島内の農林水産物を購入している町民の割合	――	――	――	――	44.3%	――
(8) 学校における地場産物の利用割合（重量ベース）の増加（第２次まで） 学校における地場産物の利用割合（金額ベース）の増加（第３次）	15.5% ――	18.0% ――	25.3% ――	A ――	―― 44.0%	―― ――

（注１）20 歳から 64 歳アンケート調査
（注２）事業所アンケート調査

4　分野別の取り組み

①朝食・食育

【食を選択する力を習得し、生涯にわたって健全な心身を培う。】

食べたいものが食べたいときに手に入る飽食の時代となり、嗜好品や外食、食の欧米化により、野菜不足・脂質の過剰摂取が問題になっています。健康な心や体を作るには、体に良いものを選択する力、それを調理する力を身につけることが大切です。

また、健全な心身を培うためには、規則正しい生活習慣を心がけることが必要です。

【重点目標】

- 朝ごはんで生活リズムを整えよう
- 食事の栄養バランスに配慮して、主食・主菜・副菜をそろえよう

【数値目標】

項目・指標	R4年度現状値	R9年度目標値
食育という言葉や意味を知っている町民の割合の増加	70.5%	75.0%
朝食を欠食する町民の割合の減少 a.小学生 b.中学生 c.20 歳以上 d.20～30 歳	 5.8% 8.8% 14.7% 24.0%	 0.0% 0.0% 10.0% 20.0%
意識して栄養バランスに配慮した食生活を送っている割合の増加	32.5%	40.0%

【課題】

- 前回の調査結果と比べて、小学生から若い世代での朝食欠食率が高い傾向にあるため、まずは朝食を食べる習慣を付けるための啓発が必要。
- 国や県と比較しても意識して栄養バランスに配慮した食生活を送っている町民の割合が低いため、栄養バランスのとれた食事の指標や簡単なレシピ等の啓が必要。

【今までの取組】

- 給食センターから町内の小・中学校へ日々の食生活を見直す啓発ポスターを配布。
- バランスの良い食生活の推進や生活習慣病についてのチラシを配布。
- 食についての講演会の開催。

【目標実現に向けた取組】

＜家庭＞

- 生活習慣・食事内容の見直し
- 家庭での食に対する意識改善
- 年齢に合わせた調理技術の習得

＜食改、生研＞

- 栄養バランスのとれた簡単なレシピの紹介
- 親子料理教室などの開催

＜各学校＞

- 「早寝・早起き・朝ご飯」の運動を継続

＜役場・保健センター＞

- 外食・中食の上手な利用方法の情報を提供
- 各イベントでの啓発活動
- 栄養教室や料理教室、講演会やシンポジウムの開催
- １日分の野菜摂取量の媒体を作成

②共食・食農教育

【食農教育や一家団らんで食卓を囲み、感謝の心と豊かな心を育む。】

食料を生産する場と食卓が切り離され、全ての年代において「食」の大切さや“もったいない”と感じる心が低下し、食べ物に対する意識が希薄になっています。

また、ライフスタイルの変化により、家族と楽しく食事をする機会が減少しています。農業体験などを行うことによって命の大切さを学び、また、家族と食事を楽しむことによって、感謝の心と豊かな心を育むことが必要です。

【重点目標】

- 家族や友人と食を楽しもう
- 農林漁業体験を行い、「食」への感謝の気持ちを育てよう

【数値目標】

項目・指標	R4年度現状値	R9年度目標値
共食の割合の増加	70.2%	75.0%
教育ファームの取り組みを行っている学校の数	８校	８校

【課題】

- 各学校で食農教育を行っているため、今後は、各関係機関とどのように連携して推進を図るか検討が必要。

【今までの取組】

- ふれあい農園にて、保育園生と植付から収穫、調理までの農業体験の取組を実施
- 山中学校での農業体験を実施。

【目標実現に向けた取組】

＜家庭＞

- 簡単な農作業を家族で行い、育てることの大切さや感謝の心を育む
- １日に１回は、家族団らんの時間をつくる
- 家族団らんの時間を楽しみながら、食事のマナーを教える

＜各学校＞

- 農業体験などを通して、地元の安心安全な食材のよさや農業の必要性、食べ物には命があることを学ぶ
- 子ども達と地域の生産者とのつながり（結びつき）をつくる

＜JA、漁協、島野菜生産部会、農業普及課、役場＞

- JA や農林水産課により農産物栽培を支援する
- 教育ファームを充実させる
- 食育の出前事業の支援の継続（魚の捌き方、郷土料理教室等）と利用しやすい情報を周知啓発する

③地産地消・食文化の継承

【地産地消を基本とし、島の食文化を継承する。】

食生活が多様化する中で、地産地消の食材や郷土料理を食べる習慣が減少しています。郷土料理や伝統食等の食文化を次の世代へ継承を図ることが大切です。

また、地産地消を基本とし、郷土料理のよさを伝承することが必要です。

【重点目標】

- 地元で採れた食材で料理をしてみよう
- 家庭の味や郷土料理、季節の行事食を次世代に伝えよう

【数値目標】

項目・指標	R4年度現状値	R9年度目標値
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承している割合	9.0%	15.0%
郷土料理を食べている町民の割合	38.7%	45.0%
意識して島内の農林水産物を購入している町民の割合	44.3%	50.0%
学校における地場産物の利用割合（金額ベース）の増加	44.0%	50.0%

【課題】

- 郷土料理の継承や食べる習慣の割合が低い結果となったため、引き続き郷土料理教室の開催やレシピの提供等が必要。
- アンケート調査の要望で「調理方法が分からない食材もある」との回答があり、店舗にレシピ等を置き、地産地消促進に繋げることが必要。

【今までの取組】

- 親子郷土料理教室の開催。
- 島の食材を使った郷土料理教室の開催。
- 高校生への郷土料理教室の実施。
- 食と農林漁業の祭典での行事食の展示や島の食材を使ったコンテストの開催。

【目標実現に向けた取組】

＜家庭＞

- 島の食材を活用した郷土料理のよさを伝承

＜各学校＞

- 地場産物や旬の食材を活用し、郷土料理を取り入れながら、島の食文化にふれる機会の充実

＜役場、保健センター、ＪＡ、漁協、島野菜部会、食改、生研＞

- ○○料理教室の開催（親子、男性、単身等）
- 島の食材を活用した、昔ながらのおやつや郷土料理の伝承を支援
- 島内産コーナーに食材のＰＲやレシピの紹介
- 給食施設への安定的な出荷が可能になるような生産組織の体制強化及び各関係機関との連携
- 島の食材を活用したレシピコンテストの開催

5　数値目標

項目	第２次計画		第３次計画	
	平成 29 年度 現状値	平成 35 年度 目標値	令和４年度 現状値	令和９年度 目標値
（1）食育という言葉や意味も知っている町民の割合（注１）	――	――	70.5%	75.0%
（2）朝食を欠食する町民の割合 a.小学生 b.中学生 c.20 代以上(成人の割合)（第２次） c.若い世代(20 代～30 代)（第３次）(注２)	 0.0% 3.7% 2.6% ――	 0.0% 0.0% 2.0% ――	 5.8% 8.8% 14.7% 24.0%	 0.0% 0.0% 10.0% 20.0%
（3）意識して栄養バランスに配慮した食生活を送っている割合	――	――	32.5%	40.0%
（4）共食の割合（成人の割合）	73.3%	75.0%	70.2%	75.0%
（5）教育ファームの取り組みを行っている学校の数	８校	８校	８校	８校
（6）地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承している割合(注２) 郷土料理を食べている町民の割合（第３次）	20.4% ――	30.0% ――	9.0% 38.7%	15.0% 45.0%
（7）意識して島内の農林水産物を購入している町民の割合	――	――	44.3%	50.0%
（8）学校における地場産物の利用割合（重量ベース）の増加（第２次） 学校における地場産物の利用割合（金額ベース）の増加（第３次）	15.5% ――	18.0% ――	―― 44.0%	―― 50.0%

（注１）20 歳から 64 歳アンケート調査
（注２）事業所アンケート調査

第６章
計画の推進体制

第６章　計画の推進体制

１　計画の推進体制

本計画の推進には、町民一人ひとりが健康意識を高め、日常生活の中で主体的に健康づくりに取り組むことができるよう支援体制を整備することが重要です。

そのため、地域や関係団体、行政等が連携しながら、一人ひとりの健康づくりを支え、地域全体で取り組んでいくことが大切です。

町民・家庭、地域の団体・各集落、保育所（園）・幼稚園・学校、医療機関、職域、行政が、それぞれの取組状況を情報共有し、目標達成に向けて見直しや改善を行い取り組んでいきます。

２　計画の進行管理

本計画の目標を実現するためには、計画の進捗状況を確認して、計画的に取り組んでいくことが大切です。計画最終年度の令和 14 年度には各分野の目標を達成できるよう、５年後の令和９年度に中間評価を行い、目標達成に向けて進行管理を行います。

資料編

資料編

1　アンケート調査結果概要

令和５年度に「健康増進計画」と「地産地消・食育推進計画」を見直すにあたり，町民の生活習慣をはじめ、健康づくりや食育等に関する現状、意識などを把握し、本町における健康づくりや食育等に関する課題、町民ニーズの把握と、これまでの取り組みの成果を把握するため、親子（未就学児の保護者）、小中高校生、成人等に分けて「健康づくりアンケート調査」を実施しました。事業所は、「食育に関するアンケート調査」を実施しました。

健康づくりアンケート調査票の配布回収状況

	親子（未就学児）調査	小中高校生調査	成人調査
調査対象	町内在住の未就学児（幼稚園・保育園の年長児）の保護者	町内在住の小５年生、中学２年生、高校２年生	20 歳以上の徳之島町民
配布方法 回収方法	郵送による配布回収、もしくは園を通じた配布・回収	学校を通じた配布・回収	郵送による配布・回収
調査期間	令和４年 12 月１日～ 令和４年 12 月 15 日	小学５年、中学２年生 令和４年９月 14 日～ 令和４年 10 月 12 日 高校２年生 令和４年 11 月 28 日～ 令和４年 12 月８日	20 歳～64 歳 令和４年 11 月 21 日 ～令和４年 12 月８日 65 歳以上 令和４年 11 月 25 日 ～令和４年 12 月８日
配布数	138 件	小学５年生　103 件 中学２年生　98 件 高校２年生　68 件	20 歳～64 歳 2,400 件 65 歳以上 1,000 件
有効回答数	124 件	小学５年生　103 件 中学２年生　91 件 高校２年生　39 件	20 歳～64 歳 573 件 65 歳以上 401 件
有効回答率	89.8%	小学５年生　100% 中学２年生　92.8% 高校２年生　56.5%	20 歳～64 歳 23.8% 65 歳以上 40.1%

食育に関するアンケート調査票の配布回収状況

	事業所Ａ	事業所Ｂ	事業所Ｃ
調査対象	事業所に勤務する徳之島町町民	事業所に勤務する徳之島町町民	事業所に勤務する徳之島町町民
配布方法 回収方法	事業所を通じた配布・回収	事業所を通じた配布・回収	事業所を通じた配布・回収
調査期間	令和４年８月22日～ 令和４年９月２日	令和４年８月22日～ 令和４年９月２日	令和４年８月22日～ 令和４年９月２日
配布数	90件	97件	285件
有効回答数	53件	70件	223件
有効回答率	58.9%	72.2%	78.2%

２　アンケート結果

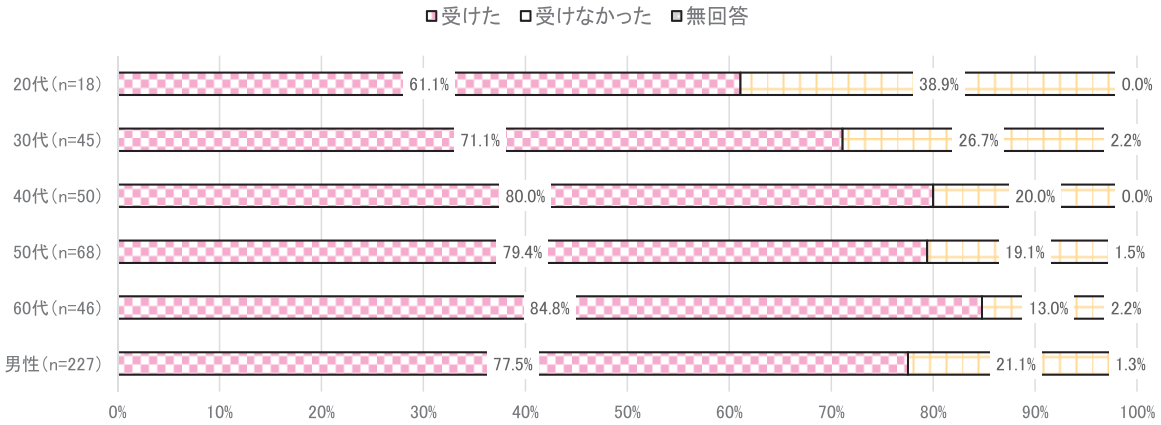
（１）健診と健康管理・重症化予防

①　１年以内に健診（特定健診・若年・職場・人間ドック等）を受けたか

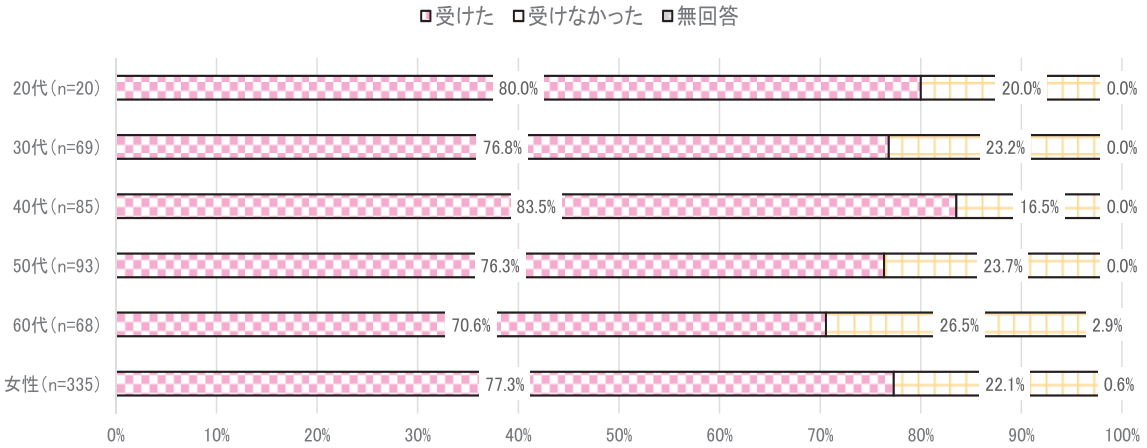
アンケートでは、「受けた」が 60～70%と多く、「受けなかった」が 20～30%となっている。

受けなかった理由については、集団健診の日程が合わなかった、病院受診をしている、面倒くさいから等の回答があった。

【男性 20～64 歳】



【女性 20～64 歳】



（健診を受けなかった理由）

年代	主な理由
20 代	よく知らない、案内があまりこなかった、時間があわなかった、忘れていた
30 代	日程が合わなかった、健診予約時に新型コロナに感染したため、お金がかかるから、面倒くさかった
40 代	新型コロナの感染が怖くて受けなかった、日程が合わなかった、毎年血液検査を受けている為、面倒くさかった
50 代	日程が合わなかった、面倒くさかった、年度内に受診予定、かかりつけで受けている、必要性を感じない
60 代※1	毎月病院に通っているため、日程が合わなかった

※1：60 代は 60 歳～64 歳まで

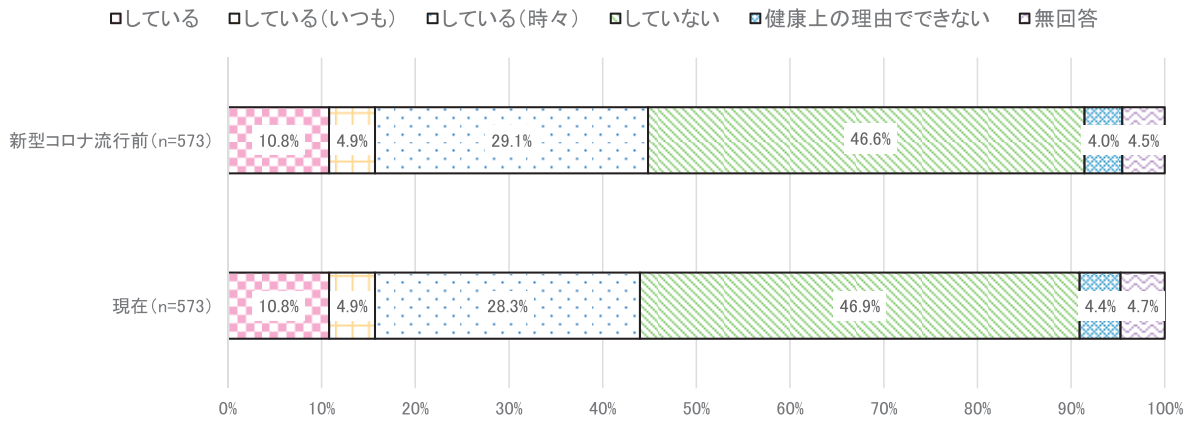
（2）身体活動・運動

①健康づくりのために運動をしているか

新型コロナ流行前:「していない」が 46.6%と最も多く、次に「している(時々)」29.1%、「している※2」10.8%、「している（いつも)」4.9%、「健康上の理由でできない」4.0%となっている。

現在：「していない」が 46.9%と最も多く、次に「している（時々)」28.3%、「している※2」10.8%、「している（いつも)」4.9%、「健康上の理由でできない」4.4%となっている。

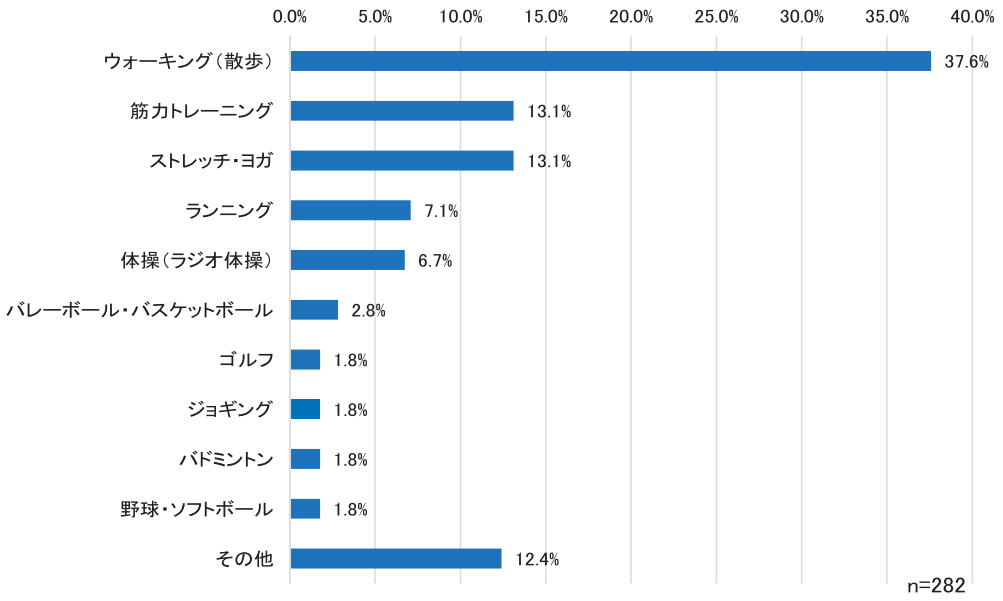
【20～64 歳】



②運動している方は、どのような運動をしているか

「ウォーキング（散歩）」が 37.6%と最も多く、次に「筋力トレーニング」「ストレッチ・ヨガ」13.1%、「ランニング」7.1%、「体操（ラジオ体操）」6.7%となっている。

【20～64 歳】



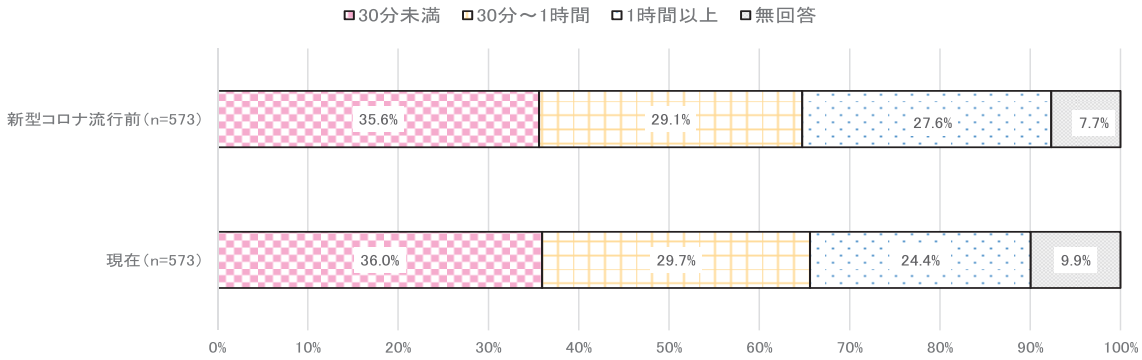
③日常生活（仕事や家事も含む）において 1 日あたりどれくらい歩いているか

新型コロナ流行前：「30 分未満」が 35.6%と最も多く、次に「30 分～1 時間」29.1%、「1 時間以上」27.6%となっている。

現在：「30 分未満」が 36.0%と最も多く、次に「30 分～1 時間」29.7%、「1 時間以上」24.4%

となっている。

【20～64 歳】

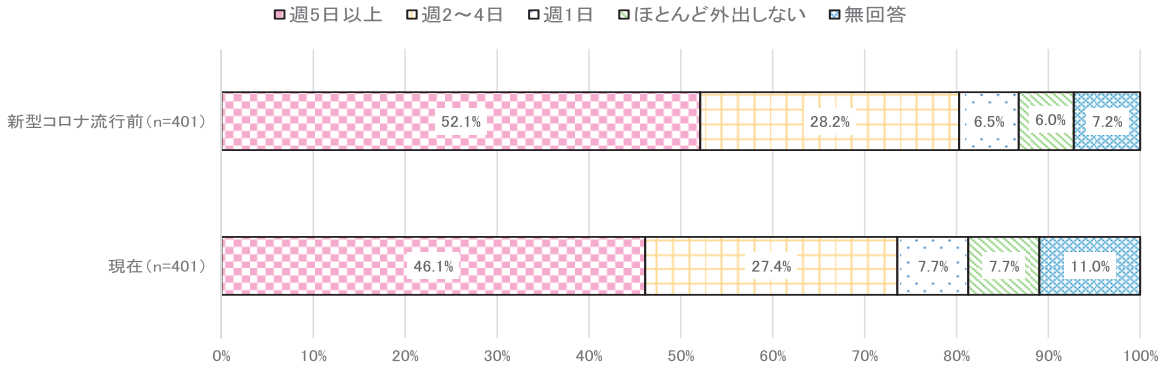


④　日頃、買い物や畑仕事などを含め、１週間でどれくらい外出をしているか

新型コロナ流行前：「週５日以上」が 52.1％と最も多く、次に「週２～４日」28.2％、「週１日」6.5％、「ほとんど外出しない」6.0％となっている。

現在：「週５日以上」が 46.1％と最も多く、次に「週２～４日」27.4％、「週１日」「ほとんど外出しない」7.7％となっている。

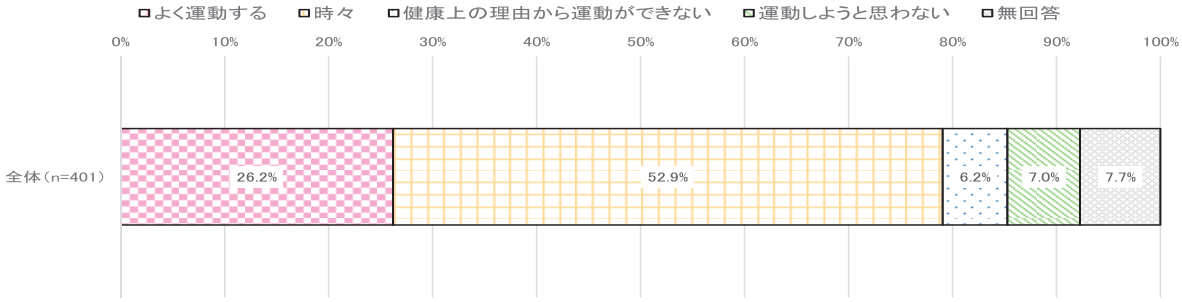
【65 歳以上】



⑤　日頃から健康づくりのために体を動かすように心がけているか

「時々」が 52.9％と最も多く、次に「よく運動する」26.2％、「運動しようと思わない」7.0％、「健康上の理由から運動ができない」6.2％となっている。

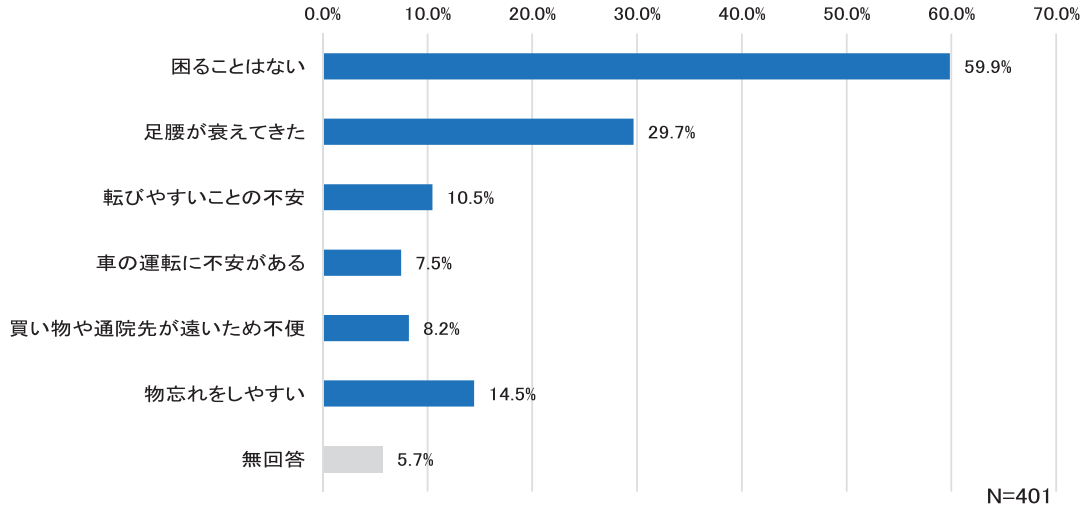
【65 歳以上】



⑥　外出するにあたり、不自由を感じることがあるか

「困ることはない」が 59.9%と最も多く、次に「足腰が衰えてきた」29.7%、「物忘れをしやすい」14.5%、「転びやすいことの不安」10.5%、「買い物や通院先が遠いため不便」8.2%、「車の運転に不安がある」7.5%となっている。

【65 歳以上】



⑦　未就学児が屋内及び屋外で体を動かして遊ぶ時間は、１日に何時間か

（※保育園・幼稚園等が休みの日に体を動かして遊ぶ時間について）

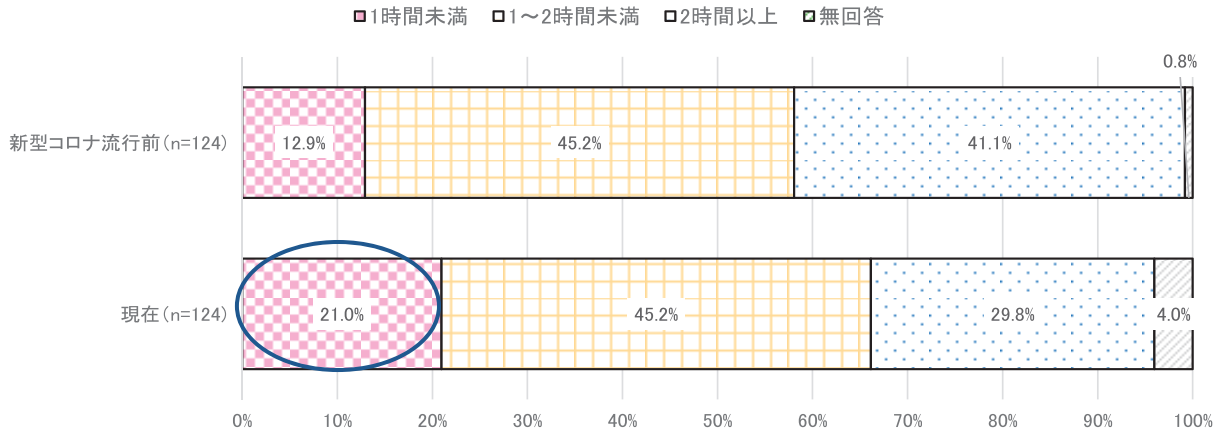
新型コロナ流行前：「１～２時間未満」が 45.2%と最も多く、次に「２時間以上」41.1%、「１時間未満」12.9%となっている。

現在：「１～２時間未満」が 45.2%と最も多く、次に「２時間以上」29.8%、「１時間未満」21.0%

となっている。

また、新型コロナ流行前と比べて現在は１時間未満の割合が増えている。

【４～５歳児】



（３）歯と口腔の健康

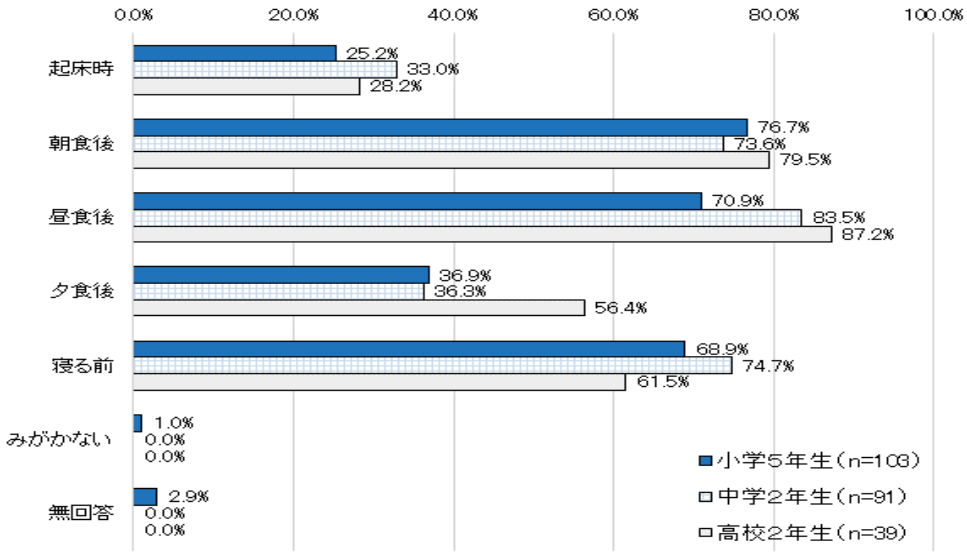
①歯みがきの習慣について、いつ歯みがきをしていますか

小学５年生は「朝食後」が 76.7%と最も多く、次に「昼食後」70.9%、「寝る前」68.9%となっている。

中学２年生は「昼食後」が 83.5%と最も多く、次に「寝る前」74.7%、「朝食後」73.6%となっている。

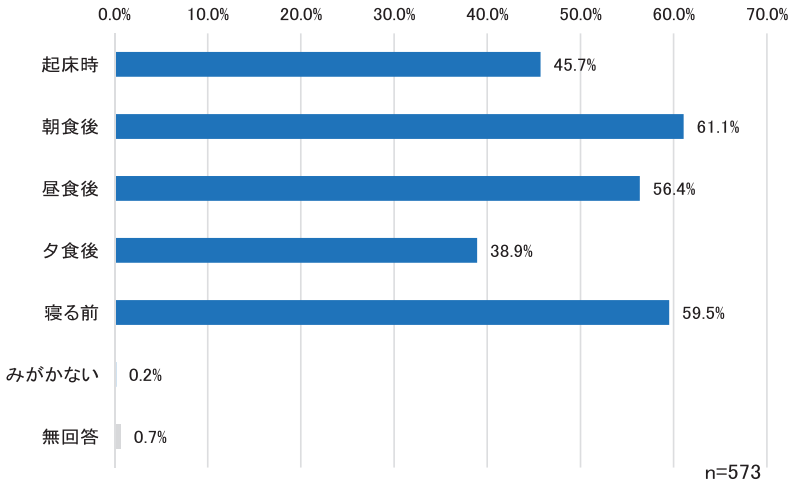
高校２年生は「昼食後」が 87.2%と最も多く、次に「朝食後」79.5%、「寝る前」61.5%となっている。

【小中高校生】



２０～６４歳は、「朝食後」が 61.1%と最も多く、次に「寝る前」59.5%、「昼食後」56.4%、「起床時」45.7%、「夕食後」38.9%となっている。

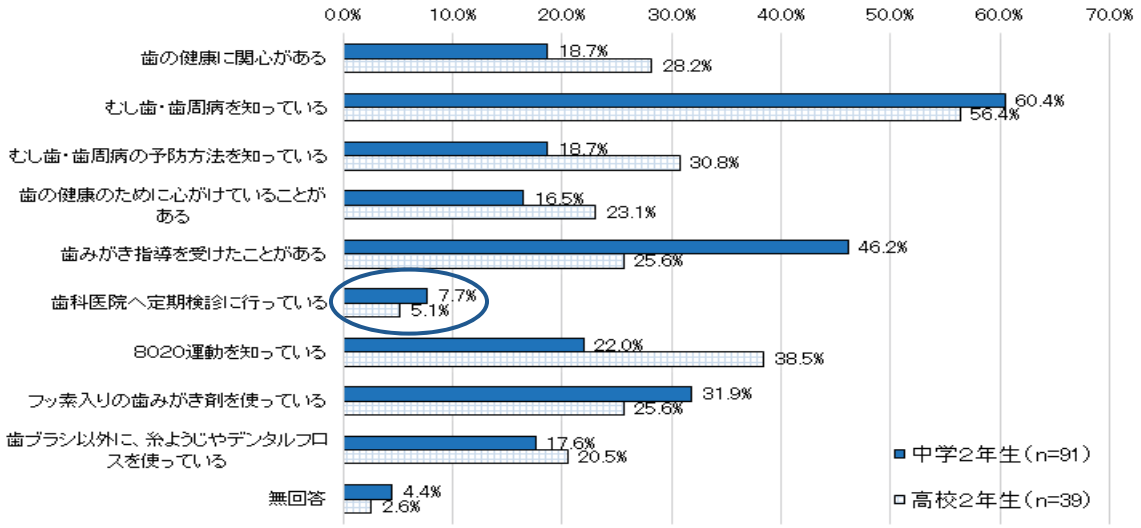
【20～64 歳】



②歯の健康について、知っているまたは取り組んでいること

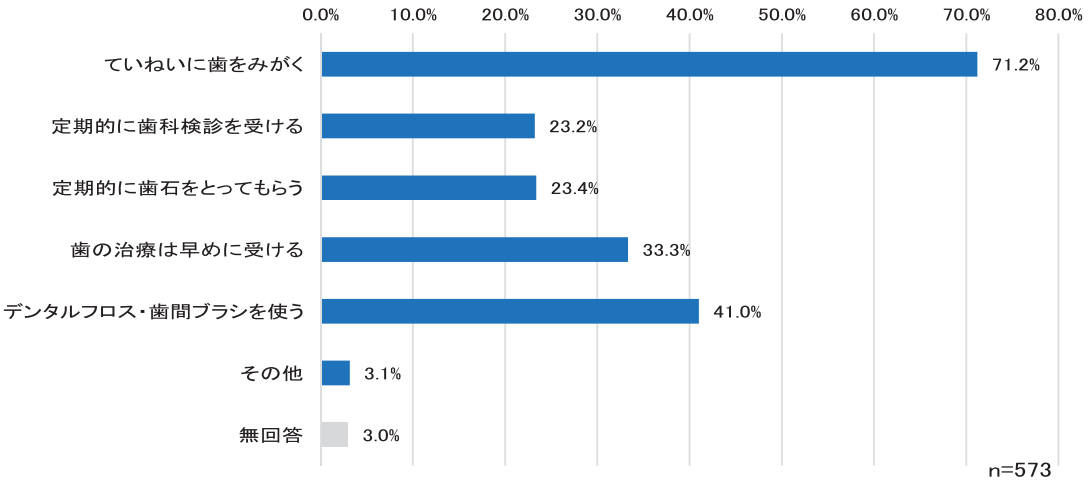
中学２年生（60.4%）、高校２年生（56.4%）ともに「むし歯・歯周病を知っている」が最も多くなっている。次に、中学２年生は「歯みがき指導を受けたことがある」が 46.2%、「フッ素入りの歯みがき剤を使っている」が 31.9%、高校２年生は「８０２０運動を知っている」が 38.5%、「むし歯・歯周病予防方法を知っている」が 30.8%となっている。

【小中高校生】



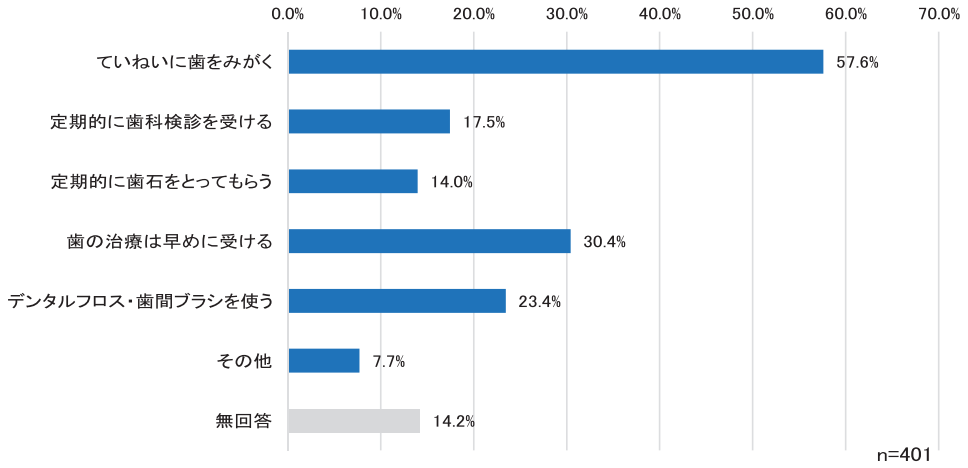
２０～６４歳では、「ていねいに歯をみがく」が 71.2%と最も多く、次に「デンタルフロス・歯間ブラシを使う」41.0%、「歯の治療は早めに受ける」33.3%となっている。

【20～64 歳】



６５歳以上では、「ていねいに歯をみがく」が 57.6%と最も多く、次に「歯の治療は早めに受ける」30.4%、「デンタルフロス・歯間ブラシを使う」23.4%となっている。

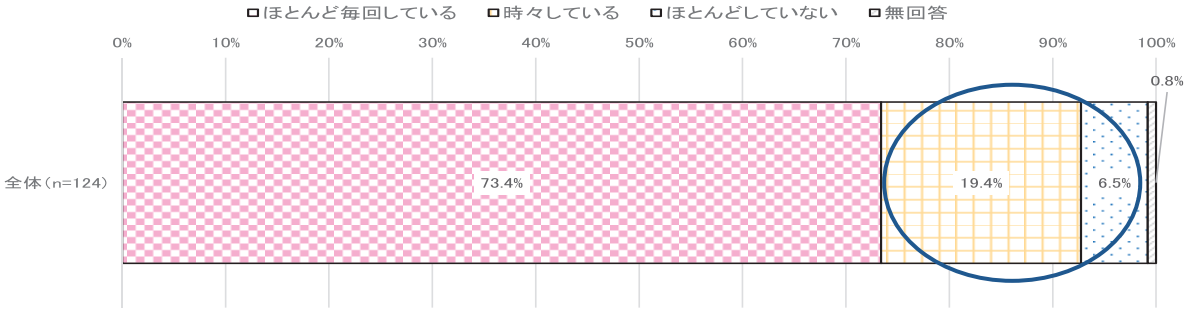
【65 歳以上】



③４～５歳児の家庭での仕上げみがきの状況について

「ほとんど毎回している」が 73.4%と最も多く、次に「時々している」19.4%、「ほとんどしていない」6.5%となっている。

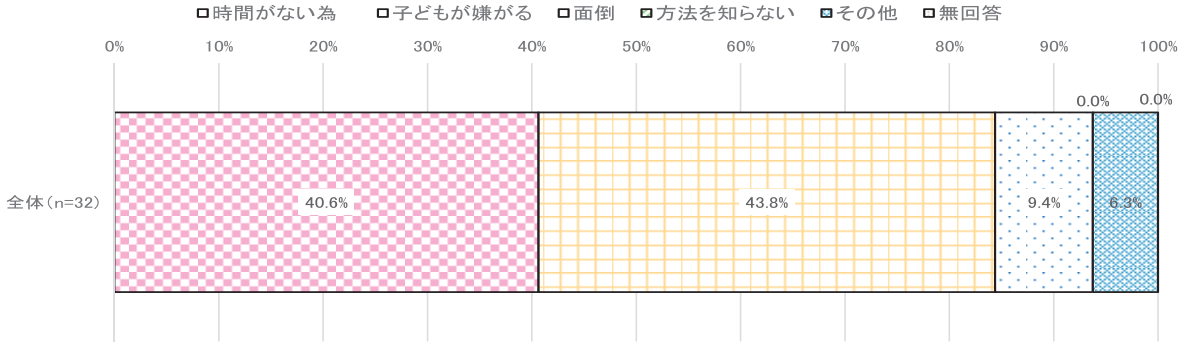
【４～５歳児】



④４～５歳児の家庭での仕上げみがきについて、「時々している」または「していない」主な理由

「子どもが嫌がる」が 43.8%と最も多く、次に「時間がない為」40.6%、「面倒」9.4%となっている。

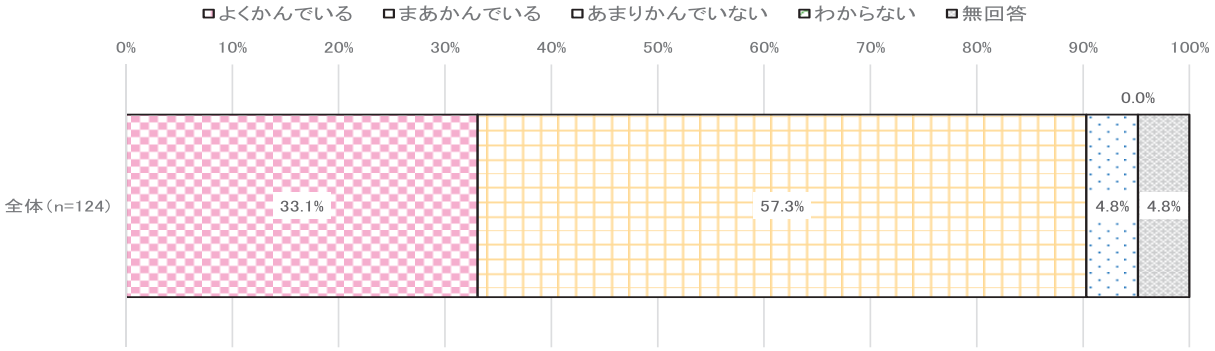
【４～５歳児】



⑤４～５歳児の子どもは食事をよくかんで食べているか

「まあかんでいる」が 57.3%と最も多く、次に「よくかんでいる」33.1%、「あまりかんでいない」4.8%となっている。

【４～５歳児】

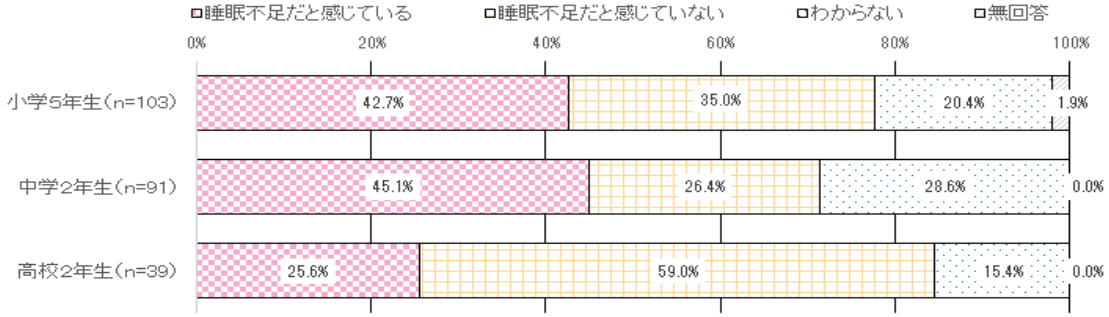


（４）休養・こころの健康

①睡眠不足だと感じているか【小・中・高校生】

小学５年生（42.7%）、中学２年生（45.1%）ともに「睡眠不足だと感じている」が最も多く、小学５年生は「睡眠不足だと感じていない」が 35.0%、中学２年生は「わからない」が 28.6%となっている。高校２年生は「睡眠不足だと感じていない」が 59.0%と最も多く、次に「睡眠不足だと感じている」が 25.6%となっている。

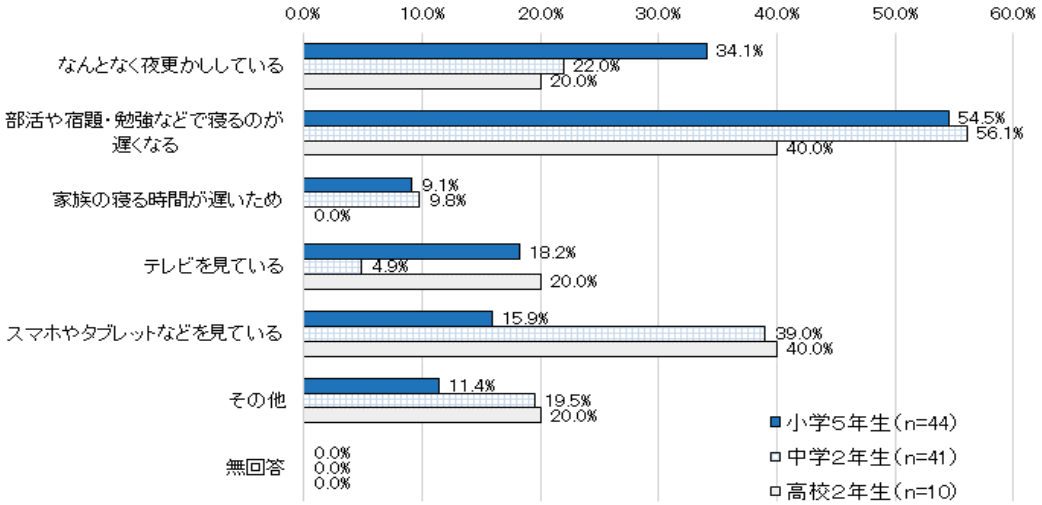
【小・中・高校生】



②睡眠不足だと感じている理由【小・中・高校生】

小学５年生（54.5%）、中学２年生（56.1%）ともに「部活や宿題・勉強などで寝るのが遅くなる」が最も多く、次に小学５年生は「なんとなく夜更かししている」が 34.1%、中学２年生は「スマホやタブレットなどを見ている」が 39.0%となっている。高校２年生は「部活や宿題・勉強などで寝るのが遅くなる」「スマホやタブレットなどを見ている」が 40.0%と最も多く、次に「なんとなく夜更かししている」「テレビを見ている」が 20.0%となっている。

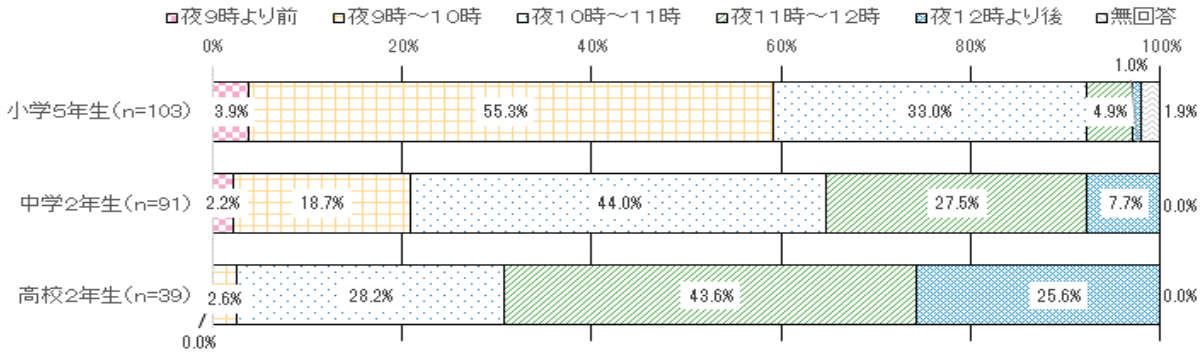
【小・中・高校生】



③平日（学校がある日）の夜は、何時ごろに寝ているか【小・中・高】

小学５年生は「夜９時～10 時」が 55.3%と最も多い。中学２年生は「夜 10 時～11 時」が 44.0%と最も多く、次に「夜 11 時～12 時」が 27.5%となっている。高校２年生は「夜 11 時～12 時」が 43.6%と最も多く、次に「夜 10 時～11 時」が 28.2%となっている。

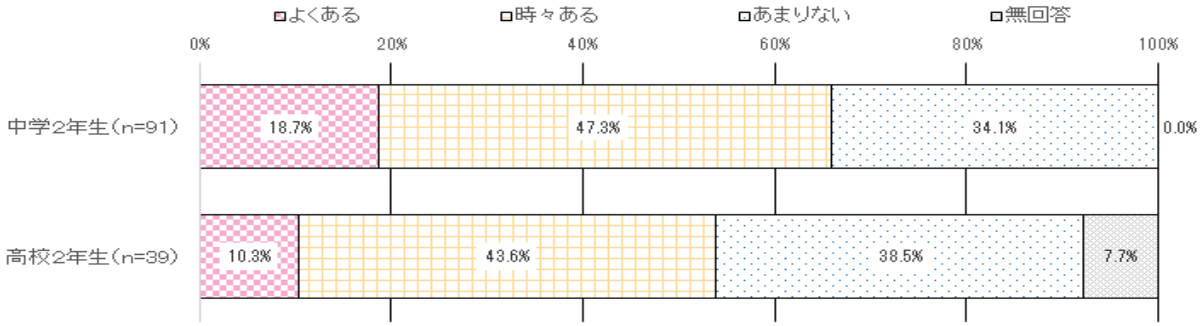
【小・中・高校生】



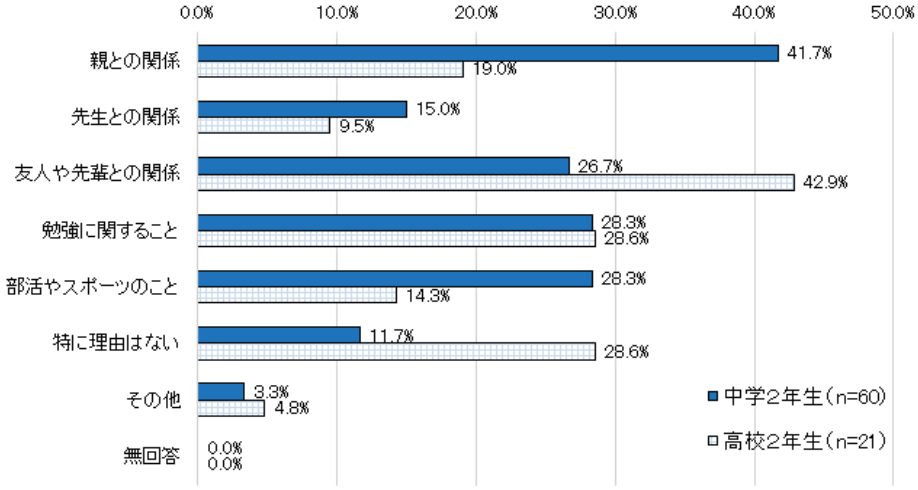
④日頃、イライラしたり、ストレスを感じることがあるか【小・中・高】

中学２年生（47.3%）、高校２年生（43.6%）ともに「時々ある」が最も多く、次に「あまりない」が中学２年生（34.1%）、高校２年生（38.5%）、「よくある」が中学２年生（18.7%）、高校２年生（10.3%）となっている。

【小・中・高校生】



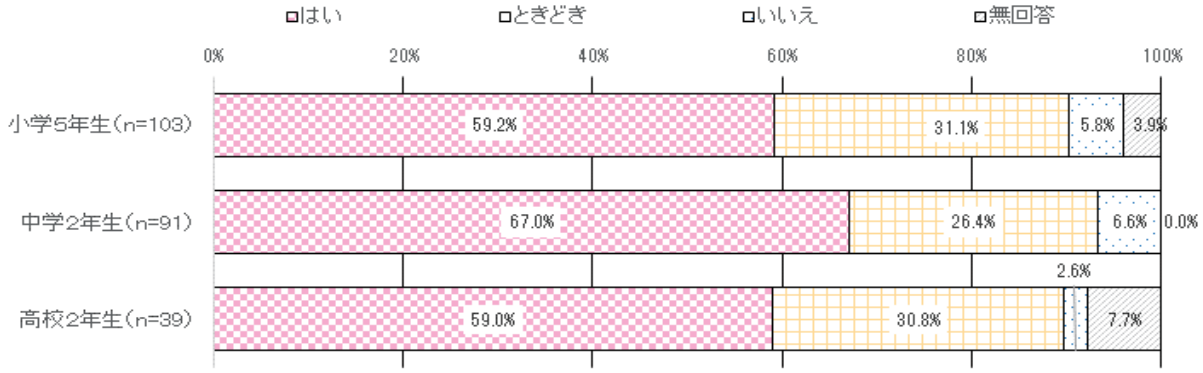
イライラやストレスの理由として、中学２年生は、「親との関係」が 41.7%と最も多く、次に「勉強に関すること」「部活やスポーツのこと」28.3%、「友人や先輩との関係」26.7%となっている。高校２年生は「友人や先輩との関係」が 42.9%と最も多く、次に「勉強すること」「特に理由はない」28.6%、「親との関係」19.0%となっている。



⑤学校が楽しいと思うか【小・中・高校生】

小学５年生（59.2%）、中学２年生（67.0%）、高校２年生（59.0%）ともに「はい」が最も多く、次に「ときどき」が小学５年生（31.1%）、中学２年生（26.4%）、高校２年生（30.8%）、「いいえ」が小学５年生（5.8%）、中学２年生（6.6%）、高校２年生（2.6%）となっている。

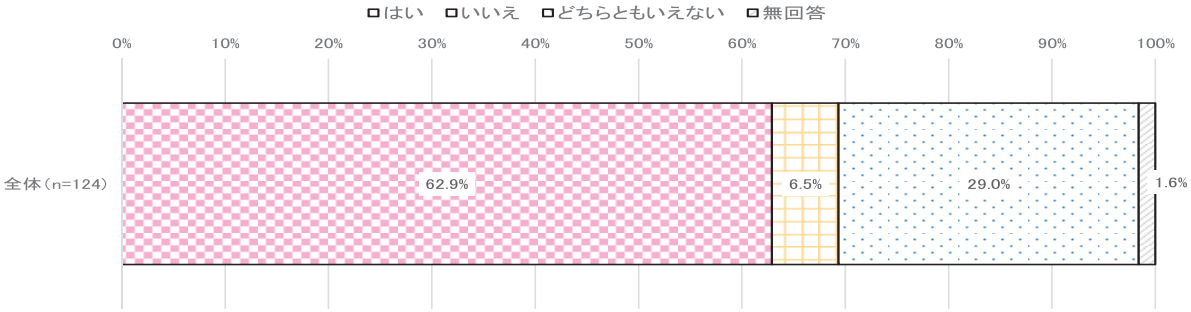
【小・中・高校生】



⑥（４～５歳児の保護者は）ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるか

「はい」が 62.9%と最も多く、次に「どちらともいえない」29.0%、「いいえ」6.5%となっている。

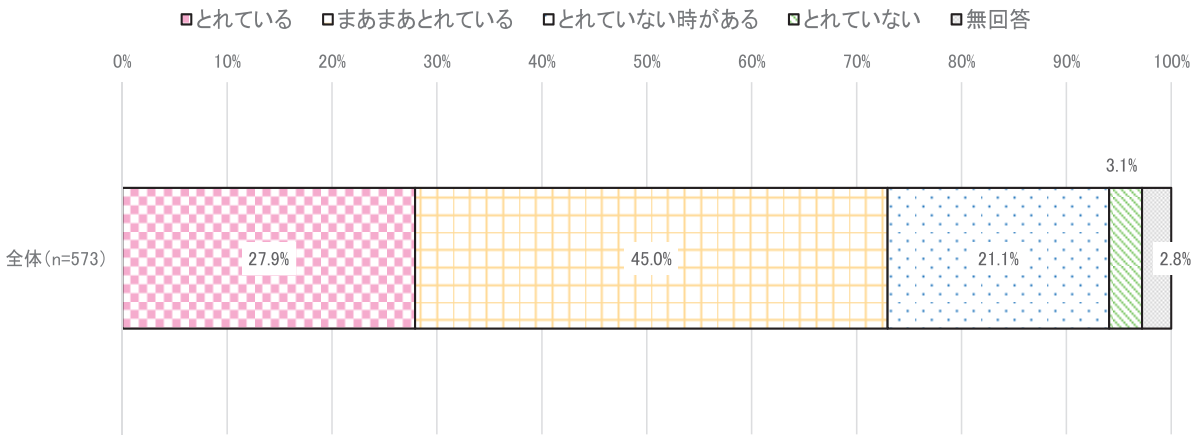
【4～5 歳児の保護者】



⑦睡眠が十分にとれているか

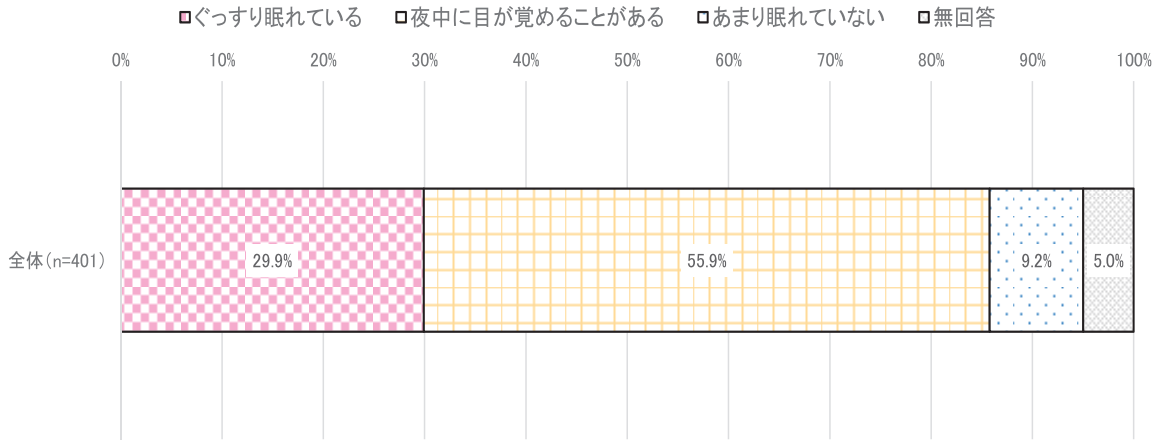
20～64 歳は、「まあまあとれている」が 45.0%と最も多く、次に「とれている」27.9%、「とれていない時がある」21.1%、「とれていない」3.1%となっている。

【20～64 歳】



65 歳以上は、「夜中に目が覚めることがある」が 55.9%と最も多く、次に「ぐっすり眠れている」29.9%、「あまり眠れていない」9.2%となっている。

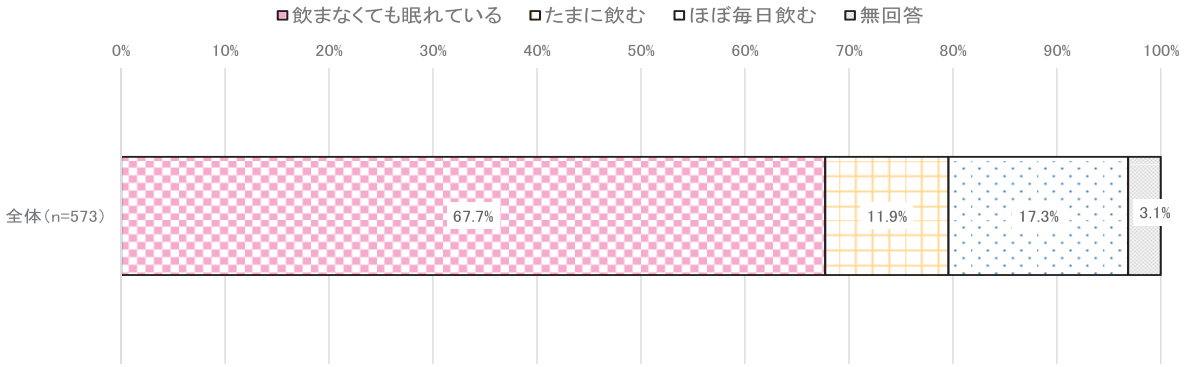
【65 歳以上】



⑧眠る時、睡眠剤やアルコールなどが必要か

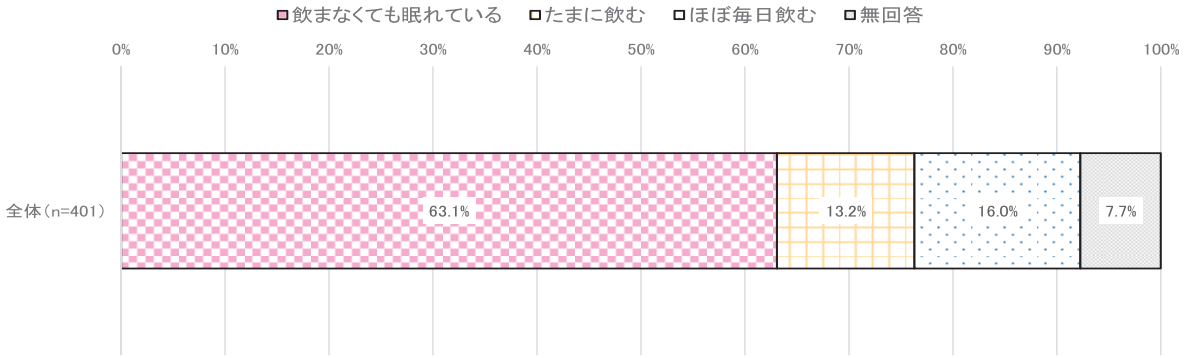
20～64 歳は、「飲まなくても眠れている」が 67.7%と最も多く、次に「ほぼ毎日飲む」17.3%、「たまに飲む」11.9%となっている。

【20～64 歳】



65 歳以上は、「飲まなくても眠れている」が 63.1%と最も多く、次に「ほぼ毎日飲む」16.0%、「たまに飲む」13.2%となっている。

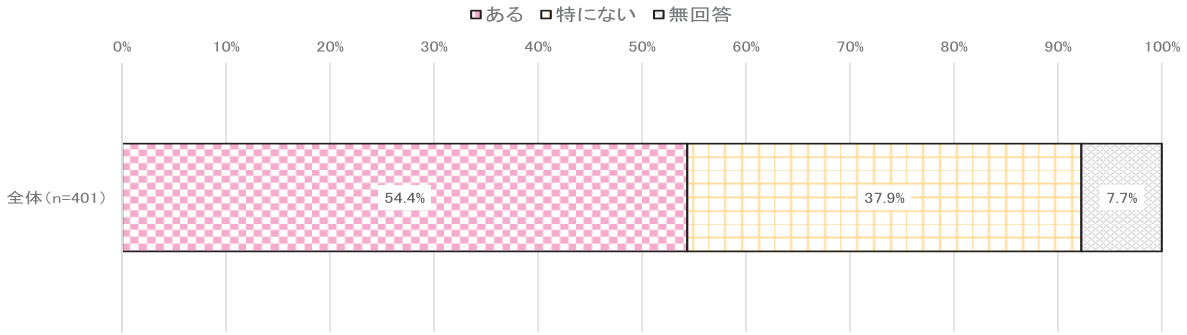
【65 歳以上】



⑨趣味、楽しみや好きでやっていることがあるか

65 歳以上は、「ある」が 54.4%と最も多く、次に「特にない」37.9%となっている。

【65 歳以上】

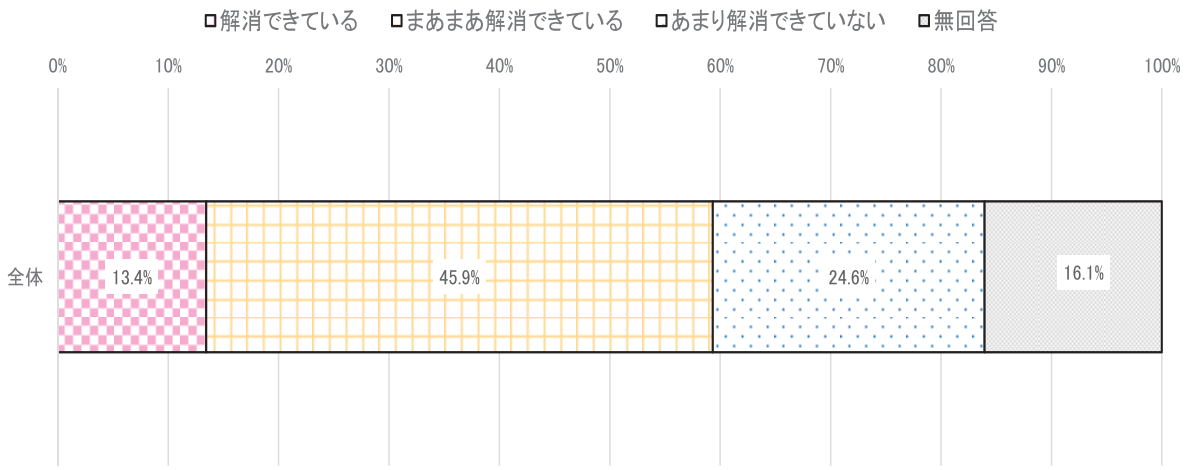


⑩ストレスを解消できているか

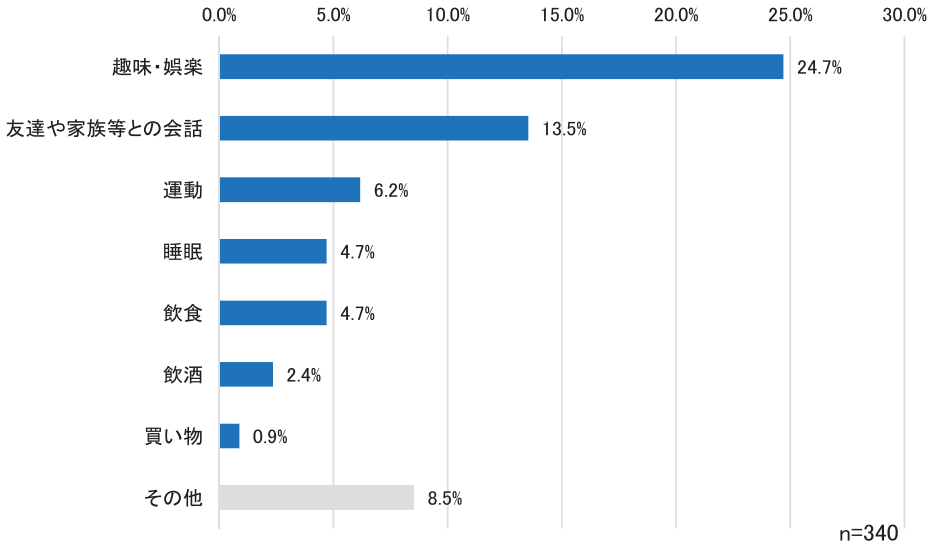
20～64 歳は、「まあまあ解消できている」が 45.9%と最も多く、次に「あまり解消できていない」24.6%、「解消できている」13.4%となっている。

また、解消方法として「趣味・娯楽」が 24.7%と最も多く、次に「友達や家族等との会話」13.5%、「運動」6.2%、「睡眠」「飲食」4.7%、「飲酒」2.4%、「買い物」0.9%となっている。

【20～64 歳】



【ストレス解消法】

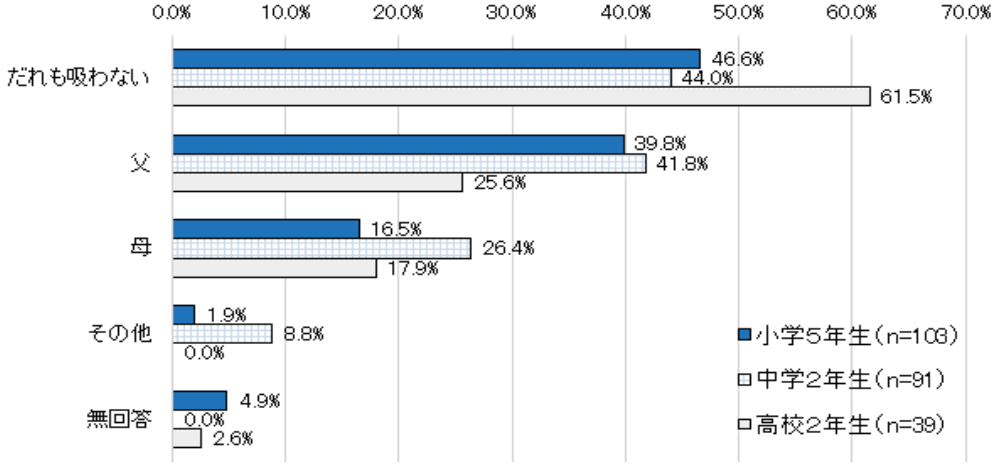


（5）たばこ

①一緒に住んでいる家族で、たばこを吸う人はいますか

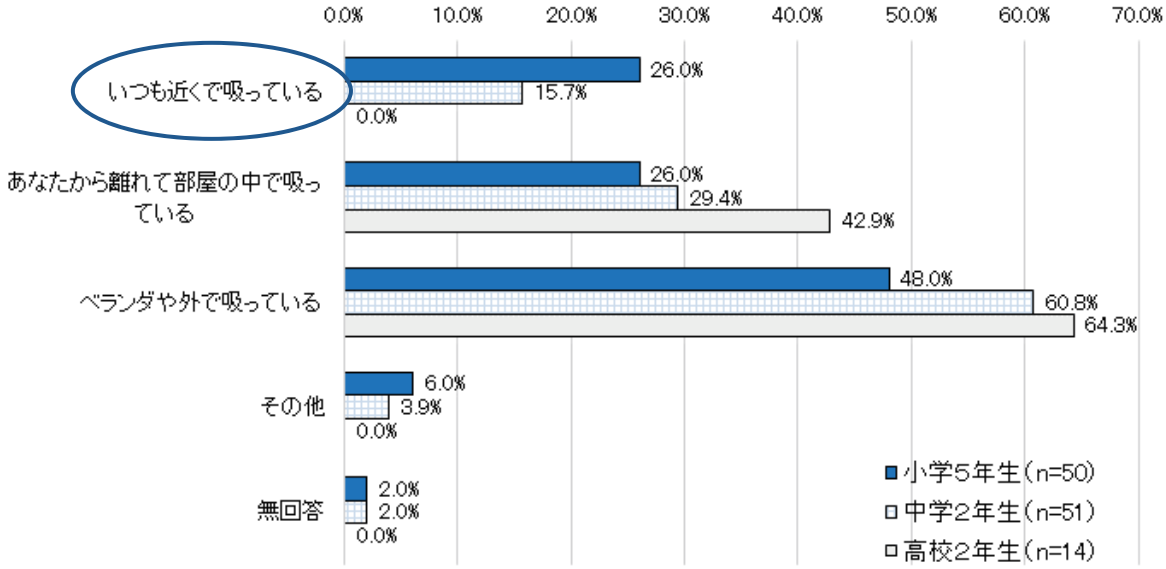
小学５年生（46.6%）、中学２年生（44.0%）、高校２年生（61.5%）ともに「だれも吸わない」が最も多く、次に「父」が小学５年生（39.8%）、中学２年生（41.8%）、高校２年生（25.6%）となっている。

【小・中・高校生】



②たばこを吸う人はあなたの近くで吸うことがありますか（家族でたばこを吸う人がいると回答した方のみ回答）

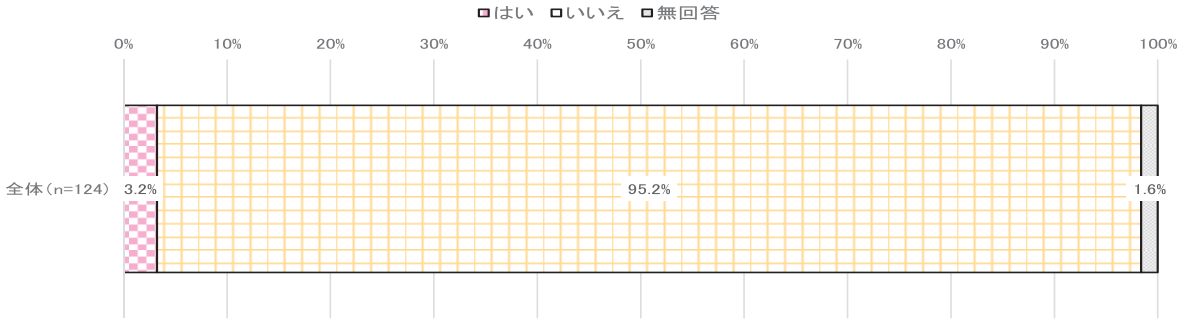
小学５年生（48.0%）、中学２年生（60.8%）、高校２年生（64.3%）ともに「ベランダや外で吸っている」が最も多く、次に「あなたから離れて部屋の中で吸っている」が小学５年生（26.0%）、中学２年生（29.4%）、高校２年生（42.9%）となっている。



③お子さんのお母さんは妊娠中、喫煙していましたか

「いいえ」が 95.2%と最も多く、「はい」が 3.2%となっている。

【4～5 歳児の保護者】

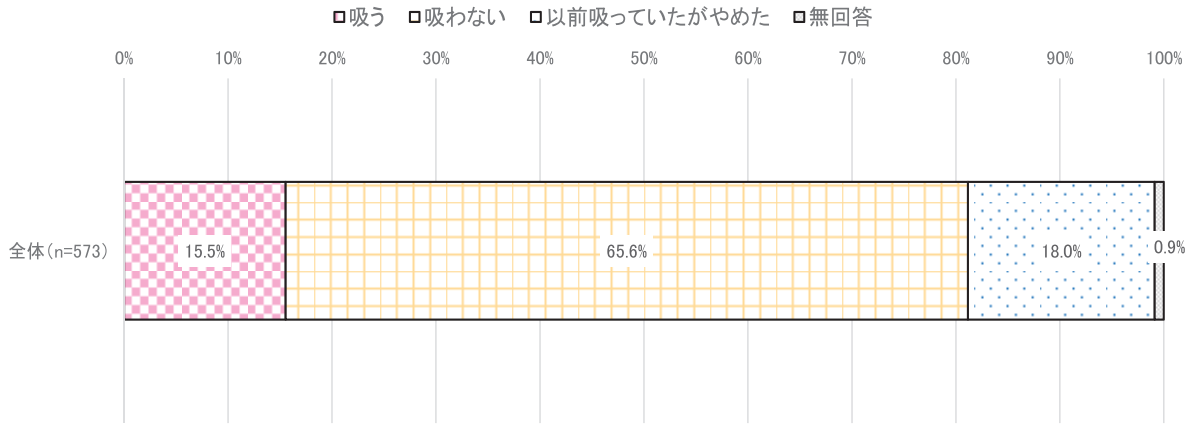


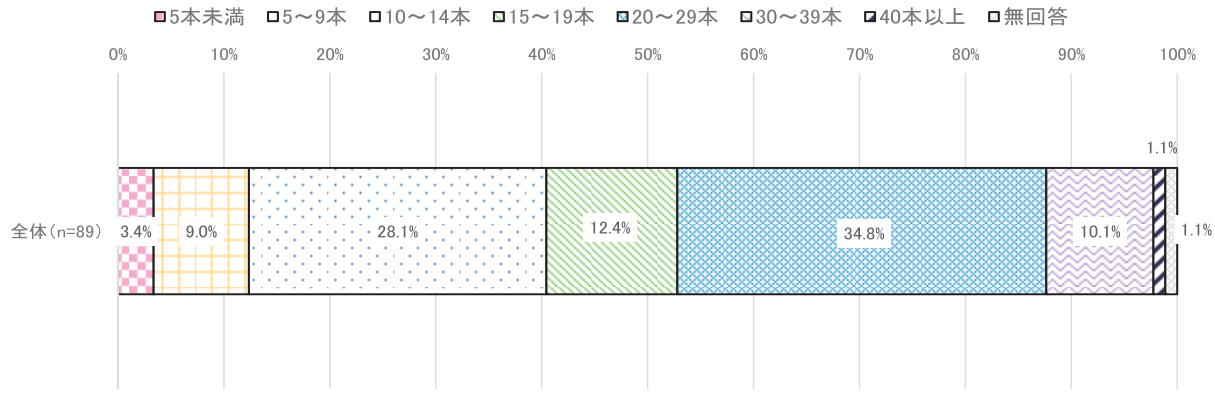
④　たばこを吸いますか

20～64 歳は、「吸わない」が 65.6%と最も多く、次に「以前吸っていたがやめた」18.0%、「吸う」15.5%となっている。

また、「吸う」と回答したかたのうち 1 日に「20～29 本」が 34.8%と最も多く、次に「10～14 本」28.1%、「15～19 本」12.4%、「40 本以上」10.1%、「5～9 本」9.0%、「5 本未満」3.4%となっている。

【20～64 歳】

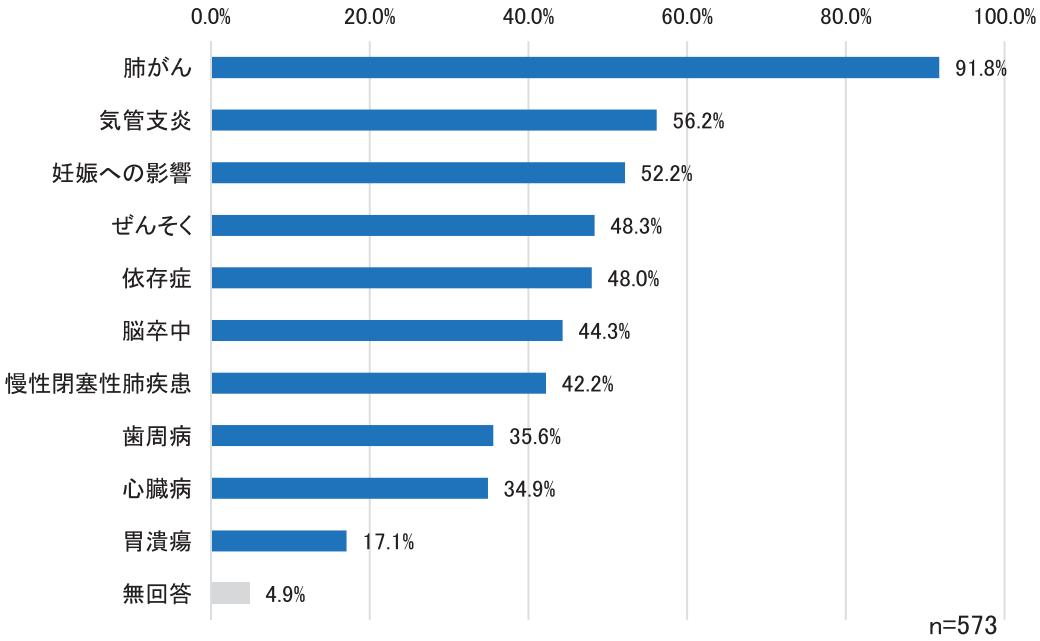




⑤たばこによって、おこりやすくなる病気はどれだと思いますか

20～64 歳は、「肺がん」が 91.8%と最も多く、次に「気管支炎」56.2%、「妊婦への影響」52.2%、「ぜんそく」48.3%となっている。

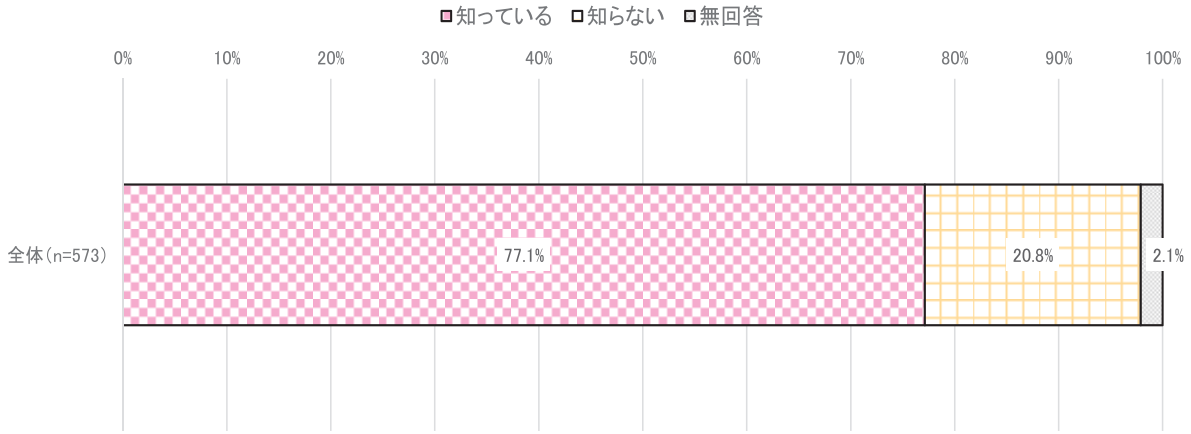
【20～64 歳】



⑥禁煙補助剤、ニコチンパッチやニコチンガムを知っていますか

20～64 歳は、「知っている」が 77.1％と最も多く、次に「知らない」20.8％となっている。

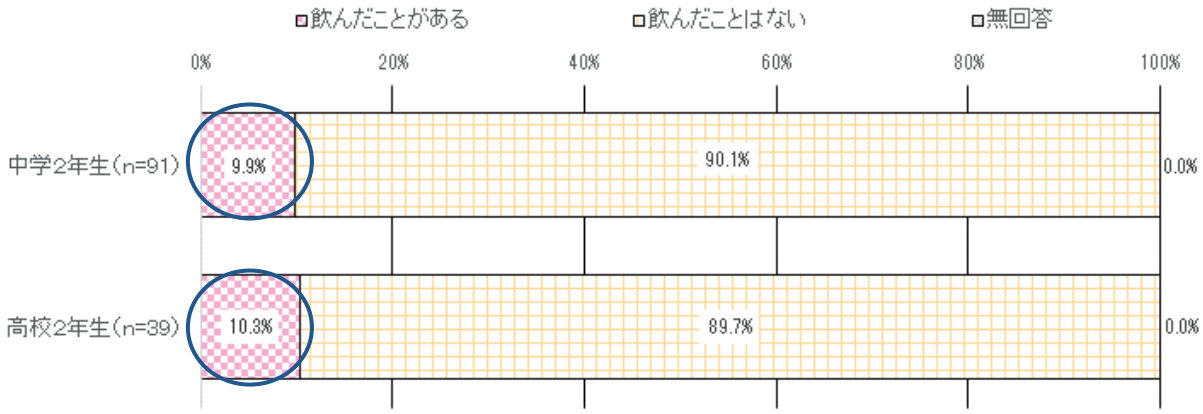
【20～64 歳】



（６）アルコール

①お酒を飲んだことがありますか

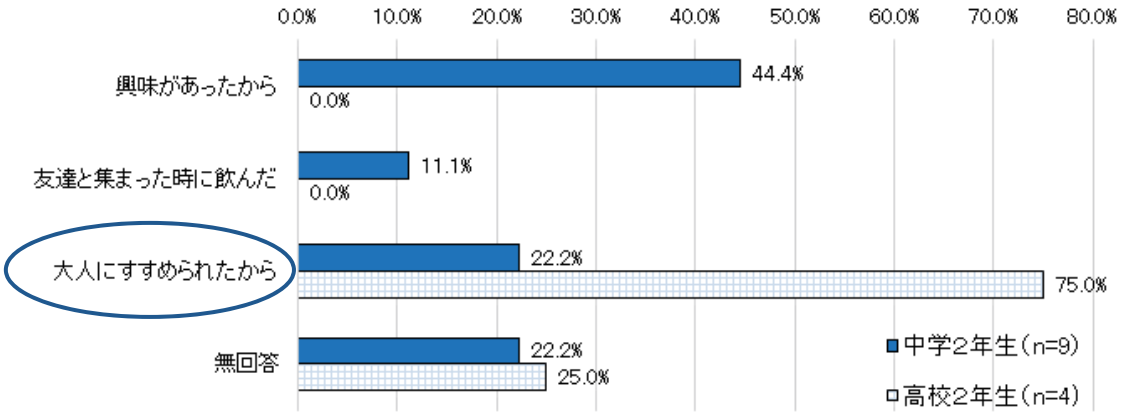
中学２年生（90.1%）、高校２年生（89.7%）ともに「飲んだことはない」が最も多く、次に「飲んだことがある」が中学２年生（9.9%）、高校２年生（10.3%）となっている。



飲んだことがあると回答した方 13 人の飲んだきっかけについて

②お酒を飲んだきっかけは何ですか（「飲んだことがある」を回答した方への質問）

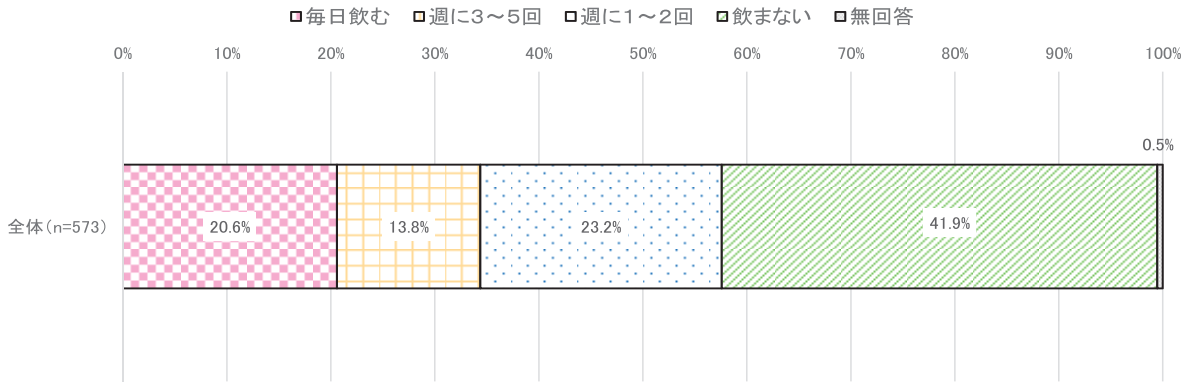
中学２年生は「興味があったから」が 44.4%と最も多く、次に「大人にすすめられたから」が 22.2%、高校２年生は「大人にすすめられたから」が 75.0%と最も多くなっている。



③あなたは、お酒を飲みますか

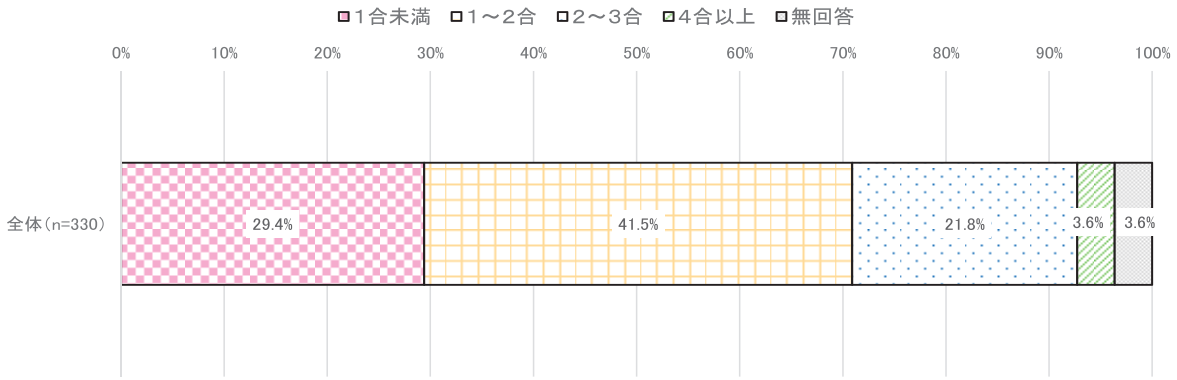
20～64 歳は、「飲まない」が 41.9%と最も多く、次に「週に１～２回」23.2%、「毎日飲む」20.6%、「週に３～５回」13.8%となっている。

【20～64 歳】



20～64 歳の飲酒量は、「１～２合」が 41.5%と最も多く、次に「１合未満」29.4%、「２～３合」21.8%、「４合以上」3.6%となっている。

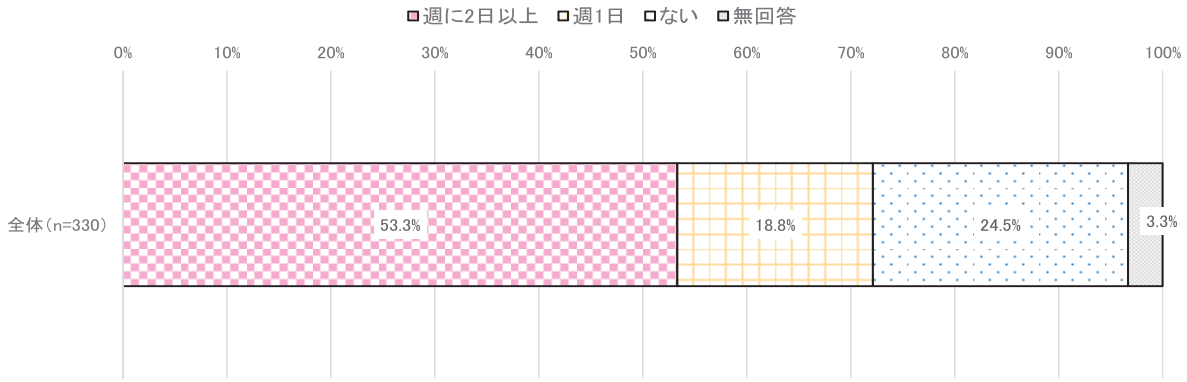
【20～64 歳】



⑤休肝日（お酒をまったく飲まない日）は週に何日ありますか（「毎日飲む」「週に３～５回」「週に１～２回」を回答した方への質問）

20～64 歳は、「週に２日以上」が 53.3%と最も多く、次に「ない」24.5%、「週１日」18.8%となっている。

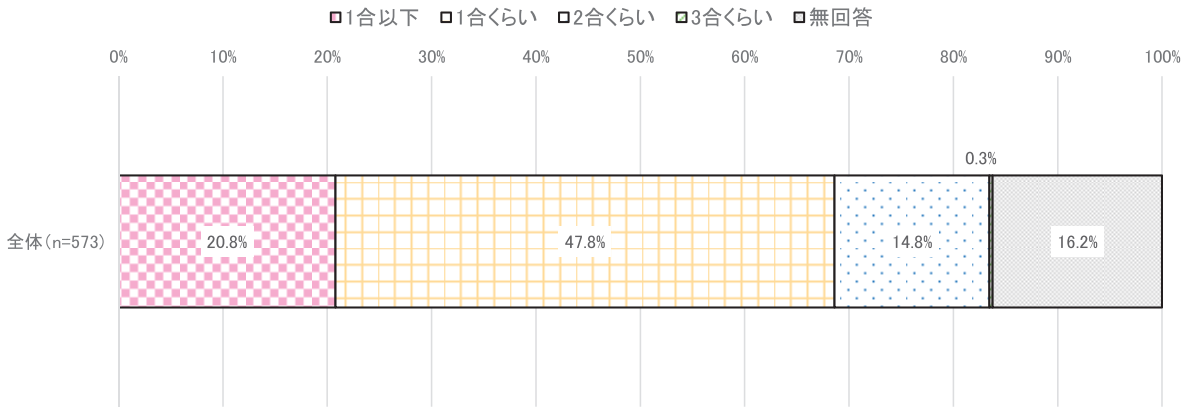
【20～64 歳】



⑥成人における飲酒の１日の適量は、日本酒に換算してどのくらいだと思いますか

20～64 歳は、「１合くらい」が 47.8%と最も多く、次に「１合以下」20.8%、「２合くらい」14.8%、「３合くらい」0.3%となっている。

【20～64 歳】



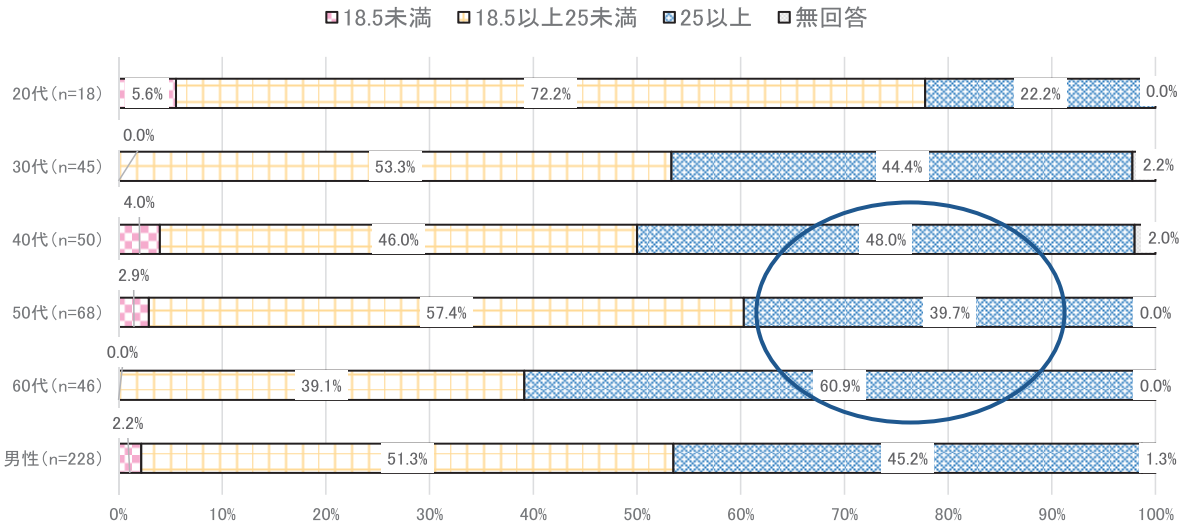
（7）栄養・食生活

① BMI・適正体重について

20～64 歳では、男性（51.3%）、女性（64.8%）ともに「18.5 以上 25 未満」が最も多く、次に「25 以上」が男性（45.2%）、女性（22.1%）、「18.5 未満」が男性（2.2%）、女性（10.7%）となっている。

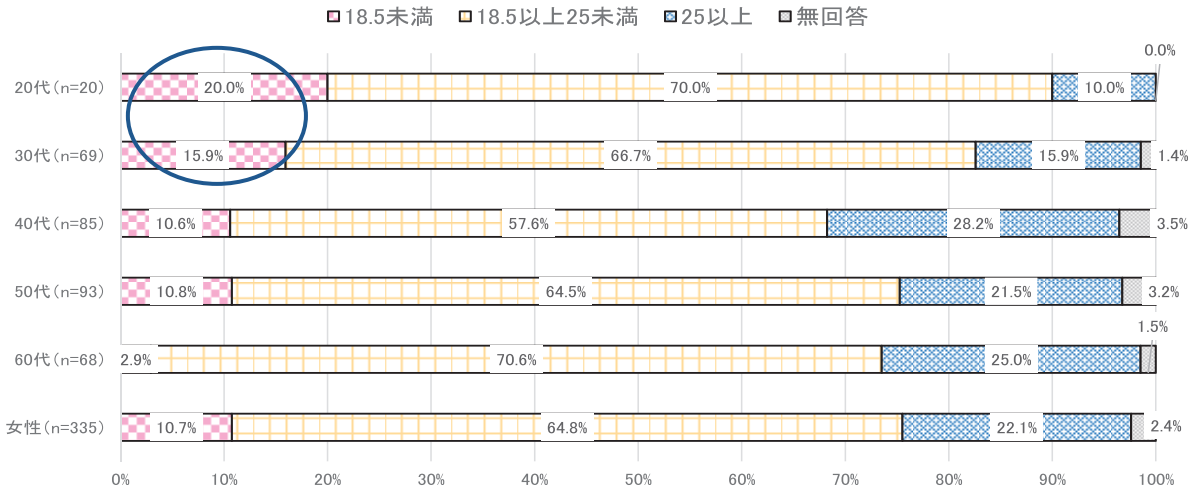
BMI 値が 18.5 未満（低体重）をみると、特に女性の 20 代が 20%と高く、30 代が 15.9%となっている。また、男女ともに、40 代から BMI２５以上（肥満）の割合が増加している。

【男性 20～64 歳】



男性の肥満は 40 代以降に増加している

【女性 20～64 歳】

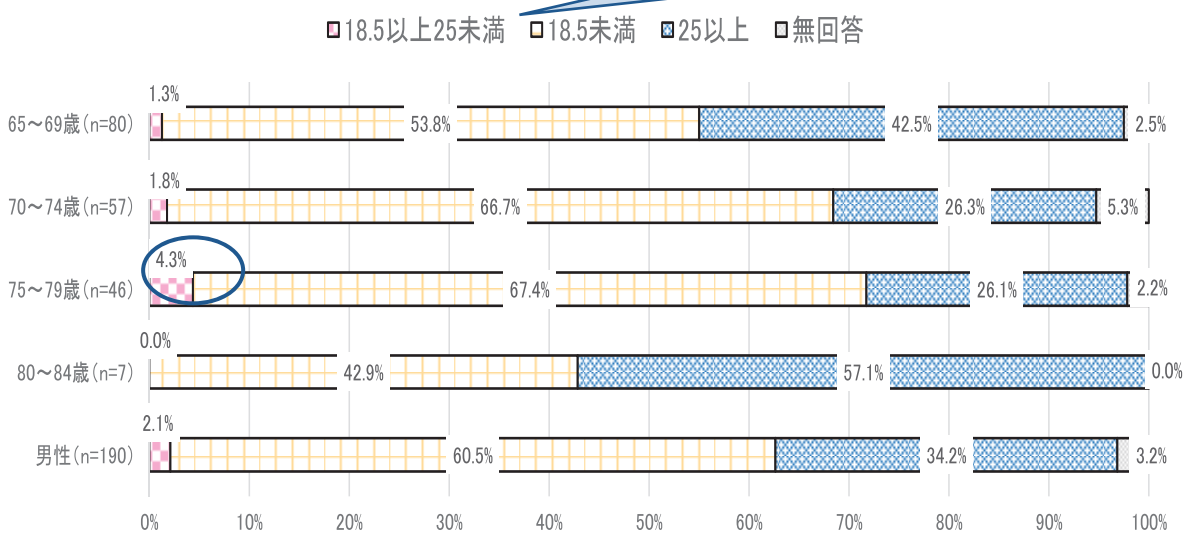


女性の低栄養は 20 代が多い

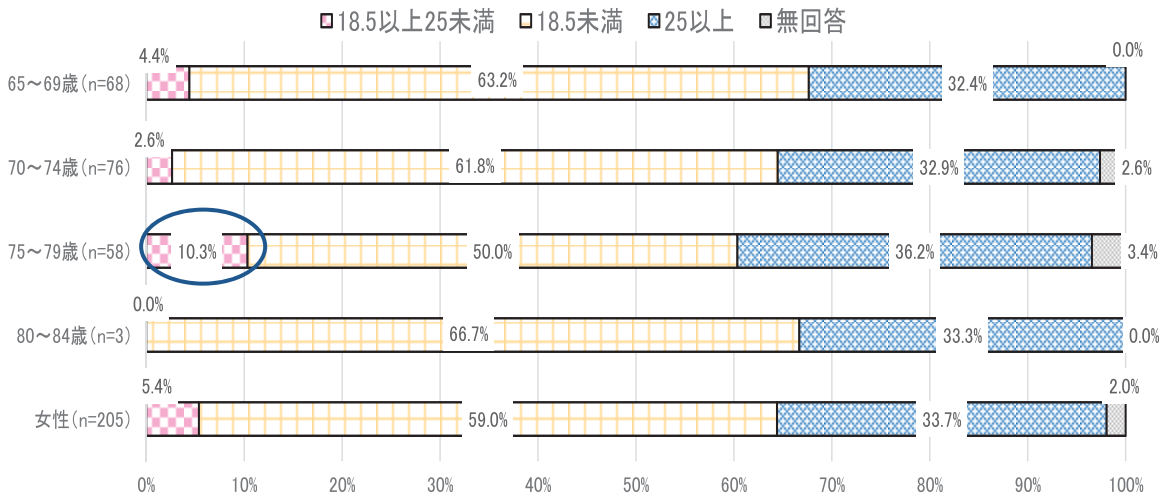
65 歳以上では、男性（60.5%）、女性（59.0%）ともに「18.5 以上 25 未満」が最も多く、次に「25 以上」が男性（34.2%）、女性（33.7%）、「18.5 以上 25 未満」が男性（2.1%）、女性（5.4%）となっている。

凡例の分類が違っているため修正中

【男性 65 歳以上】



【女性 65 歳以上】

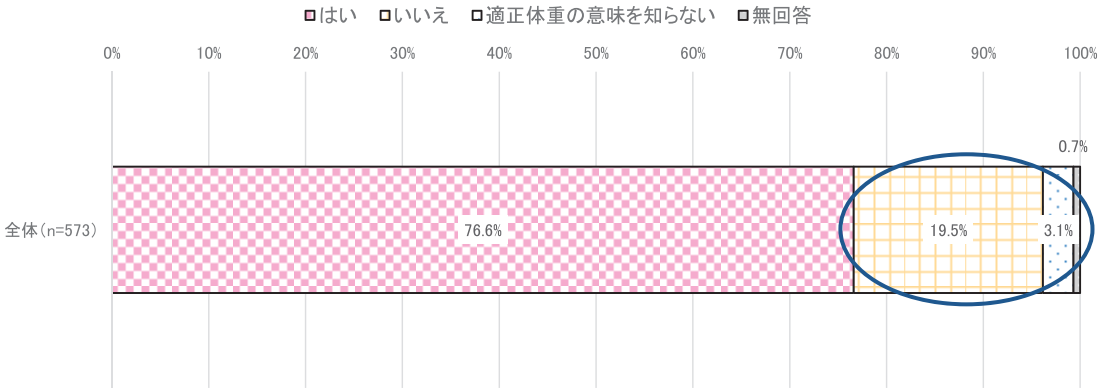


低栄養の割合は、男女共に 75～79 歳において、男性 4.3%、女性 10%となっている。

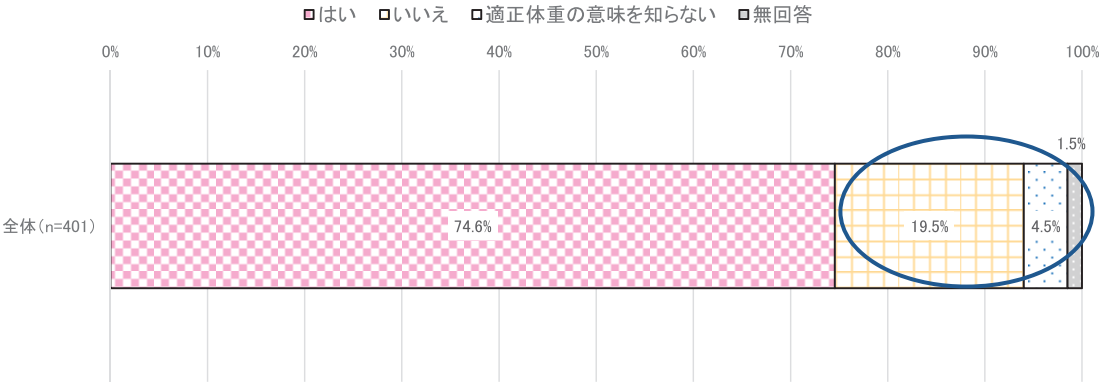
② 適正体重を知っているか

「はい」が 20～64 歳と 65 歳以上ともに 70%台と最も多く、次に「いいえ」19%、「適正体重の意味を知らない」3～4%となっている。

【20～64 歳】



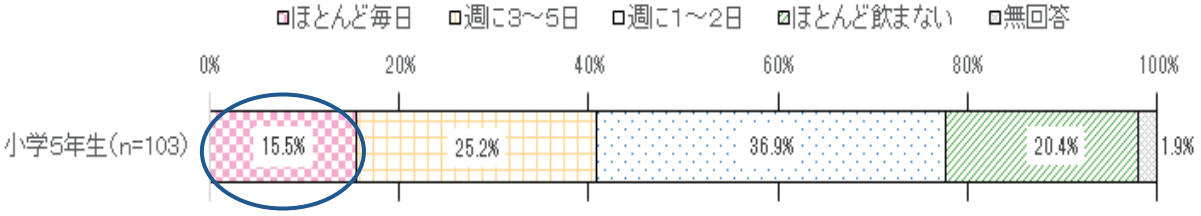
【65 歳以上】



２０～64 歳と 65 歳以上において約２割～３割が適正体重を知らない

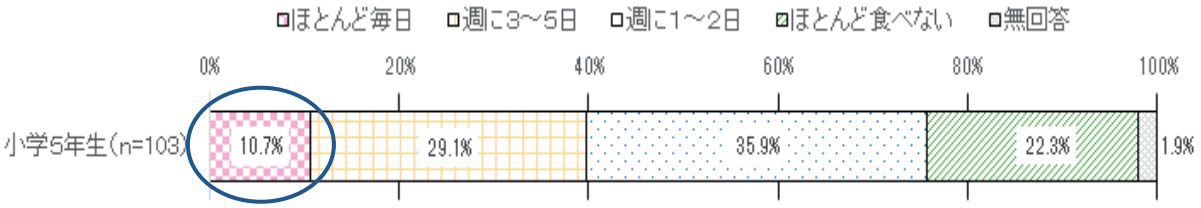
③　ジュース類（スポーツドリンク、炭酸飲料など）を週にどのくらい飲んでいますか
※小学５年生のみの設問

「週に１～２日」が 36.9%で最も多く、「週に３～５日」が 25.2%、「ほとんど飲まない」が 20.4%、「ほとんど毎日」が 15.5%となっている。



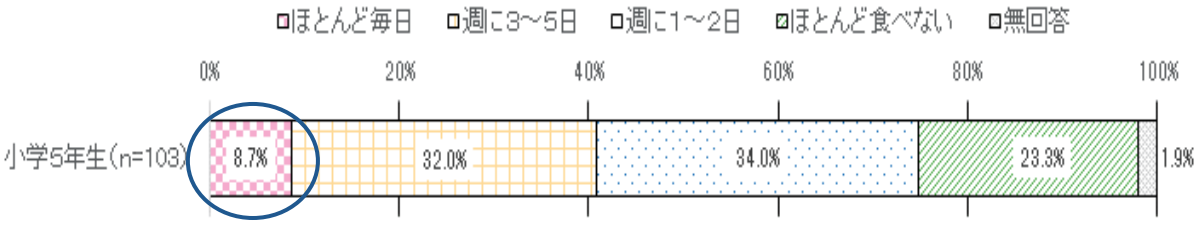
④　スナック菓子（ポテトチップスなど）を週にどのくらい食べていますか
※小学５年生のみの設問

「週に１～２日」が 35.9%で最も多く、「週に３～５日」が 29.1%、「ほとんど食べない」が 22.3%、「ほとんど毎日」が 10.7%となっている。



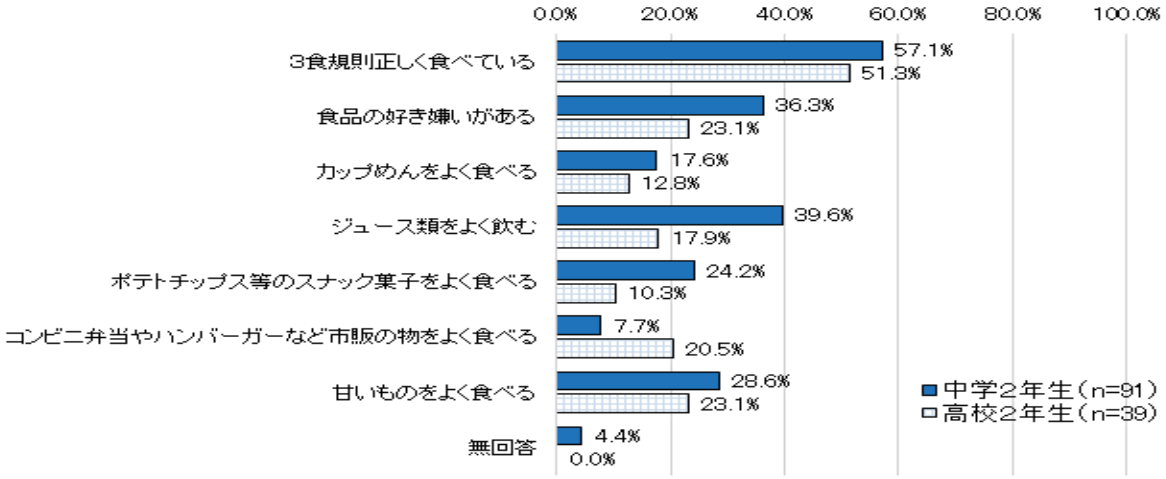
⑤　チョコレートやアメなど、甘いお菓子類を週にどのくらい食べていますか
※小学５年生のみの設問

「週に１～２日」が 34.0%で最も多く、「週に３～５日」が 32.0%、「ほとんど食べない」が 23.3%、「ほとんど毎日」が 8.7%となっている。

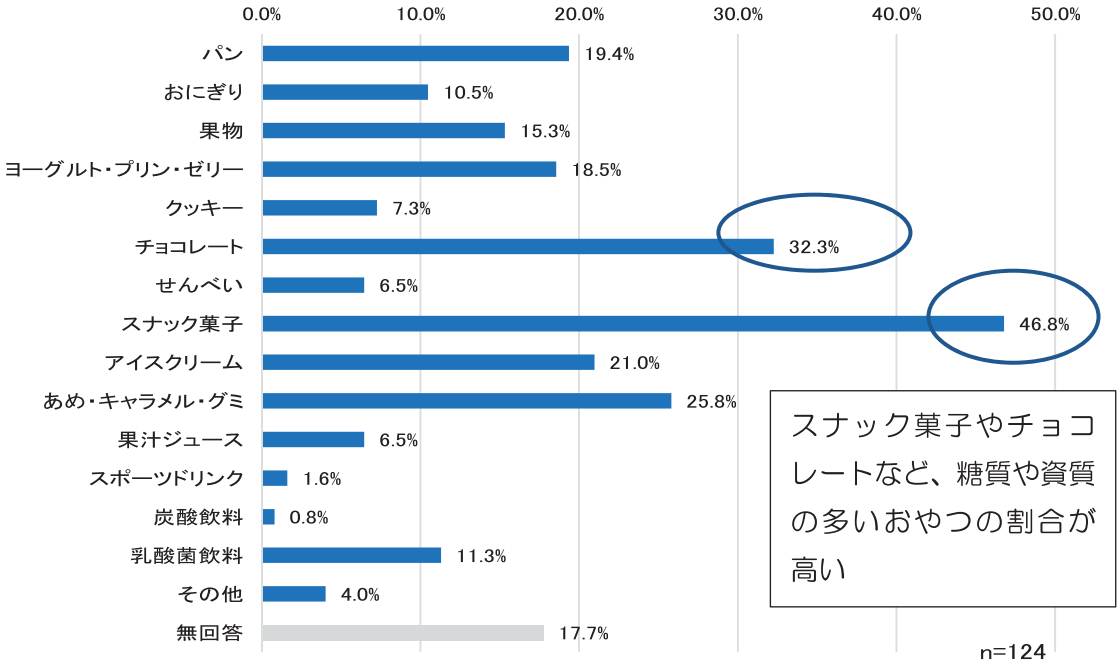


１割が甘いお菓子や飲み物をほとんど毎日摂っている

⑥ふだんの食生活について、あてはまるものを教えてください
※中学２年生、高校２年生のみの設問
　中学２年生（57.1%）、高校２年生（51.3%）ともに「３食規則正しく食べている」が最も多くなっている。
中学２年生では「ジュース類をよく飲む」が 39.6%、「食品の好き嫌いがある」が 36.3%、「甘いものをよく食べる」が 28.6%となっている。
高校２年生では「食品の好き嫌いがある」「甘いものをよく食べる」が 23.1%、「コンビニ弁当やハンバーガーなど市販の物をよく食べる」が 20.5%となっている。



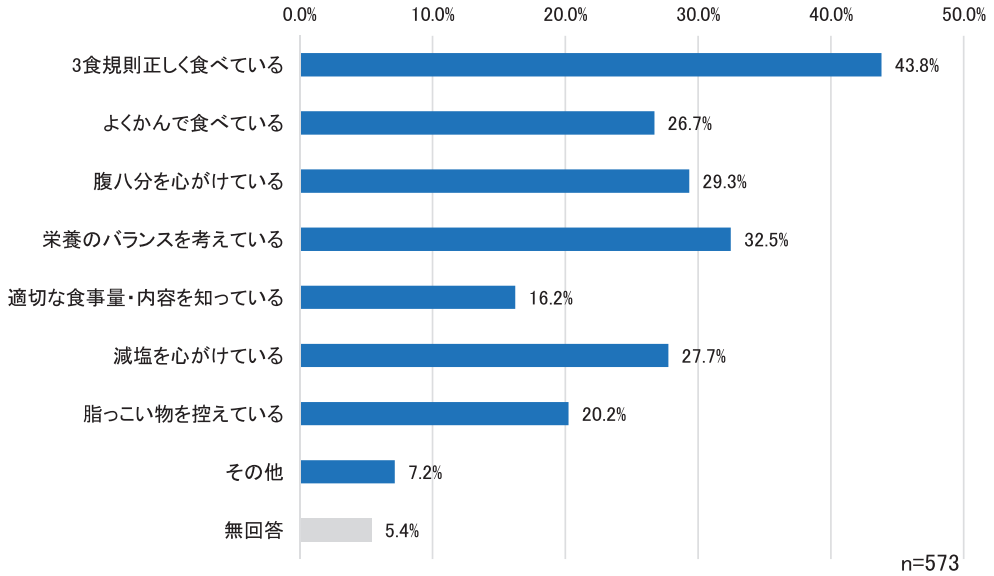
⑦（４～５歳児の）子どもが間食でよく食べる又は飲み物は何ですか
　「スナック菓子」が 46.8%と最も多く、次に「チョコレート」32.3%、「あめ・キャラメル・グミ」25.8%、「アイスクリーム」21.0%となっている。



⑧食生活で、心がけていることなどについて教えてください

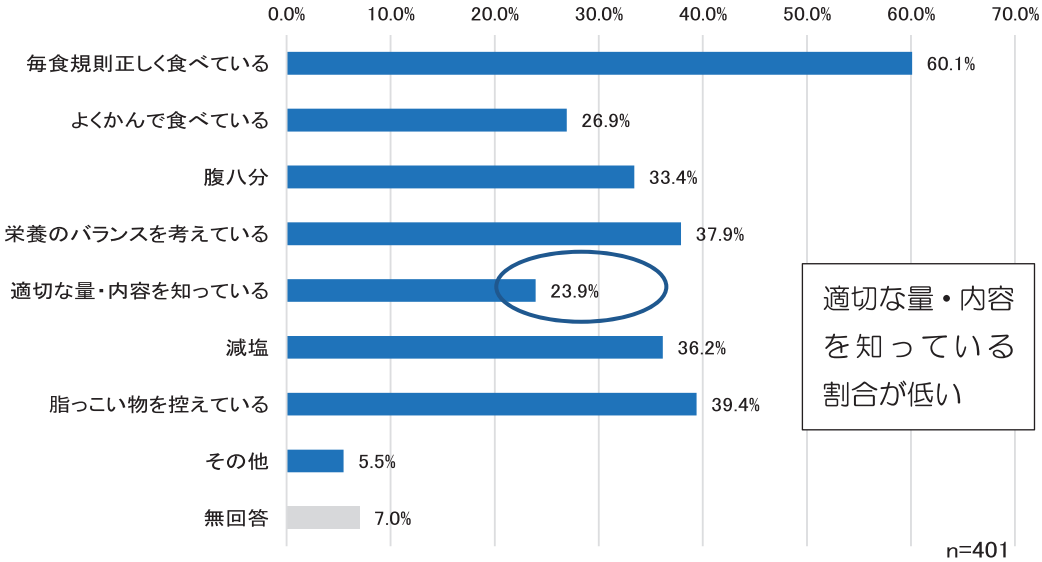
20～64 歳は、「３食規則正しく食べている」が 43.8%と最も多く、次に「栄養のバランスを考えている」32.5%、「腹八分を心がけている」29.3%、「減塩を心がけている」27.7%、「よくかんで食べている」26.7%、「脂っこい物を控えている」20.2%、「適切な食事量・内容を知っている」16.2%となっている。

【20～64 歳】



65 歳以上は、「毎日規則正しく食べている」が 60.1%と最も多く、次に「脂っこい物を控えている」39.4%、「栄養のバランスを考えている」37.9%、「減塩」36.2%、「腹八分」33.4%、「よくかんで食べている」26.9%、「適切な食事量・内容を知っている」23.9%となっている。

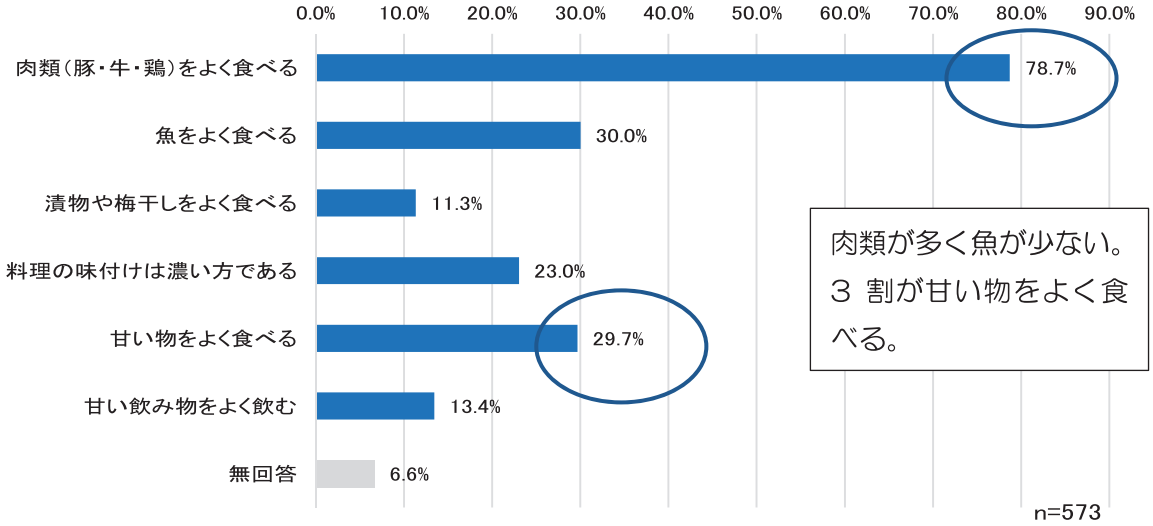
【65 歳以上】



⑨普段の食事の内容について教えてください

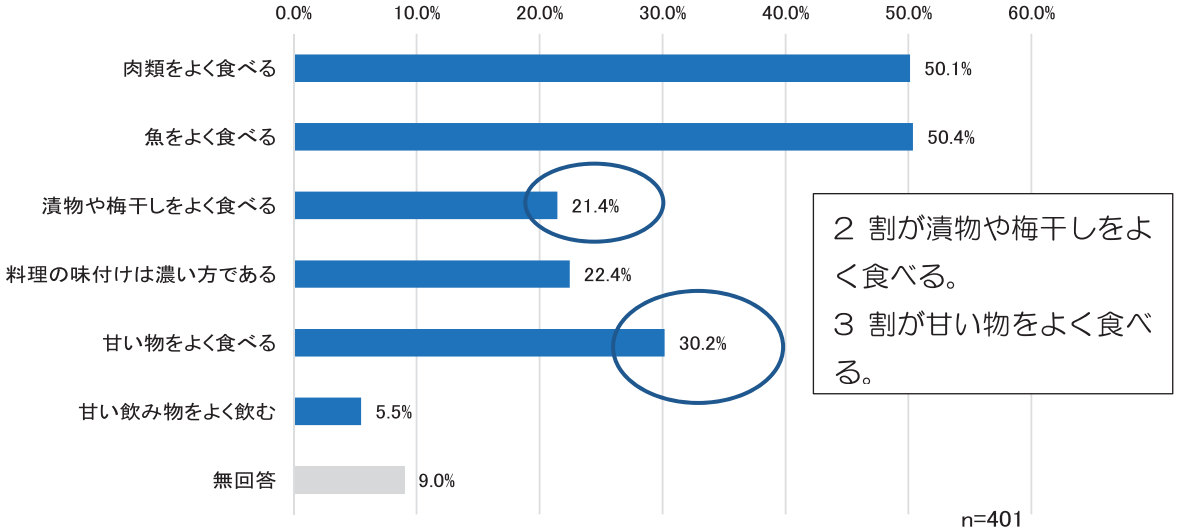
20～64 歳は、「肉類（豚・牛・鶏）をよく食べる」が 78.7%と最も多く、次に「魚をよく食べる」30.0%、「甘い物をよく食べる」29.7%、「料理の味付けは濃い方である」23.0%、「漬物や梅干しをよく食べる」11.3%、「甘い飲み物をよく飲む」13.4%となっている。

【20～64 歳】



65 歳以上は、「魚をよく食べる」が 50.4%と最も多く、次に「肉類をよく食べる」50.1%、「甘い物をよく食べる」30.2%、「料理の味付けは濃い方である」22.4%、「漬物や梅干しをよく食べる」21.4%、「甘い飲み物をよく飲む」5.5%となっている。

【65 歳以上】



アンケート用紙【小学５年生】

徳之島町　健康づくりアンケート調査　【小学生用】

～アンケート調査ご協力のお願い～

この調査は、徳之島町にお住いの、小学校５年生・中学校２年生のみなさんを対象に、健康について考えていることや、生活の中で取り組んでいることなどについてお聞きするものです。そこで、みなさんの声をもとに、健康なまちづくり事業を検討し「徳之島町健康増進計画」「徳之島町食育推進計画」などの計画の基礎資料とさせていただきます。

アンケートには、思ったことをありのままお答えいただき、答えられないところは答えなくてもかまいません。調査結果はすべてデータ処理されますので、個人が特定されるようなことはありません。また、他の目的でデータを使うことはありません。

以上のことをご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

令和４年９月

徳之島町長　高岡　秀規

～ご記入にあたってのお願い～

1．質問には小・中学生ご本人が記入して下さい。もしくは、代理の方が話を聞いて、一緒に記入して下さい。
2．回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」の場合は、番号を○で囲み、（　　）内になるべく具体的にご記入ください。
3．ご記入後は、封筒に入れて学校へ提出してください。封筒には調査票のみ入れてください。

【お問い合わせ先・計画に関する担当課】
徳之島町健康増進計画・徳之島町保健センター　TEL８３－３１２１
徳之島町食育推進計画・徳之島町役場農林水産課　TEL８２－１１１１（代表）

問１．あなたは、朝食を食べて学校に行きますか。（○は１つ）

1．ほとんど毎日食べる　2．週４～５日食べる
3．週２～３日食べる　4．ほとんど食べない

【問１で、２・３・４に○をした人にお聞きします】

問１－２．朝食を食べない時があるのは、なぜですか。（○は１つ）

1．食べる時間がないから　2．朝は食欲がないから
3．朝食が用意されていないから　4．その他（　　）

問２．朝食はいつも何を食べていますか。（○は１つ）

1．パン　2．パンとおかず　3．ご飯　4．ご飯とおかず
5．その他（　　）

問３．ジュース類（スポーツドリンク、炭酸飲料など）を週にどのくらい飲んでいますか。（○は１つ）

1．ほとんど毎日　2．週に３～５日　3．週に１～２日　4．ほとんど飲まない

問４．スナック菓子（ポテトチップスなど）を週にどのくらい食べていますか。（○は１つ）

1．ほとんど毎日　2．週に３～５日　3．週に１～２日　4．ほとんど食べない

問５．チョコレートやアメなど、甘いお菓子類を週にどのくらい食べていますか。（○は１つ）

1．ほとんど毎日　2．週に３～５日　3．週に１～２日　4．ほとんど食べない

問６．夕食は家族と一緒に食べますか。（○は１つ）

1．家族と一緒に食べる　2．家族がそろわないため一人で食べることが多い

【問６で、２に○をした人にお聞きします】

問６－２．家族と一緒に食べられない主な理由は何ですか。（○は１つ）

1．習い事（スポーツ、塾など）　2．親の仕事の都合　3．その他（　　）

問７．家族と一緒に料理をしたり、作り方を教えてもらったりしたことがありますか。（○は１つ）

1．よくする　2．ときどきする　3．ほとんどしない

問８．学校が終わった後（放課後）や、休みの日の過ごし方はどうしていますか。（○は１

1．家の中でスマホやタブレットを使うことが多い　2．家でテレビを見ていることが多い
3．習い事（スポーツ、塾など）　4．友達と遊ぶ　5．その他（　　）

問９．あなたは、平日（学校がある日）の朝は、何時ごろに起きますか。（○は１つ）

1．朝６時～６時３０分　2．朝６時３０分～７時　3．朝７時～７時３０分
4．朝７時３０分～８時　5．その他（　　）

問 10．あなたは、平日（学校がある日）の夜は、何時ごろに寝ますか。（○は１つ）

1．夜９時より前　2．夜９時～10 時　3．夜 10 時～11 時
4．夜 11 時～12 時　5．夜 12 時より後

問 11．あなたは、睡眠不足だと感じていますか。（○は１つ）

1．睡眠不足だと感じている　2．睡眠不足だと感じていない　3．わからない

【問 11 で、１に○をした人にお聞きします】

問 11－２．　睡眠不足だと感じている理由は何ですか。（○はいくつでも）

1．なんとなく夜更かししている　2．部活や宿題・勉強などで寝るのが遅くなる
3．家族の寝る時間が遅いため　4．テレビを見ている
5．スマホやタブレットなどを見ている　6．その他（　　）

問 12．一緒に住んでいる家族で、たばこを吸う人はいますか（○はいくつでも）

1．だれも吸わない　2．父　3．母　4．その他（　　）

【問 12 で、２・３・４に○をした人にお聞きします】

問 12－２．たばこを吸う人はあなたの近くで吸うことがありますか（○はいくつでも）

1．いつも近くで吸っている　2．あなたから離れて部屋の中で吸っている
3．ベランダや外で吸っている　4．その他（　　）

問 13．歯の健康についてお聞きします（○はいくつでも）

1．歯の健康に関心がある　2．むし歯・歯周病を知っている
3．むし歯・歯周病の予防法を知っている　4．歯の健康のために心がけていることがある
5．歯みがき指導を受けたことがある　6．歯科医院へ定期検診に行っている

問 14．フッ素についてお聞きします（○はいくつでも）

1．フッ素という言葉を知っている　2．フッ素はむし歯予防に効果があることを知っている
3．フッ素入りの歯みがき剤（歯みがきこ・洗口液）を使っている

問 15．歯みがきの習慣について、いつ歯みがきをしていますか（○はいくつでも）

1．起床時　2．朝食後　3．昼食後　4．夕食後　5．寝る前　6．みがかない

問 16．歯みがきの時、歯ブラシ以外に何か使っていますか（○はいくつでも）

1．糸ようじ　2．デンタルフロス　3．使っていない　4．その他（　　）

問 17．「８０２０運動」を知っていますか（○は１つ）

1．知っている　2．知らない

問 18．あなたは学校が楽しいと思いますか（○は１つ）

1．はい　2．ときどき　3．いいえ

問 19．親への感謝の気持ちを持っていますか（○は１つ）

1．はい　2．ときどき　3．いいえ

問 20．将来の夢や目標を持っていますか（○は１つ）

1．はい　2．いいえ　3．考え中

問 21．自分と地域の人たちとのつながりについてどう思いますか（○は１つ）

1．つながりが強いと思う　2．どちらともいえない　3．つながりは弱いと思う

◆健康づくりについて、徳之島町に取り組んでほしいことがあれば、自由にご記入ください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート用紙【中学２年生】

徳之島町　健康づくりアンケート調査　【中学生用】

～アンケート調査ご協力のお願い～

この調査は、徳之島町にお住いの、小学校５年生・中学校２年生のみなさんを対象に、健康について考えていることや、生活の中で取り組んでいることなどについてお聞きするものです。そこで、みなさんの声をもとに、健康なまちづくり事業を検討し「徳之島町健康増進計画」「徳之島町食育推進計画」などの計画の基礎資料とさせていただきます。

アンケートには、思ったことをありのままお答えいただき、答えられないところは答えなくてもかまいません。調査結果はすべてデータ処理されますので、個人が特定されるようなことはありません。また、他の目的でデータを使うことはありません。

以上のことをご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

令和４年９月

徳之島町長　高岡　秀規

～ご記入にあたってのお願い～

1．質問には小・中学生ご本人が記入して下さい。もしくは、代理の方が話を聞いて、一緒に記入してください。

2．回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」の場合は、番号を○で囲み、（　　）内になるべく具体的にご記入ください。

3．ご記入後は、封筒に入れて学校へ提出してください。封筒には調査票のみ入れてください。

【お問い合わせ先・計画に関する担当課】

徳之島町健康増進計画・徳之島町保健センター　℡８３－３１２１

徳之島町食育推進計画・徳之島町役場農林水産課　℡８２－１１１１（代表）

アンケートは問１から問 22 まであります。

問１．あなたは、朝食を食べて学校に行きますか。（○は１つ）

1．ほとんど毎日食べる　2．週４～５日食べる
3．週２～３日食べる　4．ほとんど食べない

【問１で、２・３・４に○をした人にお聞きします】

問１－２．朝食を食べない時があるのは、なぜですか。（○は１つ）

1．食べる時間がないから　2．朝は食欲がないから
3．朝食が用意されていないから　4．その他（　　）

問２．朝食はいつも何を食べていますか。（○は１つ）

1．パン　2．パンとおかず　3．ご飯　4．ご飯とおかず
5．その他（　　）

問３．ふだんの食生活について、あてはまるものを教えてください。（○はいくつでも）

1．３食規則正しく食べている　2．食品の好き嫌いがある　3．カップめんをよく食べる
4．ジュース類をよく飲む　5．ポテトチップス等のスナック菓子をよく食べる
6．コンビニ弁当やハンバーガーなど市販の物をよく食べる　7．甘いものをよく食べる

問４．夕食は家族と一緒に食べますか。（○は１つ）

1．家族と一緒に食べる　2．家族がそろわないため一人で食べることが多い

【問４で、２に○をした人にお聞きします】

問４－２．家族と一緒に食べられない主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

1．習い事（スポーツ、塾など）　2．親の仕事の都合　3．その他（　　）

問５．学校が終わった後（放課後）や、休みの日の過ごし方はどうしていますか。（○は１つ）

1．家の中でスマホやタブレットを使うことが多い　2．家でテレビを見ていることが多い
3．習い事（スポーツ、塾など）　4．友達と遊ぶ　5．その他（　　）

問６．あなたは、平日（学校がある日）の朝は、何時ごろに起きますか。（○は１つ）

1．朝６時～６時３０分　2．朝６時３０分～７時　3．朝７時～７時３０分
4．朝７時３０分～８時　5．その他（　　）

問７．あなたは、平日（学校がある日）の夜は、何時ごろに寝ますか。（○は１つ）

1．夜９時より前　2．夜９時～10 時　3．夜 10 時～11 時
4．夜 11 時～12 時　5．夜 12 時より後

問８．あなたは、睡眠不足だと感じていますか。（○は１つ）

1．睡眠不足だと感じている　2．睡眠不足だと感じていない　3．わからない

【問８で、１に○をした人にお聞きします】

問８－２．睡眠不足だと感じている理由は何ですか。（○はいくつでも）

1．なんとなく夜更かししている　2．部活や宿題・勉強などで寝るのが遅くなる
3．家族の寝る時間が遅いため　4．テレビを見ている
5．スマホやタブレットなどを見ている　6．その他（　　）

問９．一緒に住んでいる家族で、たばこを吸う人はいますか。（○はいくつでも）

1．だれも吸わない　2．父　3．母　4．その他（　　）

【問９で、２・３・４に○をした人にお聞きします】

問９－２．たばこを吸う人はあなたの近くで吸うことがありますか。（○はいくつでも）

1．いつも近くで吸っている　2．あなたから離れて部屋の中で吸っている
3．ベランダや外で吸っている　4．その他（　　）

問 10．たばこが健康に与える影響について知っていますか。（○は１つ）

1．知っている　2．何となく知っている　3．知らない

問 11．あなたは、お酒を飲んだことがありますか。（○は１つ）

1．飲んだことがある　2．飲んだことはない

【問 11 で、１に○をした人にお聞きします】

問 11－２．お酒を飲んだきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1．興味があったから　2．友達と集まった時に飲んだ　3．大人にすすめられたから

問 12.「急性アルコール中毒で死亡することがある」ということを知っていますか。（○は１つ）

1．知っている　2．何となく知っている　3．知らない

問 13．歯の健康についてお聞きします（○はいくつでも）

1．歯の健康に関心がある　2．むし歯・歯周病を知っている
3．むし歯・歯周病の予防法を知っている　4．歯の健康のために心がけていることがある
5．歯みがき指導を受けたことがある　6．歯科医院へ定期検診に行っている
7．８０２０運動を知っている　8．フッ素入りの歯みがき剤を使っている
9．歯ブラシ以外に、糸ようじやデンタルフロスを使っている

問 14．歯みがきの習慣について、いつ歯みがきをしていますか。（○はいくつでも）

1．起床時　2．朝食後　3．昼食後　4．夕食後　5．寝る前　6．みがかない

問 15．あなたは、自分のからだや性について悩みがありますか。（○は１つ）

1．はい　2．いいえ

【問 15 で、１に○をした人にお聞きします】

問 15-2．悩みを相談できる人はいますか。（○はいくつでも）

1．友人　2．先輩　3．兄弟姉妹　4．親　5．祖父母　6．先生　7．その他

問 16．性教育についてお聞きします。（○はいくつでも）

1．月経のしくみについて知っている　2．性感染症について知っている
3．性教育は大事だと思う　4．**（女性のみ回答）**月経の記録をつけている

問 17．日頃、イライラしたり、ストレスを感じることがありますか。（○は１つ）

1．よくある　2．時々ある　3．あまりない

【問 17 で、１・２に○をした人にお聞きします】

問 17-2．どのようなことでイライラしたり、ストレスを感じますか。（○はいくつでも）

1．親との関係　2．先生との関係　3．友人や先輩との関係　4．勉強に関すること
5．部活やスポーツのこと　6．特に理由はない　7．その他（　　）

問 18．イライラやストレスを解消することができていますか。（○は１つ）

1．はい　2．いいえ　3．どちらでもない

問 19．あなたは学校が楽しいと思いますか（○は１つ）

1．はい　2．ときどき　3．いいえ

問 20．親への感謝の気持ちを持っていますか（○は１つ）

1．はい　2．ときどき　3．いいえ

問 21．将来の夢や目標を持っていますか（○は１つ）

1．はい　2．いいえ　3．考え中

問 22．自分と地域の人たちとのつながりについてどう思いますか（○は１つ）

1．つながりが強いと思う　2．どちらともいえない　3．つながりは弱いと思う

◆健康づくりについて、徳之島町に取り組んでほしいことがあれば、自由にご記入ください。

ご協力いただき、ありがとうございました。　封筒や調査票にあなたのお名前を書く必要はありません。

アンケート用紙【高校２年生】

徳之島町　健康づくりアンケート調査　【高校生用】

～アンケート調査ご協力のお願い～

この調査は、徳之島町にお住いの、高校２年生のみなさんを対象に、健康について考えていることや、生活の中で取り組んでいることなどについてお聞きするものです。そこで、みなさんの声をもとに、健康なまちづくり事業を検討し「徳之島町健康増進計画」「徳之島町食育推進計画」などの計画の基礎資料とさせていただきます。

アンケートには、思ったことをありのままお答えいただき、答えられないところは答えなくてもかまいません。調査結果はすべてデータ処理されますので、個人が特定されるようなことはありません。また、他の目的でデータを使うことはありません。

以上のことをご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

令和 4 年 11 月　　徳之島町長

高岡　秀規

～ご記入にあたってのお願い～

1．質問には高校生ご本人が記入して下さい。もしくは、代理の方が話を聞いて、一緒に記入してください。

2．回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」の場合は、番号を○で囲み、（　　）内になるべく具体的にご記入ください。

3．ご記入後は、封筒に入れて学校へ提出してください。

【お問い合わせ先・計画に関する担当課】

徳之島町健康増進計画・徳之島町保健センター　℡８３－３１２１

徳之島町食育推進計画・徳之島町役場農林水産課　℡８２－１１５０

あなたの回答が町の健康づくりに活かされます

～アンケートは問１から問 24 まであります。～

問１．あなたは、朝食を食べて学校に行きますか。（○は１つ）

1．ほとんど毎日食べる　2．週４～５日食べる
3．週２～３日食べる　4．ほとんど食べない

【問１で、２・３・４に○をした人にお聞きします】

問１－２．朝食を食べない時があるのは、なぜですか。（○は１つ）

1．食べる時間がないから　2．朝は食欲がないから
3．朝食が用意されていないから　4．その他（　　）

問２．朝食はいつも何を食べていますか。（1 週間のうち食べる頻度が高いもの）（○は１つ）

1．パン　2．パンとおかず　3．ご飯　4．ご飯とおかず
5．その他（　　）

問３．ふだんの食生活について、あてはまるものを教えてください。（○はいくつでも）

1．３食規則正しく食べている　2．食品の好き嫌いがある　3．カップめんをよく食べる
4．ジュース類をよく飲む　5．ポテトチップス等のスナック菓子をよく食べる
6．コンビニ弁当やハンバーガーなど市販の物をよく食べる　7．甘いものをよく食べる

問４．夕食は家族と一緒に食べますか。（○は１つ）

1．家族と一緒に食べる　2．家族がそろわないため一人で食べることが多い

【問４で、２に○をした人にお聞きします】

問４－２．家族と一緒に食べられない主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

1．部活やスポーツなど　2．親の仕事の都合　3．その他（　　）

問５．学校が終わった後（放課後）や、休みの日の過ごし方はどうしていますか。（○は１

1．家の中でスマホやタブレットを使うことが多い　2．家でテレビを見ていることが多い
3．部活　4．友達と遊ぶ　5．その他（　　）

問６．あなたは、平日（学校がある日）の朝は、何時ごろに起きますか。（○は１つ）

1．朝６時～６時３０分　2．朝６時３０分～７時　3．朝７時～７時３０分
4．朝７時３０分～８時　5．その他（　　）

問７．あなたは、平日（学校がある日）の夜は、何時ごろに寝ますか。（○は１つ）

1．夜９時より前　2．夜９時～10 時　3．夜 10 時～11 時
4．夜 11 時～12 時　5．夜 12 時より後

問８．あなたは、睡眠不足だと感じていますか。（○は１つ）

1．睡眠不足だと感じている　2．睡眠不足だと感じていない　3．わからない

【問８で、１に○をした人にお聞きします】

問８－２．睡眠不足だと感じている理由は何ですか。（○はいくつでも）

1．なんとなく夜更かししている　2．部活や宿題・勉強などで寝るのが遅くなる
3．家族の寝る時間が遅いため　4．テレビを見ている
5．スマホやタブレットなどを見ている　6．その他（　　）

問９．一緒に住んでいる家族で、たばこを吸う人はいますか。（○はいくつでも）

1．だれも吸わない　2．父　3．母　4．その他（　　）

【問９で、２・３・４に○をした人にお聞きします】

問９－２．たばこを吸う人はあなたの近くで吸うことがありますか。（○はいくつでも）

1．いつも近くで吸っている　2．あなたから離れて部屋の中で吸っている
3．ベランダや外で吸っている　4．その他（　　）

問 10．たばこが健康に与える影響について知っていますか。（○は１つ）

1．知っている　2．何となく知っている　3．知らない

問 11．あなたは、たばこを吸ったことがありますか。（○は１つ）

1．吸ったことがある　2．吸ったことはない

【問 11 で、１に○をした人にお聞きします】

問 11－２．たばこを吸ったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1．興味があったから　2．友達にすすめられたから　3．大人にすすめられたから
4．家にあったから　5．その他（　　）

問 12．あなたは、お酒を飲んだことがありますか。（○は１つ）

1．飲んだことがある　2．飲んだことはない

【問１２で、１に○をした人にお聞きします】

問 12－２．お酒を飲んだきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1．興味があったから　2．友達と集まった時に飲んだ　3．大人にすすめられたから

問 13.「急性アルコール中毒で死亡することがある」ということを知っていますか。（○は１つ）

1．知っている　2．何となく知っている　3．知らない

問 14．歯の健康についてお聞きします（○はいくつでも）

1．歯の健康に関心がある　2．むし歯・歯周病を知っている
3．むし歯・歯周病の予防法を知っている　4．歯の健康のために心がけていることがある
5．歯みがき指導を受けたことがある　6．歯科医院へ定期検診に行っている
7．８０２０運動を知っている　8．フッ素入りの歯みがき剤を使っている
9．歯ブラシ以外に、糸ようじやデンタルフロスを使っている

問 15．歯みがきの習慣について、いつ歯みがきをしていますか。（○はいくつでも）

1．起床時　2．朝食後　3．昼食後　4．夕食後　5．寝る前　6．みがかない

問 16．あなたは、自分のからだや性について悩みがありますか。（○は１つ）

1．はい　2．いいえ

【問 16 で、１に○をした人にお聞きします】

問 16-2．悩みを相談できる人はいますか。（○はいくつでも）

1．友人　2．先輩　3．兄弟姉妹　4．親　5．祖父母
6．先生　7．その他（　　）

問 17．性教育についてお聞きします。（○はいくつでも）

1．月経のしくみについて知っている　2．性感染症について知っている
3．性教育は大事だと思う　4．**（女性のみ回答）**月経の記録をつけている

問 18．日頃、イライラしたり、ストレスを感じることがありますか。（○は１つ）

1．よくある　2．時々ある　3．あまりない

【問 18 で、１・２に○をした人にお聞きします】

問 18-2．どのようなことでイライラしたり、ストレスを感じますか。（○はいくつでも）

1．親との関係　2．先生との関係　3．友人や先輩との関係　4．勉強に関すること
5．部活やスポーツのこと　6．特に理由はない　7．その他（　　）

問 19．イライラやストレスを解消することができていますか。（○は１つ）

1．はい　2．いいえ　3．どちらでもない

問 20．あなたは学校が楽しいと思いますか（○は１つ）

1．はい　2．ときどき　3．いいえ

問 21．親への感謝の気持ちを持っていますか（○は１つ）

1．はい　2．ときどき　3．いいえ

問 22．将来の夢や目標を持っていますか（○は１つ）

1．はい　2．いいえ　3．考え中

問 23．自分と地域の人たちとのつながりについてどう思いますか（○は１つ）

1．つながりが強いと思う　2．どちらともいえない　3．つながりは弱いと思う

問 24．健康づくりについて、徳之島町に取り組んでほしいことがあれば、自由にご記入く

ご協力いただき、ありがとうございました。　封筒や調査票にあなたのお名前を書く必要はありません。

アンケート用紙　【未就学児４～５歳の保護者】

徳之島町健やか親子アンケート【未就学児の保護者用】

～アンケート調査ご協力のお願い～

この調査は、徳之島町にお住いの、未就学児（幼稚園・保育園の年長児）の保護者の方を対象に、生活習慣等についてお聞きするものです。皆様の声をもとに、健康なまちづくり事業を検討し、「徳之島町健康増進計画」「徳之島町食育推進計画」などの計画の基礎資料とさせていただきます。

アンケートは、すべてデータ処理されますので、個人が特定されるようなことはありません。また、他の目的でデータを使うことはありません。

以上のことをご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

令和４年 11 月　　徳之島町長　高岡　秀規

～ご記入にあたってのお願い～

1．このアンケートは、保護者の方がお答えください。
2．名前は記入する必要はありません。
3．回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。また、記入するものは（　　）に記入してください。
4．ご記入後は、封筒に入れて保育園または幼稚園にご提出ください。

【お問い合わせ先・計画に関する担当課】
徳之島町健康増進計画・徳之島町保健センター　℡８３－３１２１
徳之島町食育推進計画・徳之島町役場農林水産課　℡８２－１１５０

1．回答しているあなたご自身と家族状況についておたずねします。

（1）あなたのお住いの郵便番号を記入してください。

８９１－（　　）

※ご自宅の郵便番号がわからない場合は、送付した封筒をご覧ください。

（2）お子さんからみて、同居している人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1．父親　2．母親　3．兄弟姉妹　4．祖父または祖母　5．その他（　　）

（3）あなたは何歳ですか。

年齢（　　）歳

（4）あなたの就労状況について教えてください。（主なもの１つに○）

1．会社員･公務員･団体職員等　2．自営業　3．農業･漁業･畜産　4．家事従事者
5．パート･アルバイト　6．無職　7．その他（　　）

2．お子さんについておたずねします。

（1）お子さん（4～6 歳）は、第何子ですか。

第（　　）子

（2）お子さんが通っているところはどこですか。（○は１つ）

1．保育園（所）　2．幼稚園　3．託児所　4．通園していない　5．その他（　　）

3．お子さんの生活習慣についておたずねします。

（1）お子さんの就寝時間は何時ごろですか。（○は１つ）

1．午後９時前　2．午後９時～１０時　3．午後１０時～11 時　4．午後 11 時以降

【（1）で、「2．3．4」を回答した方にお伺いします。】

（1－2）夜９時以降に寝る理由について（○はいくつでも可）

1．テレビを見ている　2．家族が起きている　3．遊んでいる　4．夕食が遅い
5．スマホを見ている　6．お風呂・歯磨きなど　7．その他（　　）

（2）お子さんの起床時間は何時ごろですか。（○は１つ）

1．午前６時前　2．午前６時～7 時　3．午前７時～8 時
4．午前８時～9 時　5．午前９時～10 時　6．午前 10 時以降

（3）お子さんの生活リズムは規則正しいですか。（○は１つ）

1．毎日規則正しい　2．だいたい規則正しい　3．不規則

（4）お子さんは、家で１日どのくらい、テレビ・スマホ・タブレット等を使用しています（○は１つ）

1．使用しない　2．１時間未満　3．１～2 時間未満　4．2～3 時間未満
5．3～4時間未満　6．４時間以上

4．お子さんの栄養・食生活についておたずねします。

（1）お子さんは、朝食を食べますか。（○は１つ）

1．ほとんど毎日食べる　2．週４～５日食べる　3．週２～３日食べる
4．ほとんど食べない

【（1）で、「2．3．4」を回答した方にお伺いします。】

（1－2）お子さんが朝食を食べない時があるのは、なぜですか。（○は１つ）

1．食べる時間がないから　2．朝は食欲がないから　3．朝食を食べる習慣がないから
4．朝食を作る時間がないから　5．その他（　　）

（2）お子さんの家での食事は、主に誰と一緒に食べていますか。（○は朝食・夕食各１つ）

①朝食：　1．家族そろって　2．母または父と　3．兄弟姉妹と　4．一人で
②夕食：　1．家族そろって　2．母または父と　3．兄弟姉妹と　4．一人で

（3）お子さんは間食（朝･昼･夕食以外で食べること）をしますか。（○は１つ）

1．する→１日（　　）回程度　2．しない

【（3）で、「1」を回答した方にお伺いします。（3－2～4）の質問もお答えください】

（3－2）お子さんの間食の時間は決めていますか。（○は１つ）

1．きちんと決めいている　2．だいたい決めいている　3．決めていない

（3－3）お子さんの間食の量は決めていますか。（○は１つ）

1．きちんと決めいている　2．だいたい決めいている　3．決めていない

（3－4）お子さんが間食でよく食べる又は飲む物は何ですか。（○は３つまで）

1．パン　2．おにぎり　3．果物　4．ヨーグルト・プリン・ゼリー　5．クッキー
6．チョコレート　7．せんべい　8．スナック菓子　9．アイスクリーム
10．あめ・キャラメル・グミ　11．果汁ジュース　12．スポーツドリンク
13．炭酸飲料　14．乳酸菌飲料　15．その他（　　）

（4）あなたの家庭では、食材を選ぶときどのような基準で選んでいますか。（○は３つまで）

1．好きな物　2．安い物　3．徳之島産　4．国産　5．旬の物
6．調理の手間のかからない物　7．その他（　　）

（5）あなたは、「食育」や「地産地消」という言葉や意味を知っていますか。（○はそれぞれに１つ）

①食育　：　1．言葉も意味も知っている　2．言葉は知っているが意味は知らない　3．知らない
②地産地消：1．言葉も意味も知っている　2．言葉は知っているが意味は知らない　3．知らない

5．お子さんの運動についておたずねします。

（1）お子さんが屋内及び屋外で体を動かして遊ぶ時間は、1日に何時間ですか。（○はそれぞれに1つ）
※保育園・幼稚園等が休みの日に体を動かして遊ぶ時間についてお答えください。

①新型コロナ流行前：　1．　1時間未満　　2．　1～2時間未満　　3．　2時間以上
②現　在：　1．　1時間未満　　2．　1～2時間未満　　3．　2時間以上

（2）自宅の近くにお子さんが安心して遊べる場所がありますか。（○は1つ）

1．ある　　2．ない

6．お子さんの歯の健康についておたずねします。

（1）お子さんは、いつ歯みがきをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．起床後　2．朝食後　3．昼食後　4．夕食後　5．就寝前　6．しない

（2）お子さんの歯みがき等で実践していることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．フッ素入りの歯みがき剤を使用　2．デンタルフロス・歯間ブラシを使用　3．仕上げみがき
4．保健センターの歯科検診を受診　5．予防のため歯科医院を受診　6．早めに治療を受ける
7．特に何もしていない　8．その他（　　）

（3）家庭での仕上げみがきの状況についておたずねします。（○は1つ）

1．ほとんど毎回している　2．時々している　3．ほとんどしていない

【（3）で、「2」または「3」を回答した方にお伺いします。（3－2）の質問もお答えください。

（3－2）「時々している」または「していない」主な理由は何ですか。（○は1つ）

1．時間がない為　2．子どもが嫌がる　3．面倒　4．方法を知らない　5．その他（　　）

（4）お子さんは食事をよくかんで食べていますか。（○は1つ）

1．よくかんでいる　2．まあかんでいる　3．あまりかんでいない　4．わからない

7．喫煙についておたずねします。

（1）お子さんのお母さんは妊娠中、喫煙していましたか。（○は1つ）

1．はい　2．いいえ

（2）現在、お子さんの家族で喫煙する人は、お子さんから見てどなたですか。（あてはまるものすべて○）

1．父親　2．母親　3．祖父母　4．その他（　　）　5．喫煙する人はいない

（3）喫煙する人は、お子さんの周囲（同じ部屋）で吸いますか。（○は1つ）

1．部屋の外で吸う　2．同じ部屋で窓を開けて吸う　3．子どもが近くにいても吸う

8．子育てについておたずねします。

（1）あなたは、子育てにストレスを感じることがありますか。（○は1つ）

1．よくある　2．時々ある　3．あまりない

【（1）で、「1．2」を回答した方にお伺いします。】

（1－2）子育てにストレスを感じることはどんな場合や内容ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．子どもとの関わり　2．家族の協力が得られない　3．子育てと仕事の両立　4．子どもの病気
5．家族との育児方針の違い　6．自分の時間がない　8．その他（　　）

（2）子育てについて相談できる人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1．配偶者　2．実父母　3．義父母　4．兄弟・姉妹　5．友人・知人
6．保育園（所）・幼稚園の先生　7．保健センター　8．いない　9．その他（　　）

（3）あなたは、自分が子どもを虐待しているのではないかと思ったことがありますか。（○は1つ）

※虐待とは、たたく、けるなどの暴力だけではなく、暴言や食事を与えない、閉じ込めるなども虐待です。

1．よくある　2．たまにある　3．しつけのためにしたことがある　4．ない

（4）あなたは、育児は楽しいと思うことがありますか。（○は1つ）

1．よくある　2．たまにある　3．思ったことがない

（5）あなたは、自信をもって育児を行えていますか。（○は1つ）

1．できていると思う　2．まあまあできていると思う　3．自信がない　4．わからない

（6）あなたは、ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。（○は1つ）

1．はい　2．いいえ　3．どちらともいえない

9．その他、あなたやお子さんの健康づくりに関して、自由なご意見をお聞かせください。

アンケートのご協力ありがとうございました。アンケート用紙は、封筒に入れてご提出ください。

アンケート用紙【20～64歳】

徳之島町健康づくりアンケート【20歳～64歳の町民】

～アンケート調査ご協力のお願い～

この調査は、徳之島町にお住いの、20歳～64歳の方を対象に、生活習慣等についてお聞きするものです。皆様の声をもとに、健康なまちづくり事業を検討し、「徳之島町健康増進計画」「徳之島町食育推進計画」などの計画の基礎資料とさせていただきます。

アンケートは、すべてデータ処理されますので、個人が特定されるようなことはありません。また、他の目的でデータを使うことはありません。

以上のことをご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

令和４年11月　　徳之島町長　高岡　秀規

～ご記入にあたってのお願い～

1．このアンケートは、宛名のご本人の方がお答えください。もしくは、代理の方が話を聞いて、一緒に記入してください。
2．名前は記入する必要はありません。
3．回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。また、記入するものは（　　）に記入してください。
4．ご記入後は、返信用封筒にてご返送ください。（切手を貼る必要はありません）

【お問い合わせ先・計画に関する担当課】
徳之島町健康増進計画・徳之島町保健センター　TEL８３－３１２１
徳之島町食育推進計画・徳之島町役場農林水産課　TEL８２－１１５０

1．回答しているあなたご自身についておたずねします。

（1）あなたのお住いの郵便番号を記入してください。

８９１－（　　）
※ご自宅の郵便番号がわからない場合は、送付した宛名用紙をご覧ください。

（2）あなたの家族構成について教えてください。

1．一人暮らし　2．夫婦のみ　3．親と子の世帯　4．親・子・孫の世帯　5．その他

（3）あなたの年齢と性別について教えてください。

年齢：（　　）歳…調査時現在の年齢　性別：（　男性　・　女性　）

（4）現在の身長と体重をご記入ください。※身長・体重がわからない方は、おおよその数字をご記入ください。

身長：（　　）cm　体重：（　　）kg

（5）自分の適正体重を知っていますか。（○は1つ）

1．はい　2．いいえ　3．適正体重の意味を知らない

（6）あなたの就労状況について教えてください。（主なもの1つに○）

1．会社員・公務員・団体職員等　2．自営業　3．農業・漁業・畜産　4．家事従事者
5．パート・アルバイト　6．無職　7．その他（　　）

2．栄養・食生活についておたずねします。

（1）あなたは、朝食を食べますか。（○は1つ）

1．ほとんど毎日食べる　2．週4～5日食べる　3．週2～3日食べる　4．ほとんど食べない

【（1）で、「2．3．4」を回答した方にお伺いします。】

（1－2）あなたが朝食を食べない時があるのは、なぜですか。（○はいくつでも可）

1．食べる時間がないから　2．朝は食欲がないから　3．朝食を食べる習慣がないから
4．朝食を作る時間がないから　5．その他（　　）

（2）あなたは、いつも何時頃に夕食を食べていますか。（○は1つ）

1．午後7時より前　2．午後7時～9時　3．午後9時～11時　4．その他（　　）

（3）あなたは、普段、食事を一人で食べることがありますか。（○は朝食・夕食各1つ）

①朝食：　1．だれかと一緒に食べる　2．一人で食べることが多い
②夕食：　1．だれかと一緒に食べる　2．一人で食べることが多い

（4）あなたの食生活で、心がけていることなどについて教えてください。（○はいくつでも可）

1．3食規則正しく食べている　2．よくかんで食べている　3．腹八分を心がけている
4．栄養のバランスを考えている　5．適切な食事量・内容を知っている　6．減塩を心がけている
7．脂っこい物を控えている　8．その他（　　）

（5）普段の食事の内容について教えてください。（○はいくつでも可）

1．肉類（豚・牛・鶏）をよく食べる　2．魚をよく食べる　3．漬物や梅干しをよく食べる
4．料理の味付けは濃い方である　5．甘い物をよく食べる　6．甘い飲み物をよく飲む

（6）あなたは、普段、野菜をどれくらい食べていますか。（○は1つ）

1．毎日よく食べている　2．まあまあ食べている　3．あまり食べていない

（7）あなたは、普段、お惣菜や市販の弁当などをよく利用しますか。（○は１つ）

1．ほとんど毎日　2．週に３～５日　3．週に１～２日　4．あまりしない

【（7）で、「2．3．4」を回答した方にお伺いします。】

（7－2）お惣菜や市販の弁当はいつ食べることが多いですか。（○はいくつでも可）

1．朝食　2．昼食　3．夕食　4．間食

（8）あなたは、外食や食品を購入する時、カロリーなどの栄養成分表示を見ますか。（○は１つ）

1．よく見ている　2．時々見ている　3．見ない

（9）あなたは、「食育」や「地産地消」という言葉や意味を知っていますか。（○は１つ）

①食育：　1．言葉も意味も知っている　2．言葉は知っているが意味は知らない　3．知らない
②地産地消：1．言葉も意味も知っている　2．言葉は知っているが意味は知らない　3．知らない

（10）あなたは、食材を選ぶ時、どのような基準で選んでいますか。（○は３つまで）

1．好きな物　2．安い物　3．徳之島産　4．国産　5．旬の物
6．調理の手間のかからない物　7．その他（　　）

（11）徳之島産の食材をよく購入しますか。（○は１つ）

1．はい（食材名を記入して下さい：　　）　2．いいえ

3．身体活動（運動など）についておたずねします。

（1）あなたは、健康づくりのために運動をしていますか。（○はそれぞれ一つ）

①新型コロナ流行前：　1．している（いつも・時々）　2．していない　3．健康上の理由でできない
②現　在　：　1．している（いつも・時々）　2．していない　3．健康上の理由でできない

【（1）で、②現在：「1」を回答した方にお伺いします。】

（1－2）どのくらいの頻度で運動をしていますか。（○は１つ）

1．週に５回以上　2．週に2～4回　3．週１回　4．月に数回

（1－3）運動をしている方は、どのような運動をしていますか。（　）に記入してください。

（　　）

（2）日常生活（仕事や家事も含む）において１日あたりどれくらい歩いていますか。（○はそれぞれ一つ）

①新型コロナ流行前：　1．30 分未満　2．30 分～1 時間　3．1 時間以上
②現　在　：　1．30 分未満　2．30 分～1 時間　3．1 時間以上

（3）日頃から運動することについてどのように考えていますか。（○は１つ）

1．すでに取り組んでおり継続したい　2．すでに取り組んでいるが継続が難しい。
3．関心があり１か月以内に取り組む予定　4．関心がありいずれ取り組む予定　5．関心がない

4．休養・睡眠・心の健康づくりについておたずねします。

（1）あなたは、睡眠が十分にとれていますか。（○は１つ）

1．とれている　2．まあまあとれている　3．とれていない時がある　4．とれていない

（2）ふだんの睡眠時間は１日平均何時間ですか。（○は１つ）

1．5時間以下　2．5時間～6時間　3．6時間～8時間　4．8時間以上

（3）眠る時、睡眠剤やアルコールなど必要ですか。（○は１つ）

1．飲まなくても眠れている　2．たまに飲む　3．ほぼ毎日飲む

（4）この１か月でストレスを感じることがありましたか。（○は１つ）

1．よくあった　2．時々あった　3．ほとんどなかった

【（4）で、「1または2」を回答した方にお伺いします。】

（4－2）どのようなことにストレスを感じましたか。（○はいくつでも可）

1．自分の健康のこと　2．仕事のこと　3．経済的なこと　4．人間関係のこと
5．子どものこと　6．配偶者のこと　7．家族の介護のこと　8．その他（　　）

（4－3）あなたはストレスを解消できていますか。（○は１つ）

1．解消できている　2．まあまあ解消できている　3．あまり解消できていない
（1．2を回答の方は、ストレス解消法を教えてください：　　）

4．たばこ・飲酒についておたずねします。

（1）あなたは、たばこを吸いますか。（○は１つ）

1．吸う（1日　　本）　2．吸わない　3．以前吸っていたがやめた

（2）たばこによって、おこりやすくなる病気はどれだと思いますか。（○はいくつでも可）

1．肺がん　2．ぜんそく　3．気管支炎　4．慢性閉塞性肺疾患　5．心臓病
6．脳卒中　7．胃潰瘍　8．歯周病　9．妊娠への影響　10．依存症

（3）禁煙補助剤、ニコチンパッチやニコチンガムを知っていますか。（○は１つ）

1．知っている　2．知らない

（4）あなたは、お酒を飲みますか。（○は１つ）

1．毎日飲む　2．週に3～5回　3．週に1～2回　3．飲まない

【（4）で、「1．2．3」を回答した方にお伺いします。】

（4－2）飲むときは、日本酒に換算して、１日または１回にどれくらい飲みますか。（○は１つ）

1．1合未満　2．1～2合　3．2～3合　4．4合以上

参考：１合は、ビール中びん１本（５００ml）、焼酎（２５％）100ml、チューハイ１本（350ml）

（4－3）休肝日（お酒をまったく飲まない日）は週に何日ありますか。（○は１つ）

1．週に２日以上　2．週１日　3．ない

（5）成人における飲酒の１日の適量は、日本酒に換算してどのくらいだと思いますか。（○は１つ）

1．1合以下　2．1合くらい　3．2合くらい　3．3合くらい

5．歯や口の健康についておたずねします。

（1）歯みがきの習慣について、いつ歯みがきをしていますか。（○はいくつでも可）

1．起床時　2．朝食後　3．昼食後　4．夕食後　5．寝る前　6．みがかない

（2）あなたは、歯や口の状態について気になることがありますか。（○はいくつでも可）

1．特にない　2．むし歯がある　3．歯ぐきが腫れる　4．歯ぐきから血が出る
5．歯がしみる　6．かみにくい　7．口臭が気になる　8．その他（　　）

（3）歯の健康管理として、どのようなことを取り組んでいますか。（○はいくつでも可）

1．ていねいに歯をみがく　2．定期的に歯科検診を受ける　3．定期的に歯石をとってもらう
4．歯の治療は早めに受ける　5．デンタルフロス・歯間ブラシを使う　6．その他（　　）

6．健診・地域との関わりについておたずねします。

（1）１年以内に、健診（若年健診・特定健診・長寿健診・職場健診・人間ドック）をうけましたか。

1．受けた　2．受けなかった（理由を教えてください：　　）

（2）あなたは、近所の人とのつながりがありますか。（○は１つ）

1．つながりは強いと思う　2．顔があえばあいさつをする程度　3．あまりつながりはない

7．その他、健康づくりについて、自由なご意見をお聞かせください。

アンケートのご協力ありがとうございました。アンケート用紙は封筒に入れて返信をお願いします。

アンケート用紙【65 歳以上】

徳之島町健康づくりアンケート【65 歳以上の町民】

～アンケート調査ご協力のお願い～

この調査は、徳之島町における住いの、６５歳以上の方を対象に、生活習慣等についてお聞きするものです。皆様の声をもとに、健康なまちづくり事業を検討し、「徳之島町健康増進計画」「徳之島町食育推進計画」などの計画の基礎資料とさせていただきます。

アンケートは、すべてデータ処理されますので、個人が特定されるようなことはありません。また、他の目的でデータを使うことはありません。

以上のことをご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

令和４年 11 月　　徳之島町長　高岡　秀規

～ご記入にあたってのお願い～

1．このアンケートは、宛名のご本人の方がお答えください。もしくは、代理の方が話を聞いて、一緒に記入してください。
2．名前は記入する必要はありません。
3．回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。また、記入するものは（　　）に記入してください。
4．ご記入後は、返信用封筒にてご返送ください。（切手を貼る必要はありません）

【お問い合わせ先・計画に関する担当課】

徳之島町健康増進計画・徳之島町保健センター　℡８３－３１２１

徳之島町食育推進計画・徳之島町役場農林水産課　℡８２－１１５０

1．回答しているあなたご自身についておたずねします。

（1）あなたの住んでいる地区または集落名を記入してください。

地区または集落名（　　）

（2）あなたは、現在、何人で住んでいますか。（○は１つ）

1．一人暮らし　2．夫婦のみ　3．その他→（何人家族ですか　　人）

（3）あなたの年齢と性別について教えてください。

年齢：（　　）歳…現在の年齢　性別：（　男性　・　女性　）

（4）現在の身長と体重をご記入ください。

身長：（　　）cm　体重：（　　）kg

（5）自分の適正体重を知っていますか。（○は１つ）

1．はい　2．いいえ　3．適正体重の意味を知らない

（6）現在の職業について教えてください。（主なもの１つに○）

1．会社員･公務員･団体職員等　2．自営業　3．農業･漁業･畜産　4．家事従事者
5．パート･アルバイト　6．無職　7．その他（　　）

2．栄養・食生活についておたずねします。

（1）あなたは、朝食を食べますか。（○は１つ）

1．毎日食べる　2．週４～５日食べる　3．週２～３日食べる　4．あまり食べない

【（1）で、「2．3．4」を回答した方にお伺いします。】

（1－2）あなたが朝食を食べない時があるのは、なぜですか。（○はいくつでも可）

1．食べる時間がないから　2．朝は食欲がないから　3．朝食を食べる習慣がないから
4．朝食を作る時間がないから　5．その他（　　）

（2）あなたは、いつも何時頃に夕食を食べていますか。（○は１つ）

1．午後７時より前　2．午後７時～９時　3．午後９時～11 時　4．その他（　　）

（3）あなたは、普段、食事を一人で食べることがありますか。（○は朝食・夕食各１つ）

①朝食：　1．だれかと一緒に食べる　2．一人で食べることが多い
②夕食：　1．だれかと一緒に食べる　2．一人で食べることが多い

（4）あなたの食生活で、心がけていることなどについて教えてください。（○はいくつでも可）

1．毎食規則正しく食べている　2．よくかんで食べている　3．腹八分
4．栄養のバランスを考えている　5．適切な量・内容を知っている　6．減塩
7．脂っこい物を控えている　8．その他（　　）

（5）普段の食事の内容について教えてください。（○はいくつでも可）

1．肉類をよく食べる　2．魚をよく食べる　3．漬物や梅干しをよく食べる
4．料理の味付けは濃い方である　5．甘い物をよく食べる　6．甘い飲み物をよく飲む

（6）あなたは、普段、野菜をどれくらい食べていますか。（○は１つ）

1．毎日よく食べている　2．まあまあ食べている　3．あまり食べていない

（7）あなたは、普段、お惣菜や市販の弁当などをよく利用しますか。（○は１つ）

1．ほとんど毎日　2．週に３～５日　3．週に１～２日　4．あまりしない

【（7）で、「2．3．4」を回答した方にお伺いします。】

（7－2）お惣菜や市販の弁当はいつ食べることが多いですか。（○はいくつでも可）

1．朝食　2．昼食　3．夕食　4．間食

（8）あなたは、外食や食品を購入する時、カロリーなどの栄養成分表示を見ますか。（○は１つ）

1．よく見ている　2．時々見ている　3．見ない

（9）あなたは、「食育」や「地産地消」という言葉や意味を知っていますか。（○は１つ）

①食　育：1．言葉も意味も知っている　2．言葉は知っているが意味は知らない　3．知らない
②地産地消：1．言葉も意味も知っている　2．言葉は知っているが意味は知らない　3．知らない

（10）あなたは、食材を選ぶ時、どのような基準で選んでいますか。（○は３つまで）

1．好きな物　2．安い物　3．徳之島産　4．国産　5．旬の物
6．調理の手間のかからない物　7．その他（　　）

（11）徳之島産の食材をよく購入しますか。（○は１つ）

1．はい（食材名を記入して下さい：　　）　2．いいえ

3．身体活動（運動など）についておたずねします。

（1）日頃、買い物や畑仕事などを含め、１週間でどれくらい外出をしていますか。（○はそれぞれ一つ）

①新型コロナ流行前：1．週５日以上　2．週２～４日　3．週１日　4．ほとんど外出しない
②現　在　：1．週５日以上　2．週２～４日　3．週１日　4．ほとんど外出しない

（2）日頃から健康づくりのために体を動かすように心がけていますか。（○は１つ）

1．よく運動する　2．時々　3．健康上の理由から運動ができない
4．運動しようと思わない

（3）外出するにあたり、不自由を感じることがありますか。（○はいくつでも可）

1．困ることはない　2．足腰が衰えてきた　3．転びやすいことの不安
4．車の運転に不安がある　5．買い物や通院先が遠いため不便　6．物忘れをしやすい

（4）この１年間で転んだことがありますか。（○は１つ）

1．よく転びやすい　2．たまに転んだことがある　3．転ぶことはない

4．休養・睡眠・心の健康づくりについておたずねします。

（1）夜はぐっすり眠れていますか。（○は１つ）

1．ぐっすり眠れている　2．夜中に目が覚めることがある　3．あまり眠れていない

（2）ふだんの睡眠時間は１日平均何時間ですか。（○は１つ）

1．約５時間以下　2．約５時間～６時間　3．約６時間～８時間　4．約８時間以上

（3）眠る時、睡眠剤やアルコールなどを飲む必要がありますか。（○は１つ）

1．飲まなくても眠れている　2．たまに飲む　3．ほぼ毎日飲む

（4）この１か月でストレスを感じることがありましたか。（○は１つ）

1．よくあった　2．時々あった　3．ほとんどなかった

（5）趣味、楽しみや好きでやっていることがありますか。（○は１つ）

1．ある→どんな趣味ですか（　　）　2．特にない

（6）町の行事や地域・集落の行事等に参加していますか（○は１つ）

1．都合が合えば参加している　2．さそわれたら参加する　3．参加していない

4．たばこ・飲酒についておたずねします。

（1）あなたは、たばこを吸いますか。（○は１つ）

1．吸う（１日　　本）　2．吸わない　3．以前吸っていたがやめた

（2）たばこによって、おこりやすくなる病気はどれだと思いますか。（○はいくつでも可）

1．肺がん　2．ぜんそく　3．気管支炎　4．慢性閉塞性肺疾患　5．心臓病
6．脳卒中　7．胃潰瘍　8．歯周病　9．妊娠への影響　10．依存症

（3）あなたは、お酒を飲みますか。（○は１つ）

1．毎日飲む　2．たまに飲む　3．飲まない

【（3）で、「1．2」を回答した方にお伺いします。】

（3－2）飲むときは、日本酒に換算して、１日または１回にどれくらい飲みますか。（○は１つ）

1．１合未満　2．１～２合　3．２～３合　4．４合以上

参考：１合は、ビール中びん１本（５００ml）、焼酎（２５％）100ml、チューハイ１本（350ml）

（3－3）休肝日（お酒をまったく飲まない日）は週に何日ありますか。（○は１つ）

1．週に２日以上　2．週１日　3．ない

5．歯や口の健康についておたずねします。

（1）歯みがきの習慣について、いつ歯みがきをしていますか。（○はいくつでも可）

1．起床時　2．朝食後　3．昼食後　4．夕食後
5．寝る前　6．みがかない

（2）あなたは、歯や口の状態について気になることがありますか。（○はいくつでも可）

1．特にない　2．むし歯がある　3．歯ぐきが腫れる　4．歯ぐきから血が出る
5．歯がしみる　6．かみにくい　7．口臭が気になる　8．その他（　　）

（3）歯の健康管理として、どのようなことを取り組んでいますか。（○はいくつでも可）

1．ていねいに歯をみがく　2．定期的に歯科検診を受ける　3．定期的に歯石をとる
4．歯の治療は早めに受ける　5．デンタルフロス・歯間ブラシを使う
6．その他（　　）

6．健診・地域との関わりについておたずねします。

（1）１年以内に、健診（特定健診・長寿健診・職場健診・人間ドック）をうけましたか。

1．受けた　2．受けなかった（理由を教えてください：　　）

（2）あなたは、近所の人とのつながりがありますか。（○は１つ）

1．つながりは強いと思う　2．顔が合えばあいさつをする程度　3．あまりつながりはない

7．その他、健康づくりについて、自由なご意見をお聞かせください。

アンケートのご協力ありがとうございました。アンケート用紙は封筒に入れて返信をお願いします。

事業所用

～食育に関するアンケート調査ご協力のお願い～

この調査は、本町の「第３次徳之島町地産地消・食育推進計画」の策定に係る基礎資料とさせていただくためのものです。ご協力お願いいたします。

【徳之島町役場　農林水産課】

問１．性別についてお答えください。
１．男　　２．女　　３．その他

問２．年齢についてお答えください。
１．２０代　２．３０代　３．４０代　４．５０代　５．６０代以上

問３．「食育」という言葉や意味を知っていますか。

> 食育は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

１．言葉も意味も知っている　２．言葉は知っているが意味は知らない
３．どちらも知らない

問４．朝食を食べますか。
１．毎日食べる　２．週４・５日食べる　３．週２・３日食べる　４．食べない

問５．夕食は、家族と食べますか。
１．家族全員で食べる　２．家族の誰かと食べる
３．家族はいるが、１人で食べる　４．ひとり暮らしである

問６．主食・主菜・副菜を基本とした、栄養バランスに配慮した食生活を送っていますか。
１．はい　２．いいえ

問７．生活習慣病の予防のために、運動や食生活改善等の取組を行っていますか。
１．行っている　２．時々行っている
３．あまり行っていない　４．行っていない

> 生活習慣病とは・・・食事、運動、喫煙、飲酒、ストレス等の生活習慣が深く関与し、発症の原因となる疾患の総称。

問８．郷土料理をよく食べていますか。
（例：豚骨、煮しめ、油ソーメン、鶏飯、豚味噌、パパイヤ漬等）
１．よく食べている　２．あまり食べない

問９．郷土料理など、地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を次世代（子ども等）に伝えていますか。
１．伝えている　２．ときどき伝えている　３．伝えていない

問 10．意識して島内産の食材を購入しますか。　はい。と答えた方は、購入場所をお答えください。
１．野菜　ア．はい　イ．いいえ　場所【スーパー　専門店　その他(　　)】
２．魚類　ア．はい　イ．いいえ　場所【スーパー　専門店　その他(　　)】
３．肉類　ア．はい　イ．いいえ　場所【スーパー　専門店　その他(　　)】

問 11．食品を購入する際に国産や県内産などの産地や生産者を意識して購入していますか。
１．意識して購入している　２．あまり意識して購入していない

今後、徳之島町が食育を推進するにあたって、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

［　　］

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

○徳之島町健康づくり推進協議会設置規則

平成８年５月20日規則第７号

改正

平成25年８月２日規則第10号

徳之島町健康づくり推進協議会設置規則

徳之島町健康づくり推進協議会設置規則（平成４年規則第８号）の全部を次のように改正する。

（名称及び事務局）

第１条　本会議は、徳之島町健康づくり推進協議会（以下「協議会」という。）と称し、事務局を健康増進課に置く。

（目的）

第２条　協議会は、町民の健康づくり運動を積極的に展開するため、各関係機関団体等との連携を密にして、健康づくりを効果的に推進することを目的とする。

（業務）

第３条　協議会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を協議する。

（１）　生涯に渡る健康づくり対策の基盤整備

（２）　町保健計画の策定及び評価

（３）　各保健分野における課題の明確化と施策化

（４）　各地区の実状に応じた施策の推進

（５）　その他

（専門部会の設置）

第４条　協議会の目的を達成するため、専門知識をもって適切な対策の展開を図るよう次の専門部会を置く。

（１）　健やかな親子推進部会

（２）　青壮年期の健康づくり部会

（３）　生涯現役推進部会

（地区支部会の設置）

第５条　各地域に応じたきめ細かい対策の推進のため、各地区に地区支部会を置く。

（組織）

第６条　協議会の委員は次に掲げる者をもって組織し町長が委嘱する。

（１）　本会

ア　行政の代表者

イ　保健所の代表者

ウ　医療機関の代表者

エ　教育機関の代表者

オ　住民の代表者

カ　各保健分野の実務機関の代表者

（２）　専門部会

ア　各保健分野の実務機関の代表者

イ　住民の代表者

（３）　地区支部会

ア　地区駐在員

イ　健康づくり住民組織の委員

ウ　地区住民の代表者

（役員）

第７条　協議会に次の役員を置く。

（１）　会長

（２）　副会長

（３）　各専門部会長

（４）　各地区支部会長

２　役員は、委員の互選によってこれを定める。

３　役員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。

（役員の任務）

第８条　会長は、本会を代表し業務を総括する。

２　副会長は、会長を補佐し会長に事故あるとき、又は会長の欠けたときは、その職務を代理する。

３　各専門部会長及び各地区支部会長はそれぞれ各会議を代表する。

（会議）

第９条　会議は、各会長が招集する。

２　各会長は、各会議の議長となり議事を整理する。

（庶務）

第10条　協議会の庶務は、健康増進課において処理する。

（委任）

第11条　この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成25年８月２日規則第10号）

この規則は、公布の日から施行する。

○徳之島町地産地消及び食育の推進に関する条例

令和元年９月６日条例第17号

徳之島町地産地消及び食育の推進に関する条例

（目的）

第１条　この条例は、本町における地産地消及び食育に関する基本理念を定め、町、生産者、消費者、事業者、教育関係者等の役割を明らかにすることにより、地産地消に関する運動の推進、安全で安心な農産物等の生産・製造並びに供給、食育の推進等の施策に関する基本的事項を定め、健康的で心豊かな地域社会の形成に資することを目的とする。

（定義）

第２条　この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

（１）　地産地消　地域で生産・製造された農産物等をその地域で消費することをいう。

（２）　食育　「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健康的で豊かな食生活を実践することができる人間として育て、「生きる力」を育むことをいう。

（３）　食　食品、食文化、食習慣、食育等の総称をいう。

（４）　農業等　農業、林業及び水産業のことをいう。

（５）　農産物等　農畜産物、林産物及び水産物やこれらを製造・加工した食品等をいう。

（６）　町内農産物等　本町で生産された農畜産物、林産物及び水産物やこれらを製造・加工した食品等をいう。

（７）　生産者　町内農産物等を生産する者をいう。

（８）　消費者　町内農産物等を町内で消費する者をいう。

（９）　事業者　町内で食品の製造、加工、流通若しくは販売又は飲食の提供を業として行う者をいう。

(10)　教育関係者等　教育及び保育、介護その他の社会福祉、医療、保健に関する職務に従事する者やこれらに関する団体をいう。

（基本理念）

第３条　地産地消及び食育の推進は、町、生産者、消費者、事業者、教育関係者等が連携し、地産地消及び食育に関する情報を共有化することで、互いの立場を理解するとともに、信頼関係を構築し、協力しながら行うものとする。

２　地産地消の推進は、消費者に対し安全で安心な町内農産物等が供給できる仕組みを構築することで、本町の農業等の振興が図られるよう行うものとする。

３　地産地消の推進は、本町の良好な景観、自然環境等の地域資源を有効活用し、農業等及び農村の活性化、更には都市との共存を図るとともに、生産者やその後継者が誇り、生きがい、喜び等をもってその業に取り組めるよう行うものとする。

４　食育の推進は、町民一人一人に「食」に関する知識とその重要性が理解され、「食」に関する適切な判断力が養われることにより、生涯にわたって健康的で豊かな食生活の維持向上が図られるよう行うものとする。

５　食育の推進は、本町の地域性を生かした特色のある食文化を創生するよう努めるとともに、伝統的な食文化の維持及び継承が図られるよう行うものとする。

６　地産地消及び食育の推進は、生産者、消費者、事業者、教育関係者等の意見等の評価を反映させながら町が施策として実施するほか、生産者、消費者、事業者、更に教育関係者等による自発的な取組の促進が図られるよう行うものとする。

（町の役割）

第４条　町は、前条に定める基本理念に基づき、生産者、消費者、事業者、教育関係者等と連携し、地産地消及び食育の推進に関する施策を実施するものとする。

（生産者の役割）

第５条　生産者は、その生産する町内農産物等が町民の健康を支えていることと、その安全性について責任を有することを自覚し、関係法令等を遵守するとともに、町内農産物等の安全性を確保するよう努めるものとする。

２　生産者は、町、事業者、教育関係者等と連携することで町内農産物等に対する消費者の需要を把握し、その需要に応じた町内農産物等の生産について計画的に取り組むとともに、その品質等に関する情報を消費者に提供するよう努めるものとする。

３　生産者は、町が実施する地産地消及び食育の推進に関する施策に協力するものとする。

（消費者の役割）

第６条　消費者は、町内農産物等の安全性を確保するために、町、生産者、事業者、教育関係者等の地産地消及び食育に関する取組を理解し、町内農産物等を積極的に「食」に取り入れ使用するよう努めるものとする。

２　消費者は、家庭及び地域において食育を推進することで「食」の大切さを理解し、健康で豊かな食生活の維持及び向上に努めるものとする。

３　消費者は、町が実施する地産地消及び食育の推進に関する施策に協力するものとする。

（事業者の役割）

第７条　事業者は、町、生産者、消費者、教育関係者等と連携して地産地消及び食育の推進に取り組むとともに、安全で安心な「食」の供給とその情報発信に努めるものとする。

２　事業者は、町が実施する地産地消及び食育の推進に関する施策に協力するものとする。

（教育関係者等の役割）

第８条　教育関係者等は、町、生産者、消費者並びに事業者と連携の上、あらゆる機会及び場所を利用して、それぞれの分野において積極的に地産地消及び食育の推進を図るよう努めるものとする。

２　教育関係者等は、町が実施する地産地消及び食育の推進に関する施策に協力するものとする。

（地産地消及び食育に関する啓発活動、情報提供）

第９条　町は、地産地消及び食育の推進に対する町民の関心、理解を深めるため、更には、地産地消及び食育の推進に関する多様な活動を行う町民の意欲を増進するために、啓発活動、地産地消等に関する情報の提供を行うための必要な施策を実施するものとする。

（地産地消及び食育に関する情報の共有、連携、協働等）

第10条　町、生産者、消費者、事業者、教育関係者等は地産地消及び食育の推進のために必要な施策の実施において、相互の情報の共有、連携、協働することにより効果的に行うよう努めるものとする。

（町の施設等における地産地消の推進）

第11条　町は、学校、保育所等の町の施設等において、給食やその他の食品の提供を行うときは、町内農産物等を積極的に使用するよう努めるものとする。この場合において、町内農産物等が使用できないときは、県内で生産された農産物等を使用するよう努めるものとする。

２　町は、前項の規定による町内農産物等の積極的な使用を行うために必要な施策を実施するものとする。

（安全・安心な農産物等の供給）

第12条　町は、「食」の安全・安心な町内農産物等が町内に供給されるために、農産物の生産に係る履歴の記録及び管理が適切に実施されるよう、助言、指導その他の必要な措置を講ずるものとする。

２　町は、農業の持つ自然循環機能を生かした土づくりを通じ、化学肥料及び化学農薬の使用の低減、有機農法等により環境負荷を低減するよう配慮した自然環境保全型農業を促進し、その他必要な施策を実施するものとする。

（多様な需要に即した農産物等の供給等）

第13条　町は、消費者の多様な需要に即して、町内農産物等が安定して町内に供給されるための生産、流通及び販売に関する仕組みの構築とその他必要な取組の支援を実施するものとする。

（町内農産物等のブランド化及び６次産業化）

第14条　町は、本町の特産品として広く普及宣伝する必要があると認められる町内農産物等について、生産の振興と流通の促進を図ることで付加価値の高い農産物等としての位置付けを得るための必要な施策や、本町の６次産業化を推進するための必要な施策を実施するものとする。

（都市住民と農村との交流等）

第15条　町は、本町の農業等の振興と活性化を図るため、農業等に関する地域資源を活用し、都市住民と農村との交流体験等を通じて、本町の農業等及び町内農産物等に対する都市住民の理解を深めるための必要な施策を実施するものとする。

（食育及び食文化の継承等の推進等）

第16条　町は、町民一人一人が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むための家庭、学校、地域等における食育の推進、健康的で豊かな食生活の維持向上と地域の食文化の継承及び創生の推進を図るために必要な施策を実施するものとする。

２　町は、大切な食料資源を無駄なく有効活用するため、食品廃棄物の再生利用や食品ロス（本来食べられるにもかかわらず廃棄されている食品のことをいう。）の削減等に関する普及活動の推進を図るものとする。

（地産地消・食育推進計画）

第17条　町は、地産地消及び食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための地産地消・食育推進計画を策定するものとする。

２　町は、地産地消及び食育の推進に関する施策の効果、社会情勢の変化等を踏まえ、定期的に地産地消・食育推進計画の総合的な見直しを行うものとする。

（委任）

第18条　この条例に定めるもののほか、地産地消及び食育の推進に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

２　この条例の施行の際既に策定されている徳之島町食育推進計画は、第17条に規定する地産地消・食育推進計画とみなす。

６　策定委員名簿

第３次徳之島町健康増進計画策定委員

【策定委員】

	役　職	職名・所属	名　前
1	会　長	副町長	幸　野　善　治
2	副会長	徳之島町商工会事務局長	向　井　久　貴
3	委　員	農林水産課課長	高　城　博　也
4	〃	徳之島町教育委員会学校教育課指導主事	下井田　智　彦
5	〃	徳之島町高齢者クラブ連合会会長	畑　山　育　男
6	〃	徳之島町社会福祉協議会会長	安　田　　司
7	〃	徳之島町体育協会会長	木　原　良　治
8	〃	徳之島町民生委員児童委員協議会会長	重　岡　四　男
9	〃	徳之島町地域女性団体連絡協議会会長	上　原　トヨ子
10	〃	徳之島町保育連合会	名　城　慎　吾
11	〃	徳之島町養護部会会長	中　川　貴　子
12	〃	徳之島町食生活改善推進員連絡協議会会長	吉　川　洋　子
13	〃	JA あまみ徳之島事業本部糖業農政課	清　水　李　奈
14	〃	鹿児島県大島支庁徳之島事務所保健衛生環境課健康増進係	蔭　山　正　之
15	〃	農林水産課	郷　野　　瞳

第３次徳之島町地産地消・食育推進計画策定委員

【策定委員】

	役　職	職　　名	名　前
1	委 員 長	副町長	幸　野　善　治
2	副委員長	徳之島町教育委員会学校教育課長	太　　稔
3	委　　員	徳之島町介護福祉課長	廣　　智　和
4	〃	徳之島町農林水産課長	高　城　博　也
5	〃	徳之島町保健センター所長	安　田　　誠
6	〃	大島支庁徳之島事務所農業普及課長	山　方　　誠
7	〃	徳之島町小・中学校校長会会長	寿　山　　敏
8	〃	あまみ農業協同組合徳之島事業本部長	藤　　和　弘
9	〃	とくのしま漁業協同組合長	徳　田　　進
10	〃	徳之島町商工会事務局長	向　井　久　貴
11	〃	徳之島町食生活改善推進員連絡協議会長	吉　川　洋　子
12	〃	徳之島町生活研究グループ連絡協議会長	森　　二三江

【作業部会】

	役　職	職　　名	名　前
1	座　長	徳之島町農林水産課長	高　城　博　也
2	委　員	大島支庁徳之島事務所農業普及課担当職員	有　村　良　文
3	〃	徳之島町学校給食センター栄養教諭	長　畑　豊　美
4	〃	徳之島町教育委員会学校教育課指導主事	下井田　智　彦
5	〃	徳之島町小・中学校教頭会会長	樋之口　隆　宏
6	〃	徳之島町養護部会会長	中　川　貴　子
7	〃	徳之島町保健センター主幹	星　野　祐　子
8	〃	徳之島町母間保育所管理栄養士	徳　　ちはる
9	〃	あまみ農業協同組合徳之島事業本部生活指導員	清　水　李　奈
10	〃	島野菜生産部会長	松　　徳　廣
11		徳之島町食生活改善推進員連絡協議会会長	吉　川　洋　子
12		徳之島町生活研究グループ連絡協議会員	大河平　美枝子

【編集・発行】
徳之島町役場（健康増進課・農林水産課）
〒891-7192
鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203 番地
電話　0997-82-1111（代表）